

がん検診の実施状況及び精度管理について

令和 7 年度京都府生活習慣病検診等管理指導協議会がん検診部会

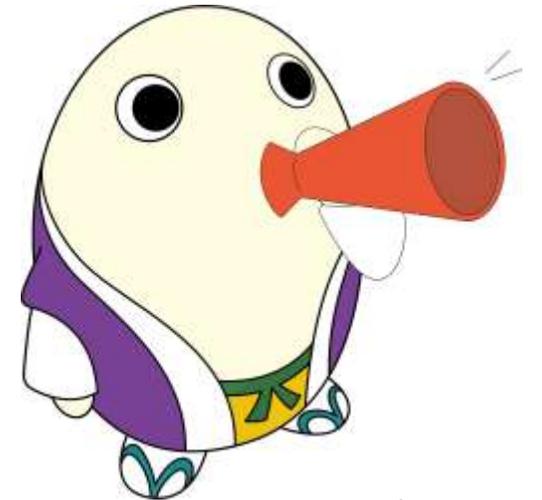


令和 7 年 9 月 2 日 (火) 15:30~17:00

京都府健康福祉部健康対策課がん対策係

○がん検診の精度管理について

- ・がん検診全般：検診実施状況（指針外含む）、
受診率、プロセス指標、チェックリスト
- ・胃がん検診（胃部エックス線検査・胃内視鏡検査）
- ・肺がん検診
- ・大腸がん検診
- ・乳がん検診
- ・子宮頸がん検診



第3期京都府がん対策推進計画の概要 R6年度からR11年度

全体目標・分野別目標及び分野別施策

全体目標：誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての府民とがんの克服を目指す

(1) がん予防・がん検診の強化

がんを予防し、早期発見・早期治療により、がん
で亡くなる人を減らす

【1次予防：がんのリスクの減少】

- ①食生活・身体活動・飲酒等生活習慣の改善
- ②たばこ対策
- ③感染に起因するがん対策
(ウイルス、細菌など)

【2次予防：がんの早期発見、がん検診】

- ①検診の受診率向上
- ②精度管理・検診従事者の資質向上

(2) がん医療体制の整備・充実

患者本位の適切な医療を実現し、がん患者及びその家
族等の苦痛や精神的不安の軽減
並びに療養生活の質の維持向上

- ①手術療法、放射線療法、薬物療法、
免疫療法の推進
- ②緩和ケア・支持療法の推進
- ③在宅医療の充実
- ④連携体制の強化
- ⑤小児がん及びAYA世代のがん対策
- ⑥がんゲノム医療の普及
- ⑦その他治療機能の充実
- ⑧新規医薬品、医療機器及び医療技術
の速やかな医療実装

(3) がんとの共生社会の実現

がんになっても安心して暮らせる社会の構築

- ①相談支援体制、情報提供体制の
充実
- ②就労支援の強化
- ③社会的な問題への対応の充実
- ④小児・AYA世代、高齢者に
対する支援の強化
- ⑤アピアランスケアについて
- ⑥がん診断後の自殺対策について

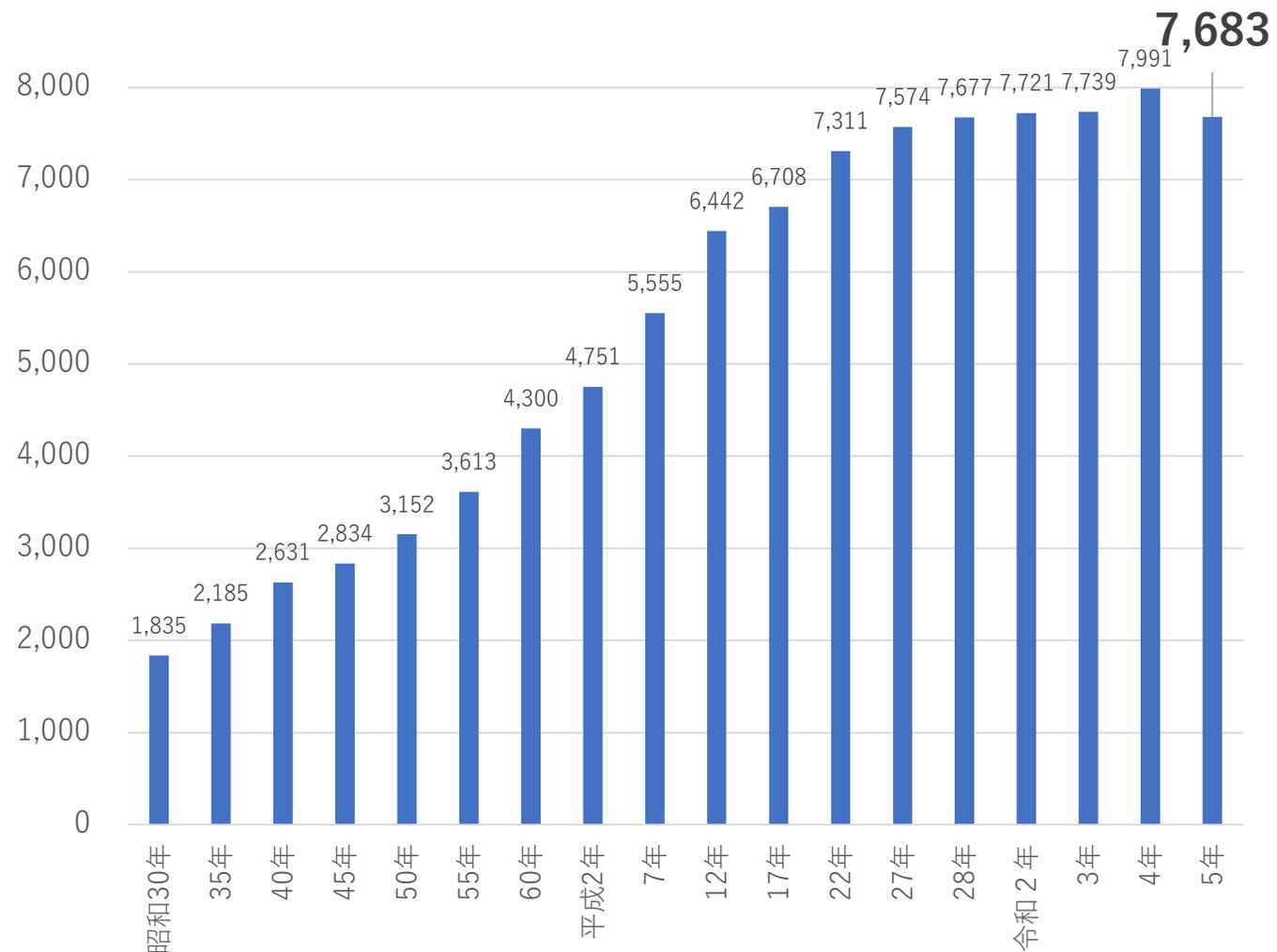
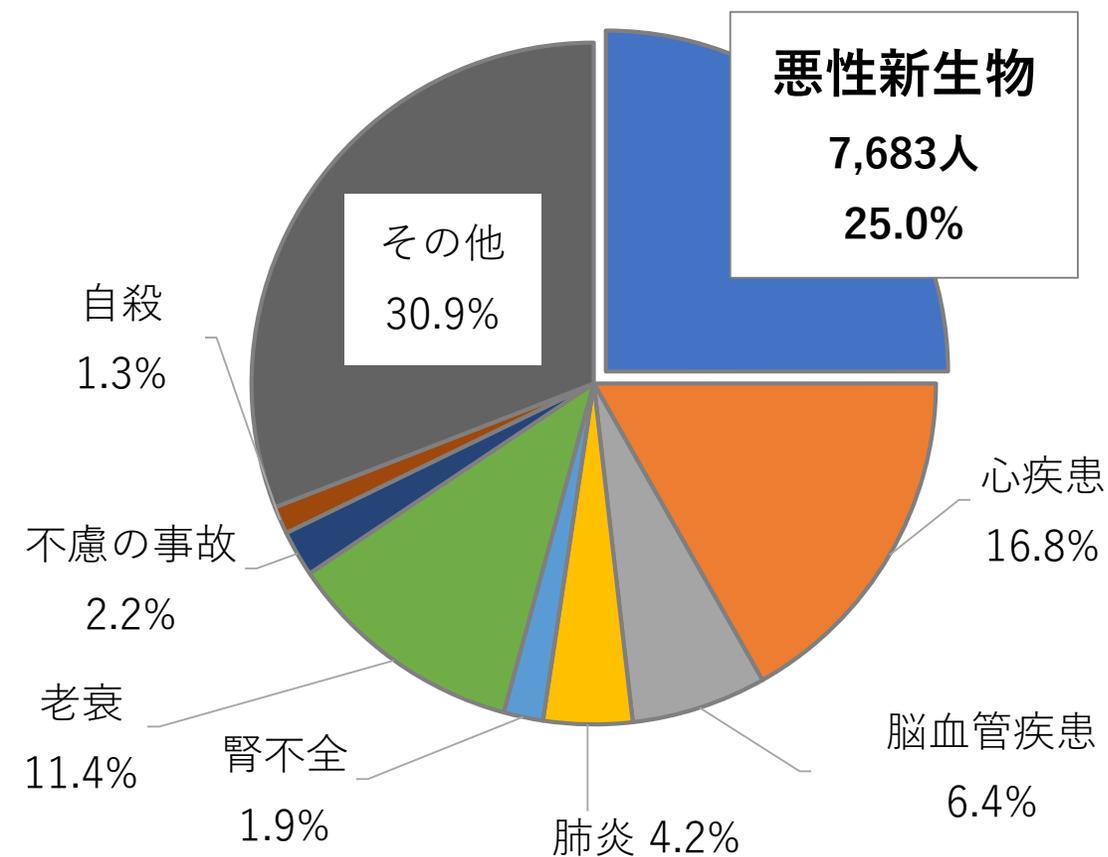
(4) これらを支える基盤の整備

- ①人材育成の強化
- ②がん教育・がんの正しい知識の普及啓発の推進
- ③がん登録の推進
- ④患者・府民参画の推進
- ⑤デジタル化の推進
- ⑥感染症発生・まん延時や災害時を見据えた対策

京都府の死因別死亡者率及び悪性新生物による死亡者の推移

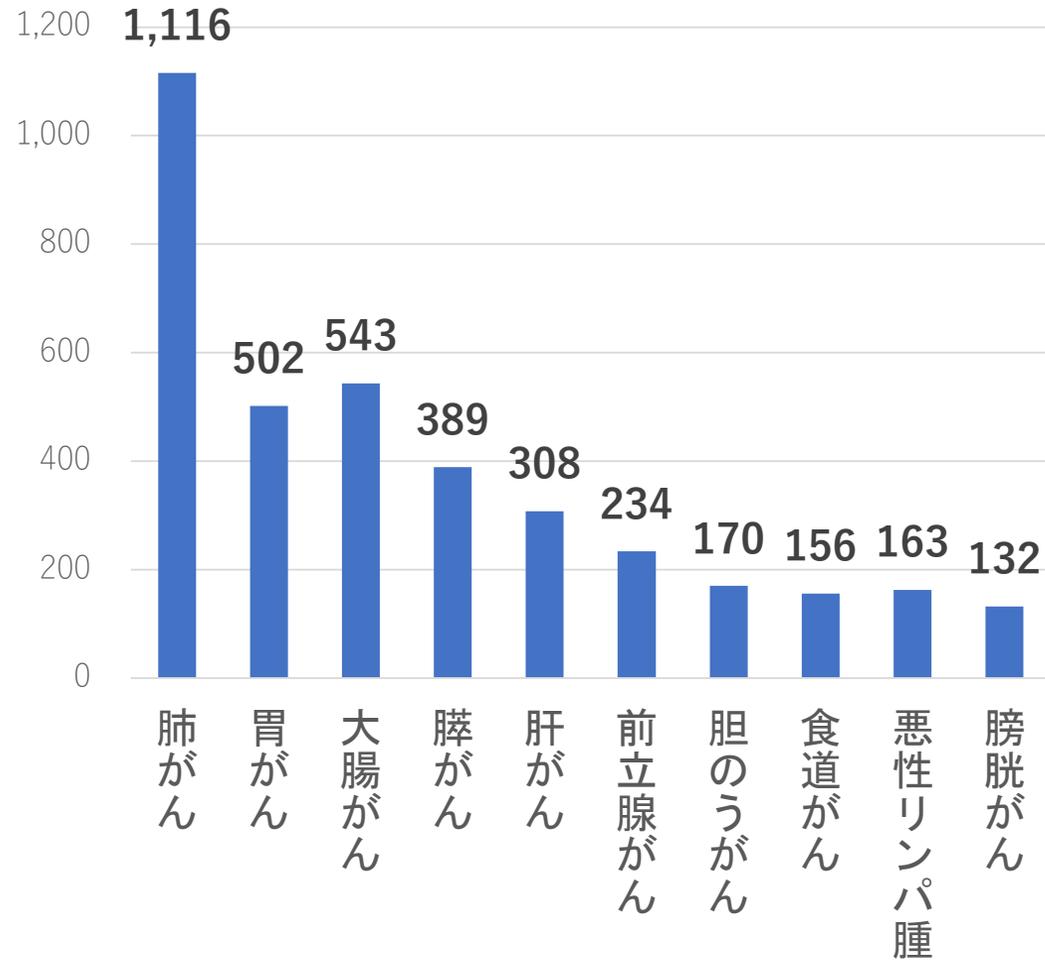
京都府内の死亡総数

令和5年度 30,735人

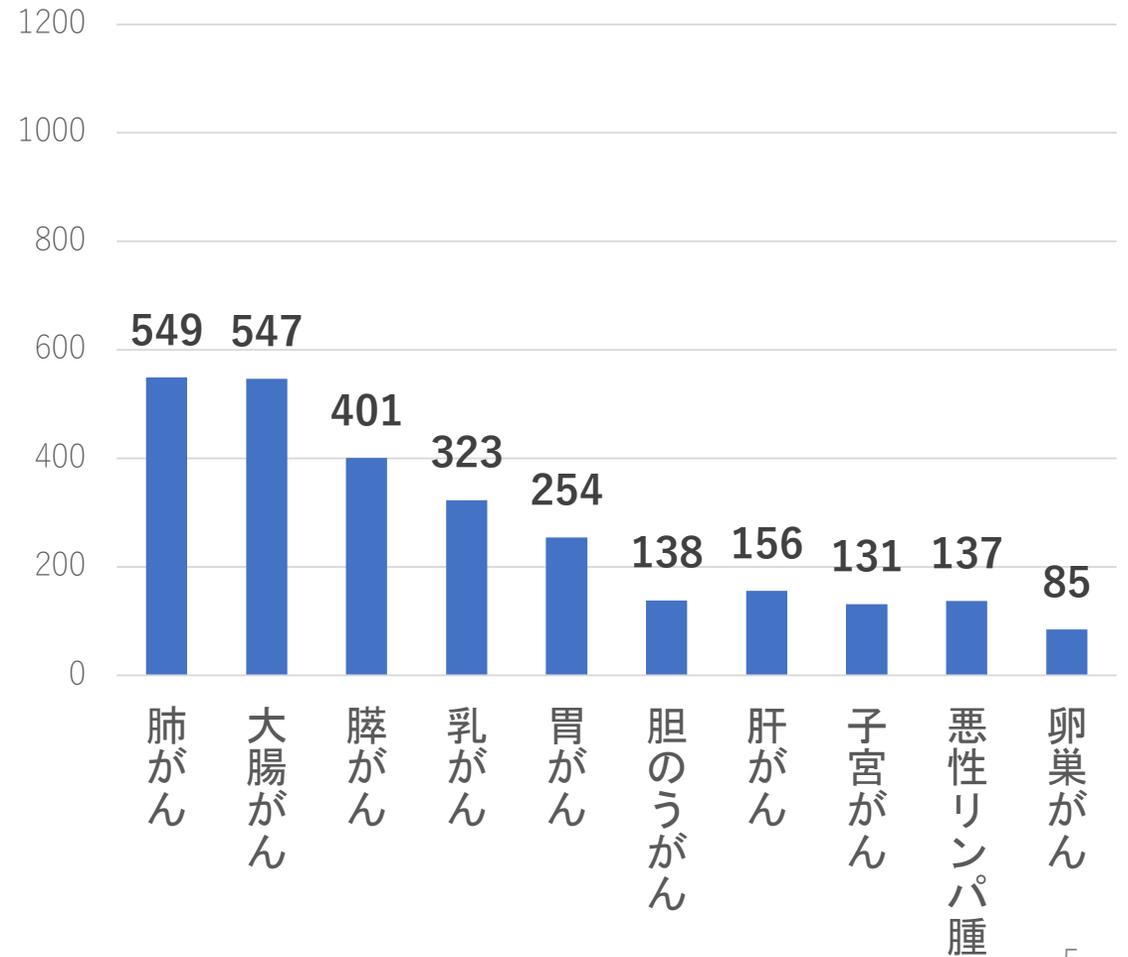


京都府のがんの状況 < R5年部位別死亡者数 >

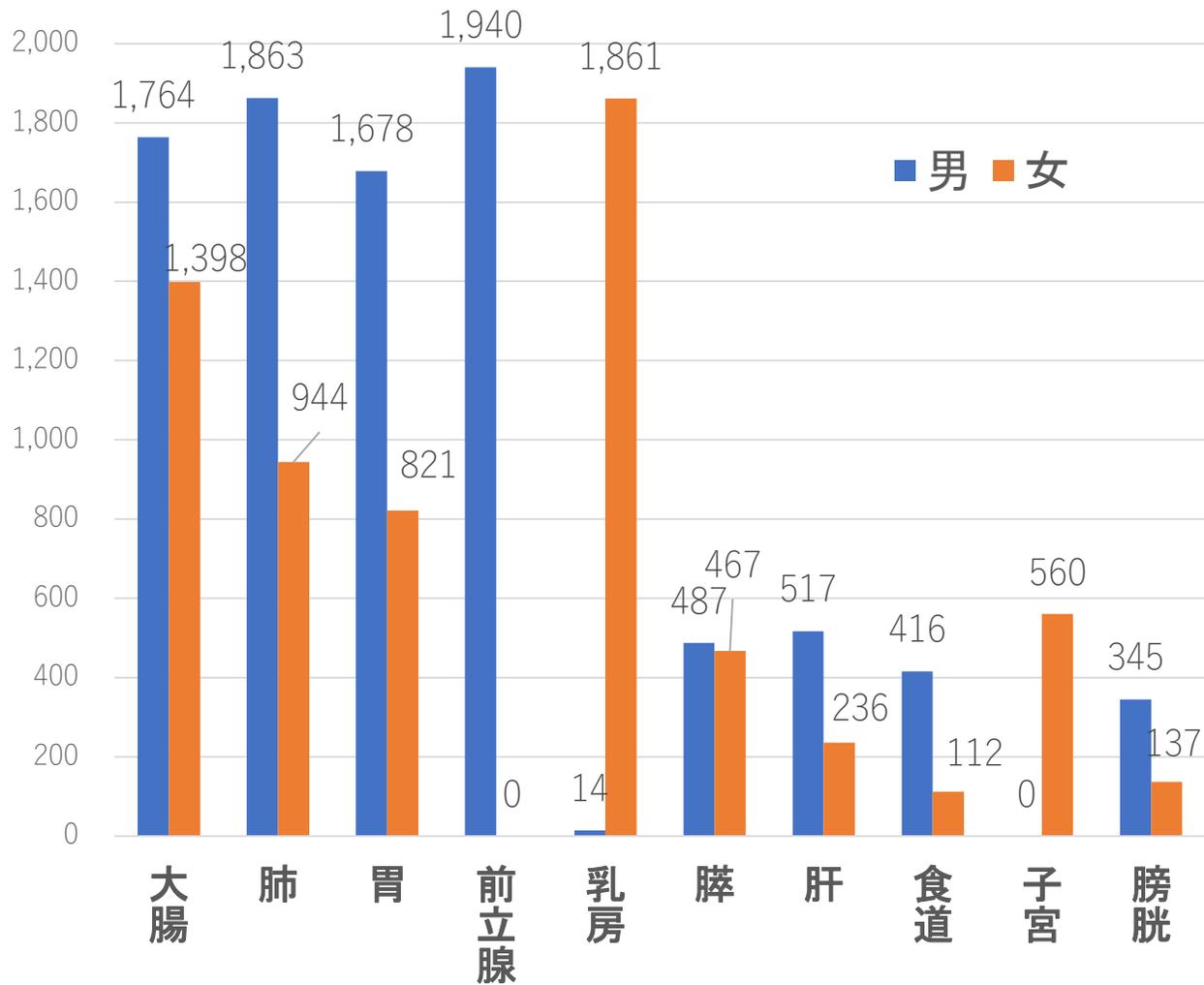
部位別死亡数（男）



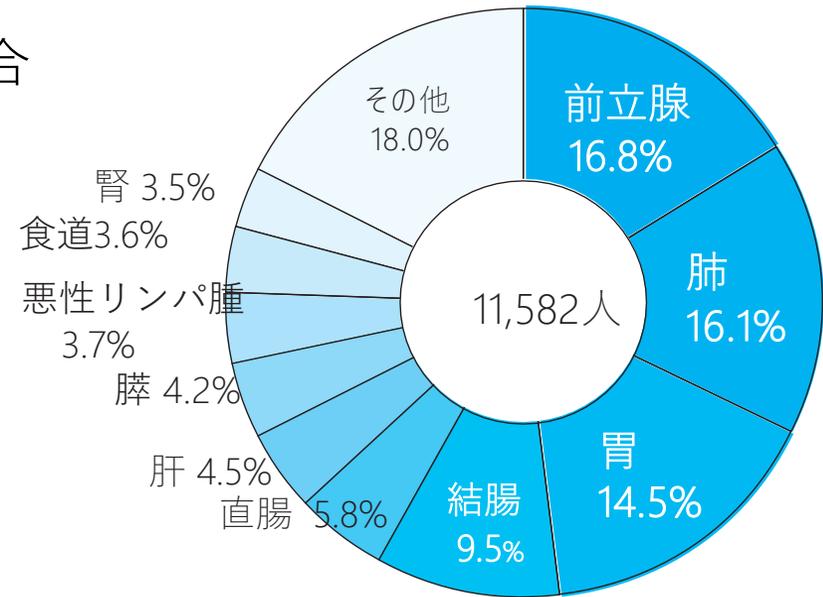
部位別死亡数（女）



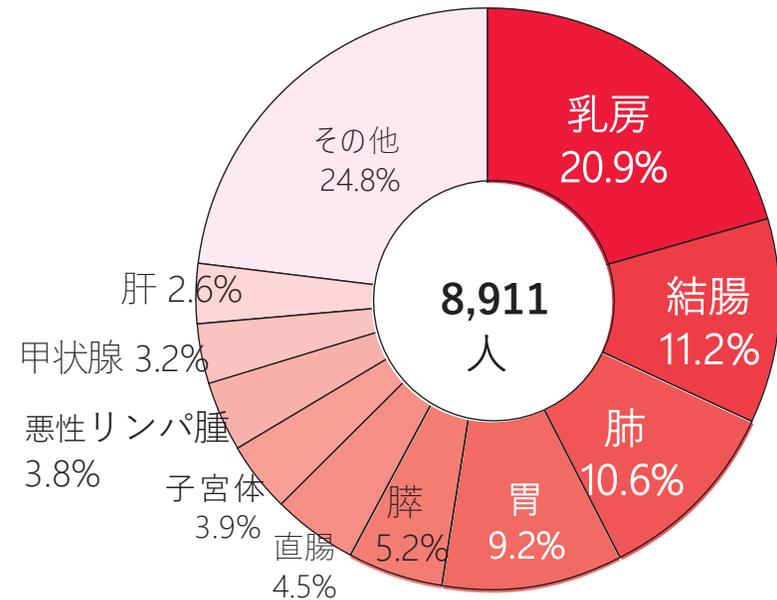
R2 京都府のがん罹患状況（部位別・性別）



罹患割合
(男性)



罹患割合
(女性)



R7年度京都府内市町村のがん検診の実施状況（京都府調べ）

R7年度	検査方法	実施市町村数	検査方式		備考
			集団	個別	
胃がん	胃部エックス線検査	25	24	1	
	胃内視鏡検査	18	0	18	R7年度から、2市町村が新たに開始
肺がん	胸部X線＋喀痰細胞診	26	26	0	個別方式の実施はなし
大腸がん	便潜血二日法	26	20	17	
乳がん	マンモグラフィ	23	17	20	
	マンモ＋視触診	3	0	3	
	エコー	0	0	0	
子宮頸がん	頸部細胞診	26	13	25	
	HPV検査単独法	0	0	0	

※京都府市町村数（N=26）

※参考資料4（胃・肺・大腸・乳・子宮）

項目 1：がん検診事業評価のためのチェックリスト遵守状況の調査

(令和 6 年度の検診体制)

自己点検するとともに、達成率（実施率）を評価。

第 3 期京都府がん対策推進計画において、「がん検診事業評価のためのチェックリスト 80%以上遵守している市町村数」を指標としている。

項目 2：精度管理指標数値の調査

(令和 5 年度受診率及び令和 4 年度プロセス指標)

評価基準は、厚生労働省「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」の基準値を使用。

- がん検診毎に状況確認し、原因や改善策を検討。
- 結果を報告し、必要に応じて個別に助言や追加調査を実施。
- 調査結果、評価結果等を京都府ホームページで公表。

R6 京都府がん検診の実施状況調査結果①（国立がん研究センター実施）

R6年度	検査方法	実施市町村数	検査方式		対象年齢			
			集団	個別	20歳以上	30歳以上	40歳以上	50歳以上
胃がん	胃X線検査	25	25	0	1	0	17	7
	胃内視鏡	16	0	16	0	0	0	16
肺がん	胸部X線＋喀痰細胞診	26	26	0	0	0	26	0
大腸がん	便潜血二日法	26	20	17	1	0	25	0
乳がん	マンモグラフィ	23	16	23	0	0	23	0
	マンモ＋視触診	3	0	3	0	0	3	0
	エコー	0	0	0	0	0	0	0
子宮頸がん	細胞診	26	12	25	26	0	0	0
	HPV検査単独法	0	0	0	0	0	0	0

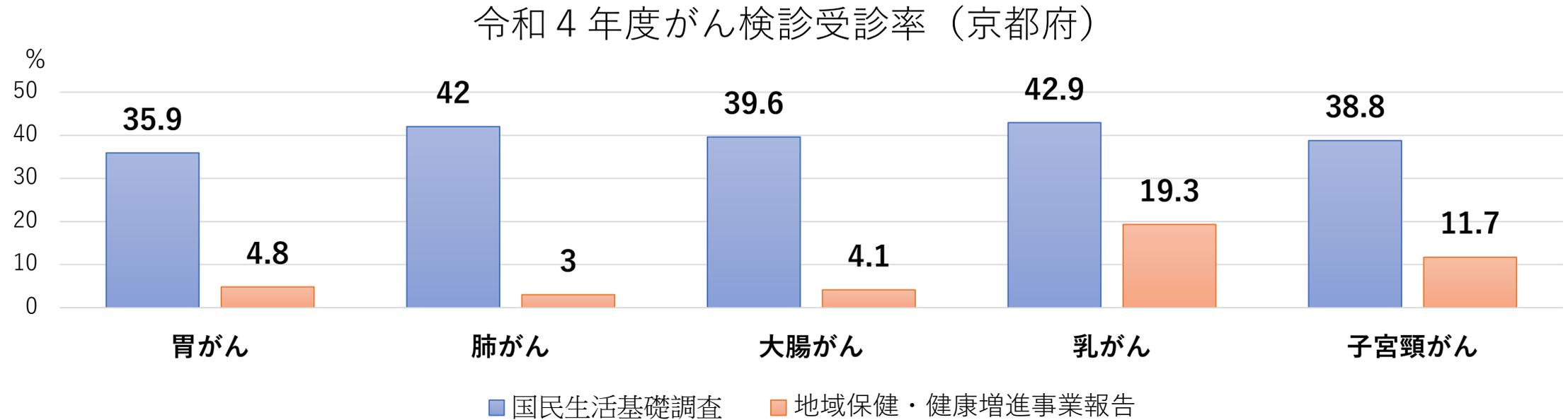
※京都府市町村数（N=26）

R 6 京都府がん検診の実施状況調査結果②（国立がん研究センター実施）

	検査項目	市町村数	備考
胃がんリスク	ペプシノゲン・ヘリコバクターピロリ併用	5	
	ヘリコバクターピロリ単独	1	
前立腺がん	PSA検査	24	
肝臓がん	エコー	0	
子宮体がん	細胞診	0	令和2（2020）年度以降は、全市町村廃止
卵巣がん	エコー	0	
甲状腺がん	エコー	0	
口腔がん	-	0	
咽頭・喉頭がん	-	0	

※京都府市町村数（N=26）

がん検診受診率には2つある



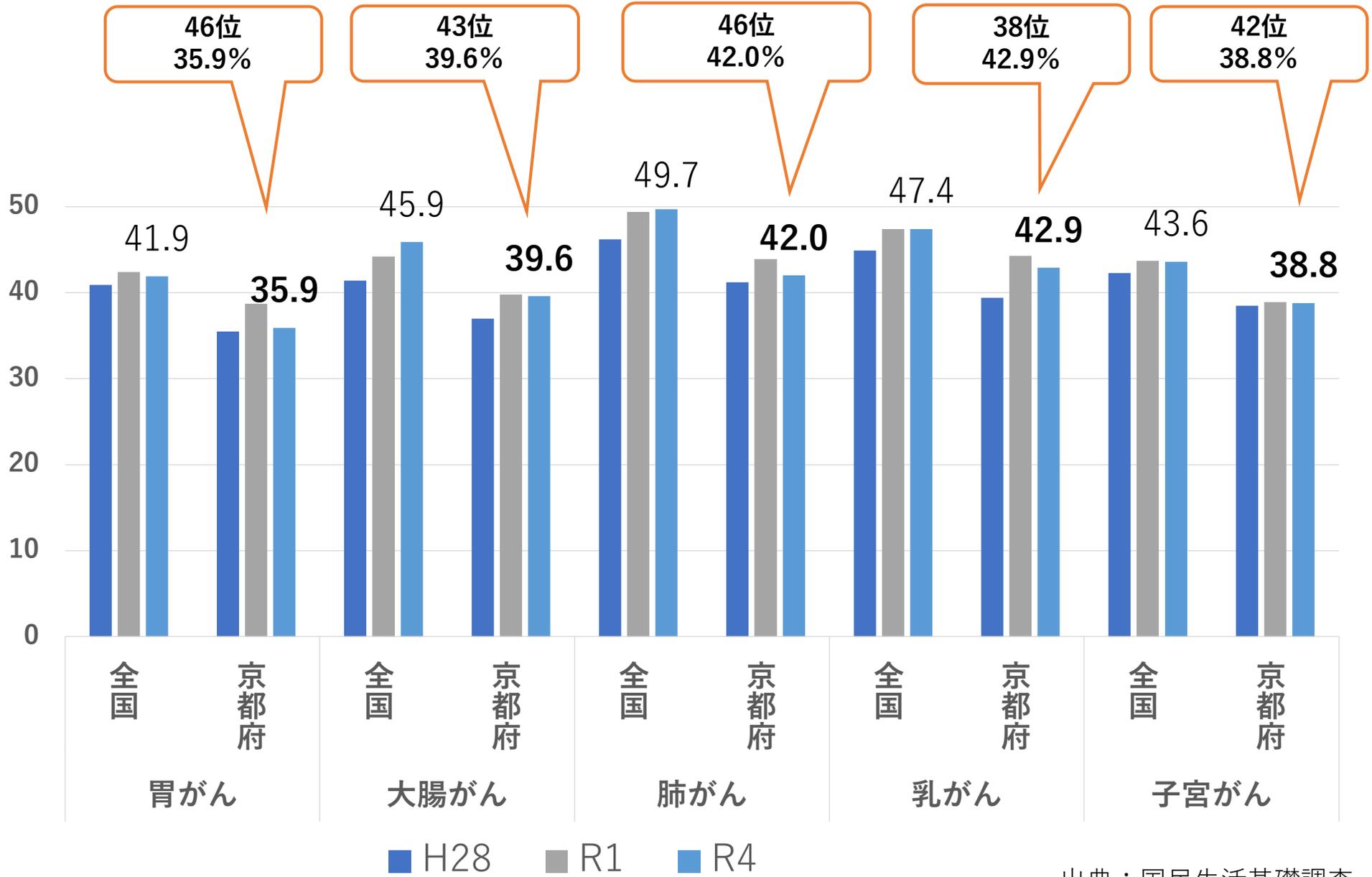
国民生活基礎調査

抽出された世帯に対する質問票で把握した**推計値**。指針外の検査法も対象となる。がん対策推進基本計画の評価指標。3年に1度の調査。

地域保健・健康増進事業報告

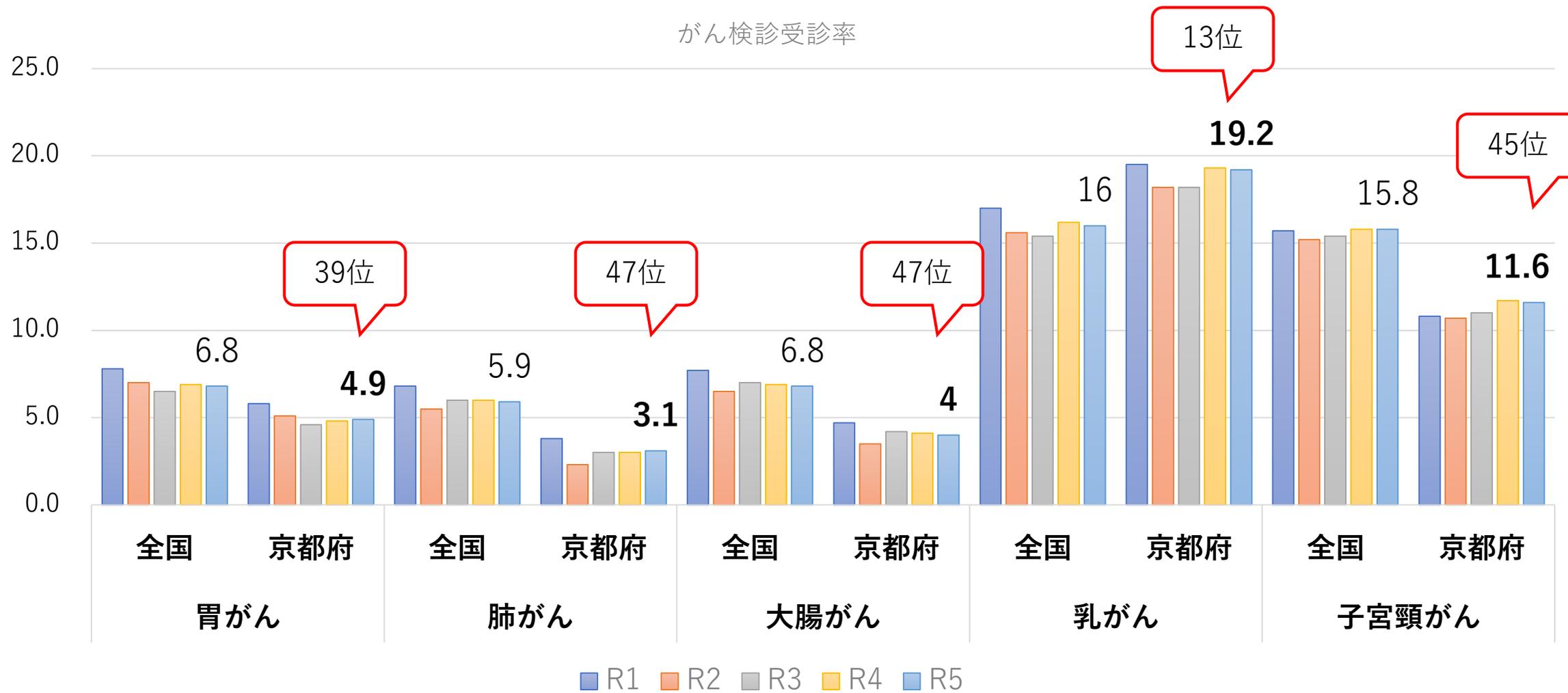
自治体が行っている対策型検診を受診した**実測値**。職場や人間ドックで受診した人は含まれない。毎年の調査。

国民生活基礎調査での京都府がん検診受診率

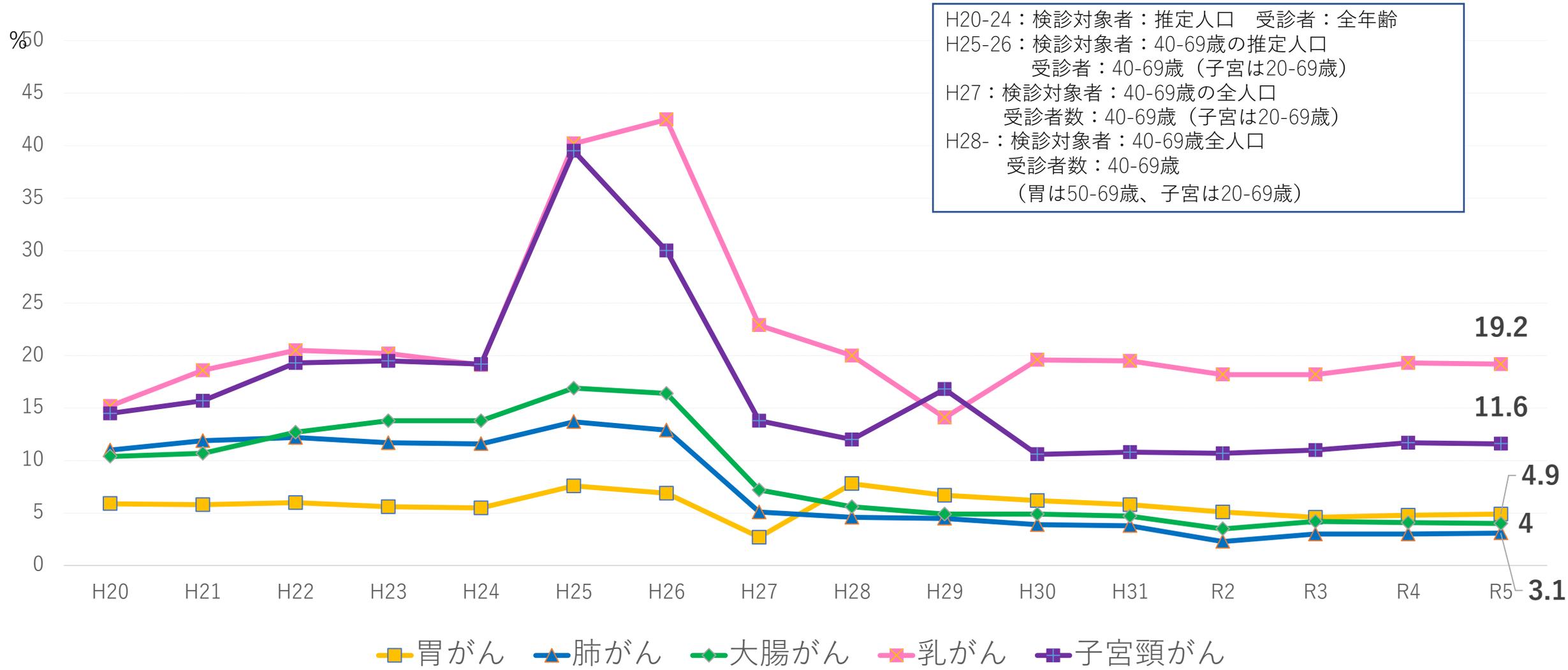


出典：国民生活基礎調査

R1～5年度地域保健・健康増進事業報告での京都府がん検診受診率



京都府がん検診受診率の推移（地域保健・健康増進事業報告）



比較の際は、受診率の算定方法の変更に注意

プロセス指標の意味と活用方法

	算定式	備考
受診率	受診者数/対象者数×100	胃：50～69歳、大腸・肺・乳：40～69歳、子宮頸：20～69歳 ※胃、乳、子宮頸がんは、2年連続受診者数を引く。
要精検率	要精検者数/受診者数×100	極端な高値あるいは低値の場合は、検討が必要。 高値：有病率の高い集団に偏っている 低値：有病率が低い集団に偏っている、偽陰性が多い →有症状者の受診、年齢の偏り、要精検の判定基準等を検討
がん発見率	がんであった者の数/受診者数×100	
陽性反応適中度	がんであった者の数/要精検者数×100	精度管理指標として用いるには、要精検率及びがん発見率がともに基準値を満たしていることが前提となる。
精検受診率	精検受診者数/要精検者数×100	100%に近いことで、がん発見率や陽性反応適中度を適切に評価できる。 精検機関からの報告、もしくは受診者が精検日、精検機関、精検法、精検結果の4つ全てを申告したもの。
精検未受診率	精検未受診者数/要精検者数×100	精検機関に行かなかったことが判明しているもの及び精検として不適切な検査が行われたもの（便潜血検査や喀痰細胞診の再検など）
精検未把握率	精検未把握者数/要精検者数×100	精検受診の有無が分からないもの及び精検結果がわからないもの。

プロセス指標 基準値（上限74歳）

厚生労働省：がん検診事業のあり方について（令和6年7月）

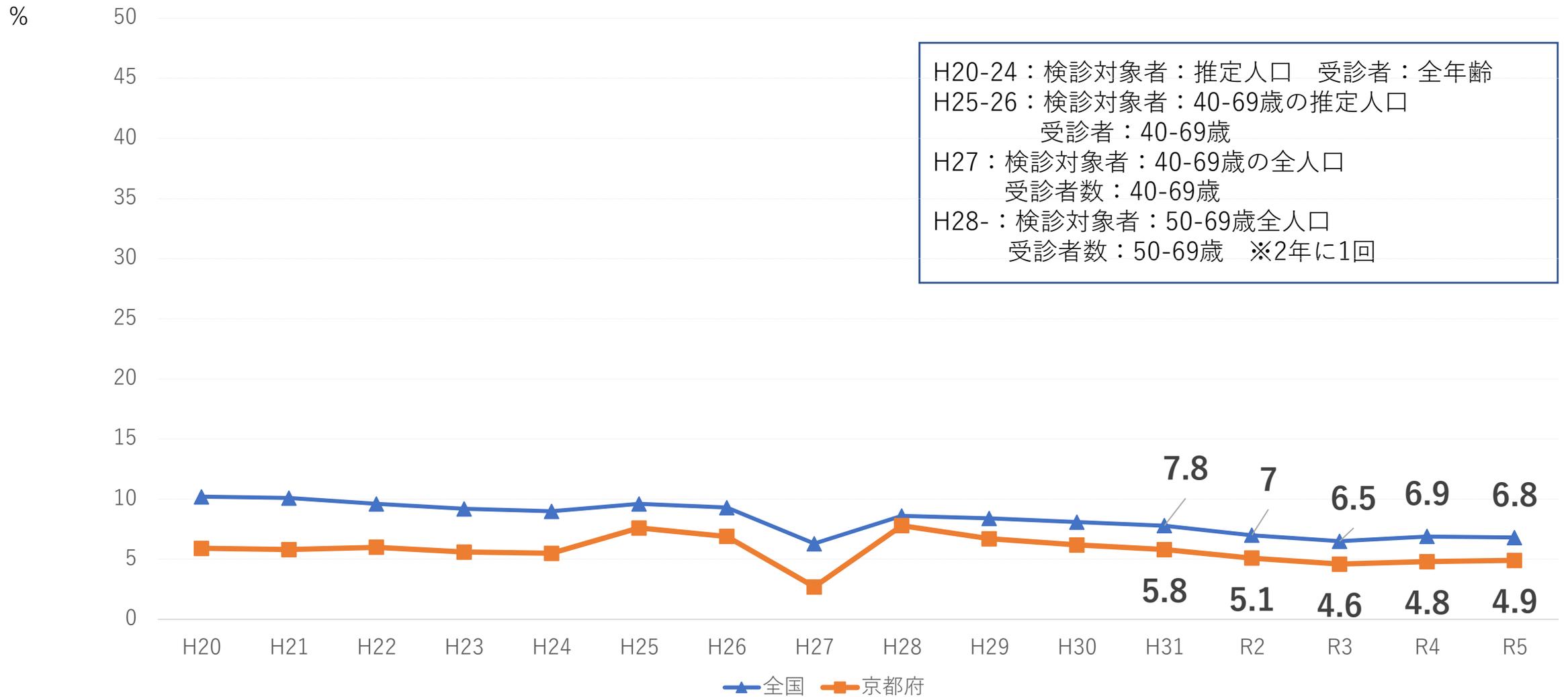
	胃がん (X線)		大腸がん	肺がん (1年間隔)		乳がん (2年間隔)		子宮頸がん ※CIN3以上		
	2年間隔	1年間隔			検診以外の 受診を考慮		連続受診を 考慮			
対象年齢	50-74 歳		40-74 歳	40-74 歳		40-74 歳		20-74 歳	20-39 歳	40-74 歳
要精検率	7.7% 以下	7.6% 以下	6.8% 以下	2.4% 以下	2.3% 以下	6.5% 以下	6.4% 以下	2.5% 以下	4.2% 以下	1.9% 以下
旧許容値	11.0%以下		7.0%以下	3.0%以下		11.0%以下		1.4%以下		
精検受診率	90%以上									
がん発見率	0.19% 以上	0.11% 以上	0.21% 以上	0.10% 以上	0.05% 以上	0.40% 以上	0.31% 以上	0.15% 以上	0.18% 以上	0.14% 以上
旧許容値	0.11%以上		0.13%以上	0.03%以上		0.23%以上		0.05%以上		
陽性反応適中 度	2.5% 以上	1.5% 以上	3.0% 以上	4.1% 以上	2.2% 以上	6.1% 以上	4.8% 以上	5.9% 以上	4.4% 以上	7.3% 以上
旧許容値	1.5%以上		1.9%以上	1.3%以上		2.5%以上		4.0%以上		



胃がん検診（胃部エックス線検査・胃内視鏡検査）

項目	内容
対象者	50歳以上（当分の間、胃部エックス線検査に関しては、40歳以上に実施しても可）
検診間隔	2年に1回（当分の間、胃部エックス線検査に関しては、年1回の受診も可）
検診項目	問診に加え、胃部エックス線検査もしくは、胃内視鏡検査のいずれか
地域保健・健康増進事業報告（受診率）	50～69歳の受診者。検診対象者は、同年代の全人口。 2年連続受診者は差し引いて算出。
府内の状況（R7年度）	◆胃部エックス線検査単独 8市町村（全て集団検診） ◆胃内視鏡検査単独 1市町村 ◆胃部エックス線検査と胃内視鏡検査併用 17市町村（胃部エックス線検査：16市町村は集団方式、1市町村は個別方式、 胃内視鏡検査：17市町村とも個別方式）
R4年度 受診者数とがん発見数（50～74歳）	胃部エックス線検査（受診者数 17,462人 、がん発見数 12人 ） 胃内視鏡検査（受診者数 1,330人 、がん発見数 4人 ）

胃がん検診（胃部エックス線検査・胃内視鏡検査）受診率推移



胃がん検診（X線・内視鏡）受診率

<参考>

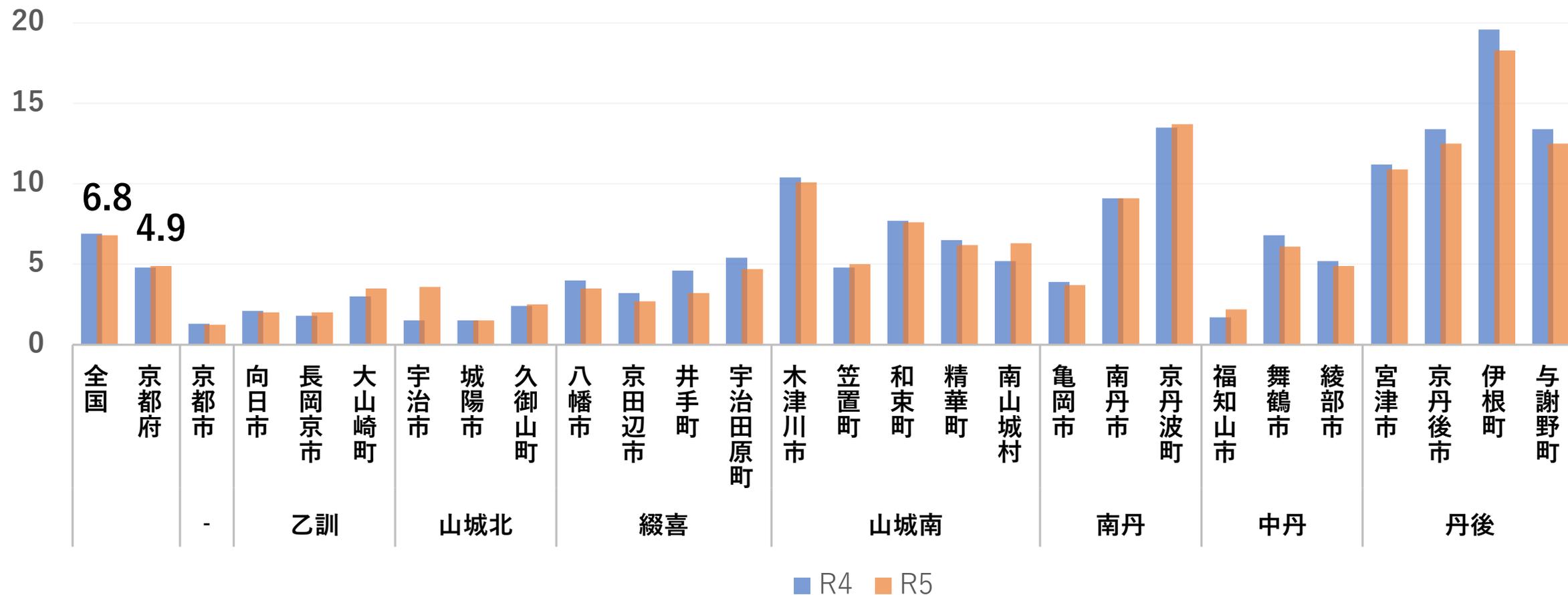
※エックス線・内視鏡合計、50～69歳、2年に1回

R4 受診者数 11,814人

R5 受診者数 12,226人

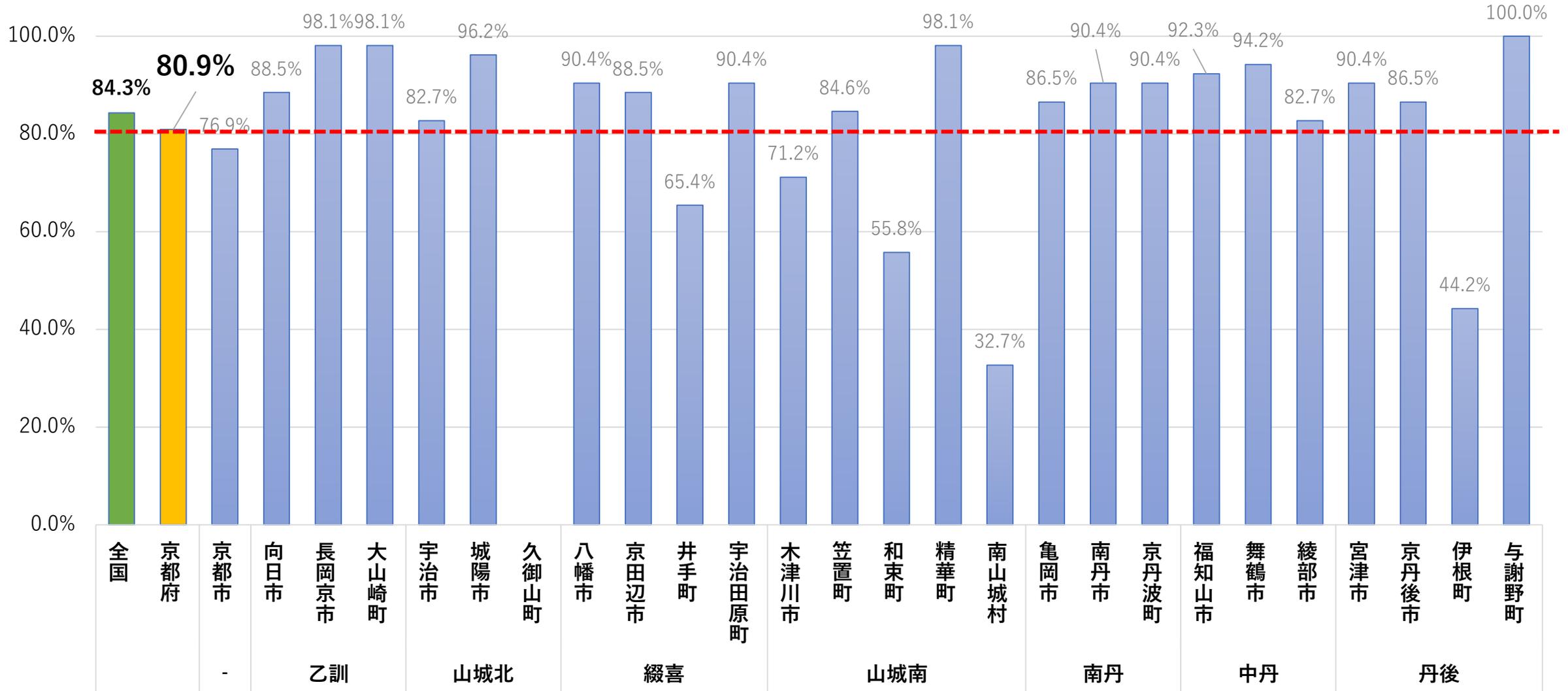
(受診率は、R4及びR5受診者合計から二年連続受診者を差し引いて算出)

胃がん_受診率 (%)



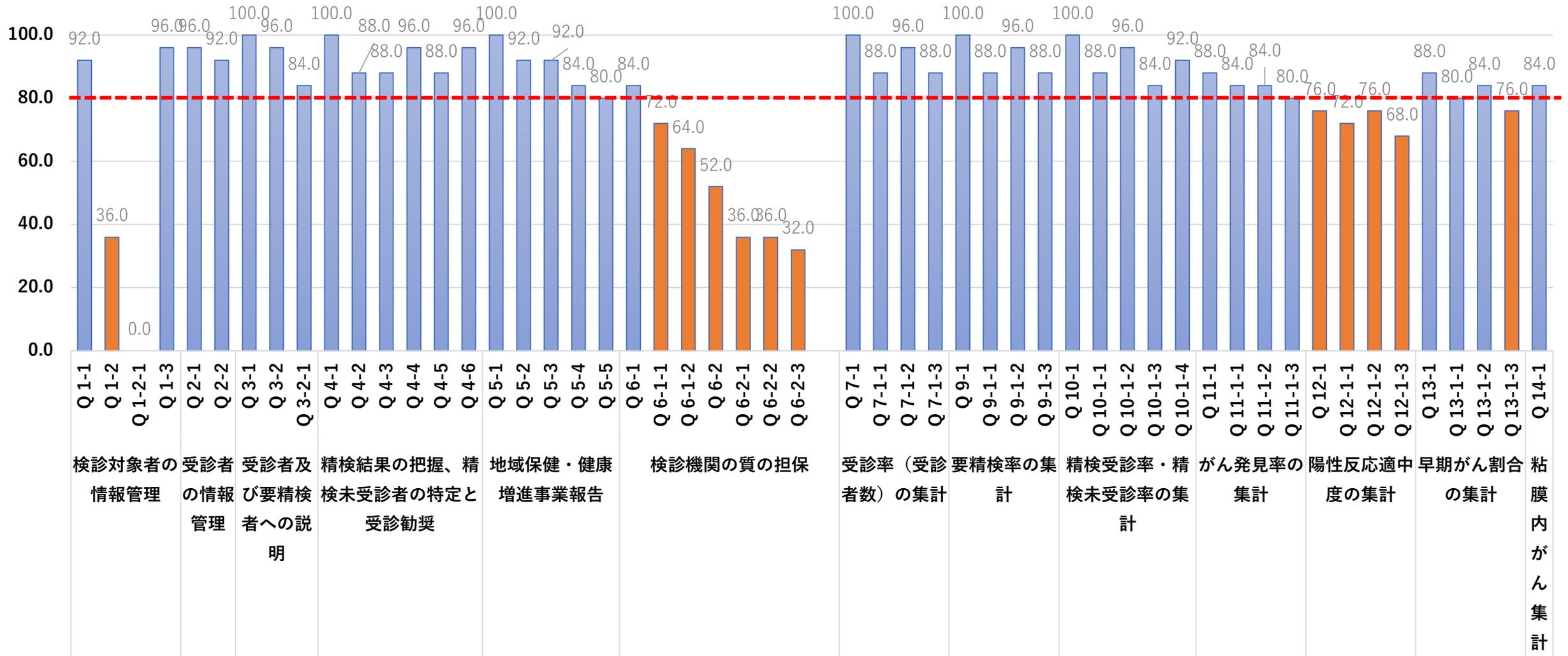
市町村チェックリスト達成率 <市町村別> 胃がん・エックス線 (集団)

胃X線_集団_チェックリスト実施率 R6 : N=25、R4 : N=25



市町村チェックリスト達成率 <項目別> 胃がん・エックス線 (集団)

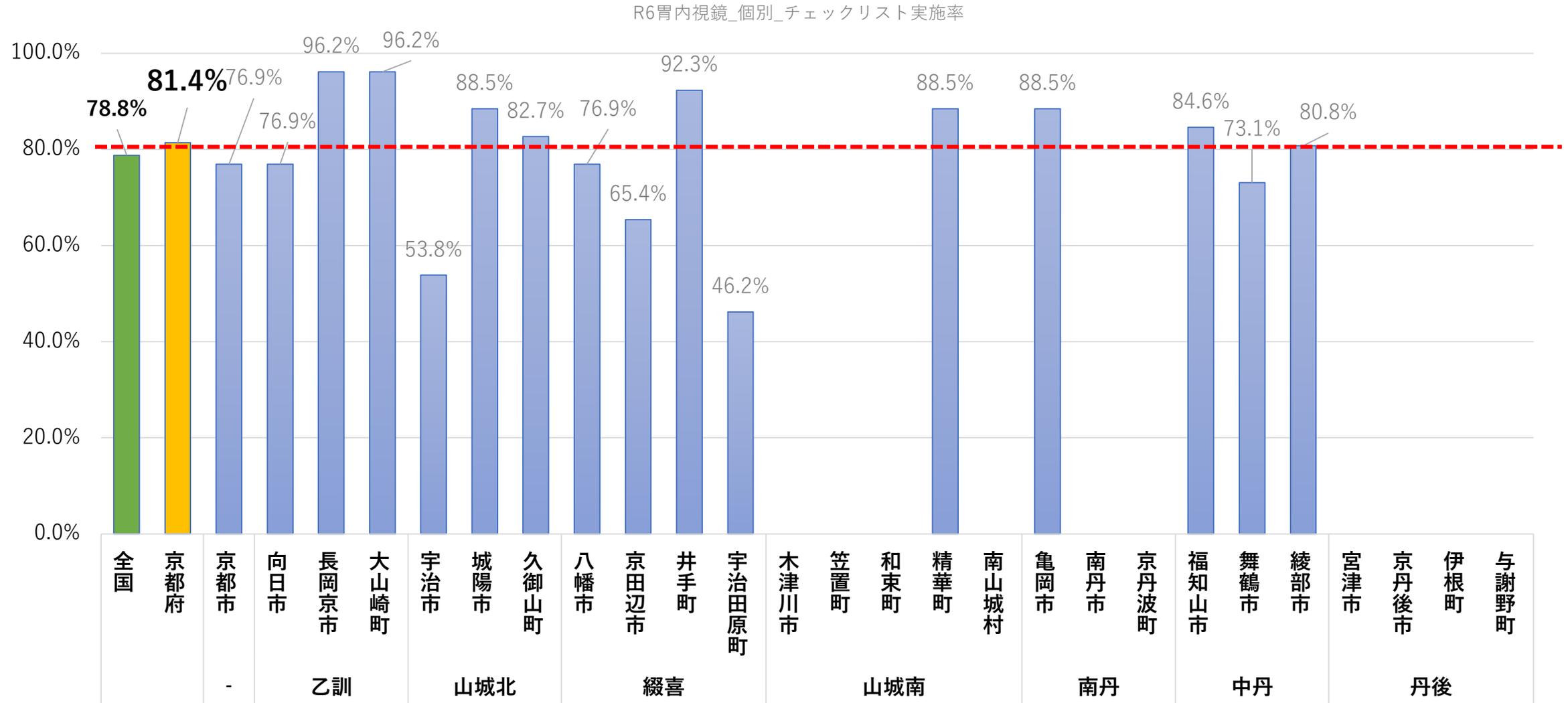
胃エックス線 (集団) R6 : N=16、R4 : N=25



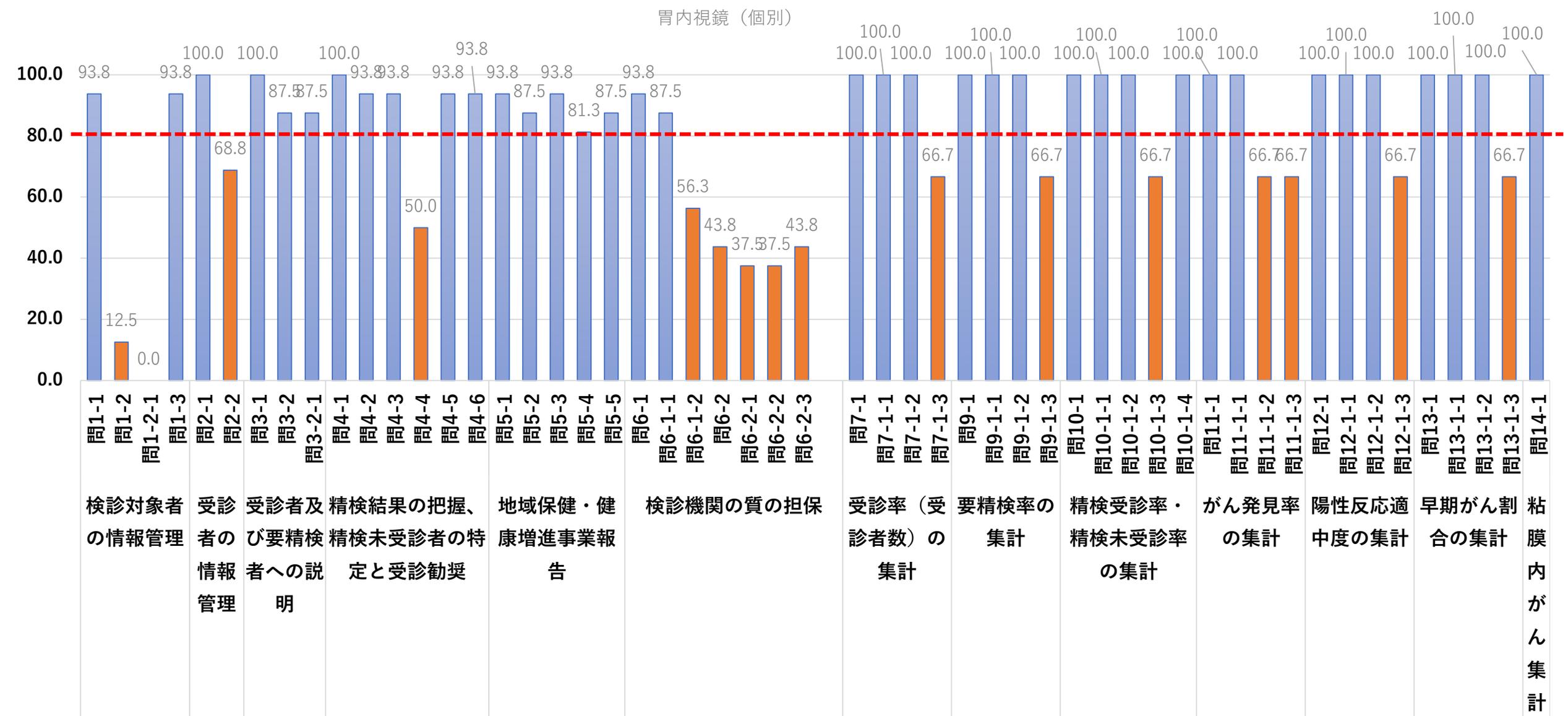
<出典> 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査

※参考資料2 P4-5

市町村チェックリスト達成率 <市町村別> 胃がん・内視鏡（個別）



市町村チェックリスト達成率 <項目別> 胃がん・内視鏡 (個別)



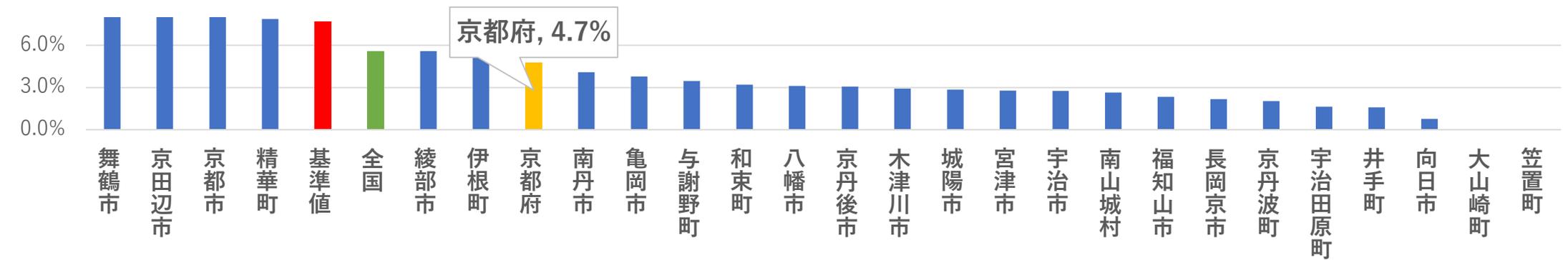
<出典> 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査

※参考資料2 P6-7

胃がん検診（X線・集団）市町村プロセス指標②

※50～74歳
R4 受診者数 17,462人 がん発見数 12人

R4胃X線_集団 <要精検率> 基準値：7.7%以下



R4胃X線_集団 <がん発見率> 基準値：0.19%以上



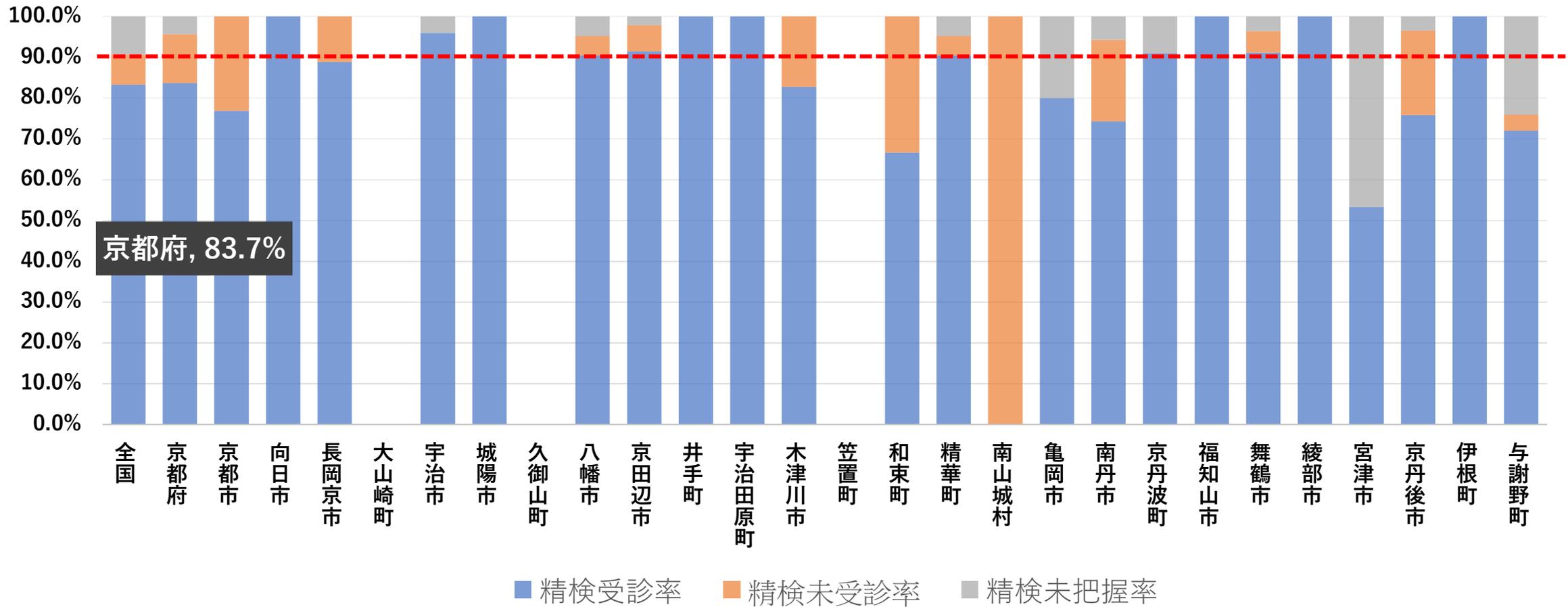
R4胃X線_集団 <陽性反応敵中度> 基準値：2.5%以上



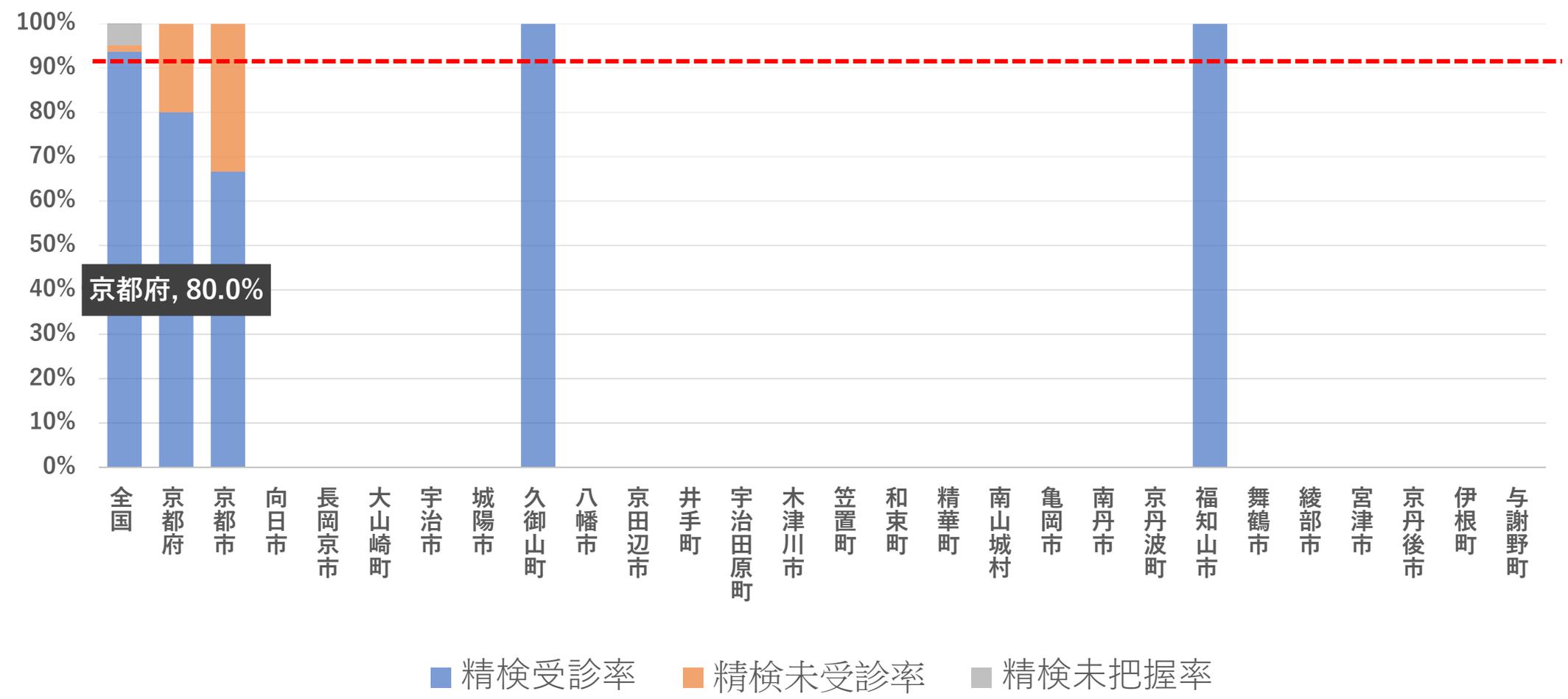
胃がん検診（X線・集団）市町村プロセス指標①

※50～74歳
R4 受診者数 17,462人 がん発見数 12人

R4胃X線_集団 <精検受診率> 基準値：90%以上

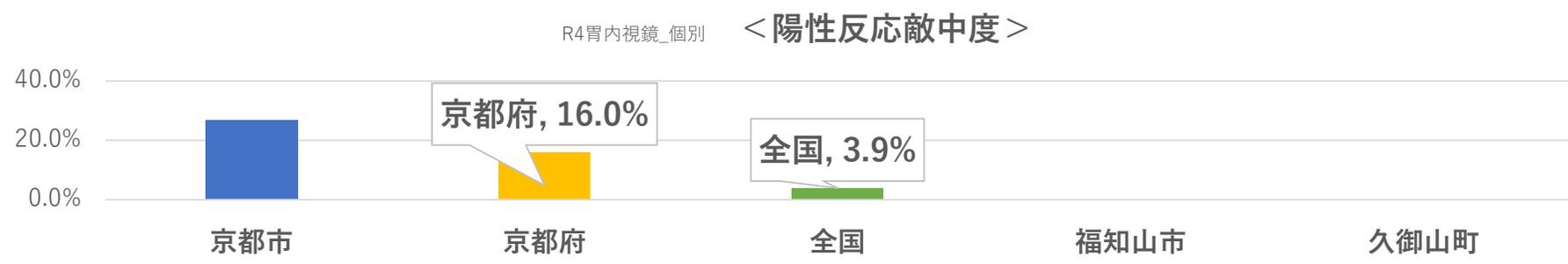
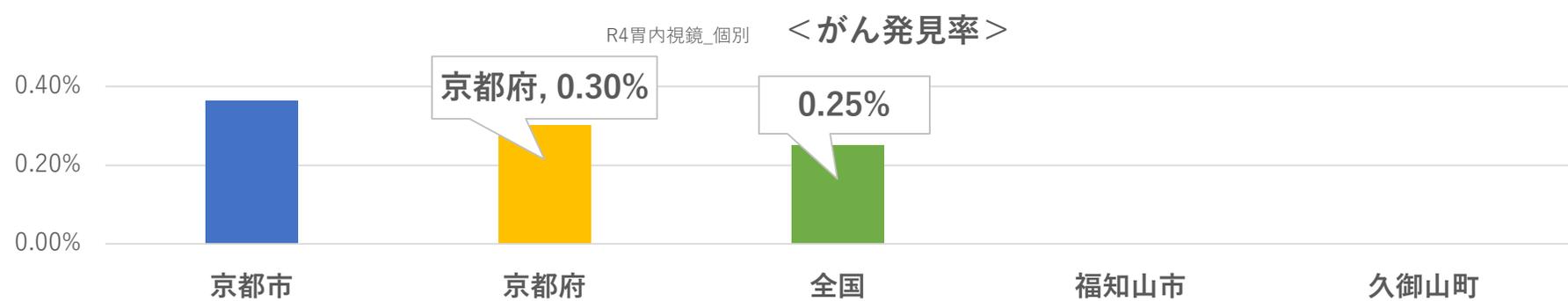
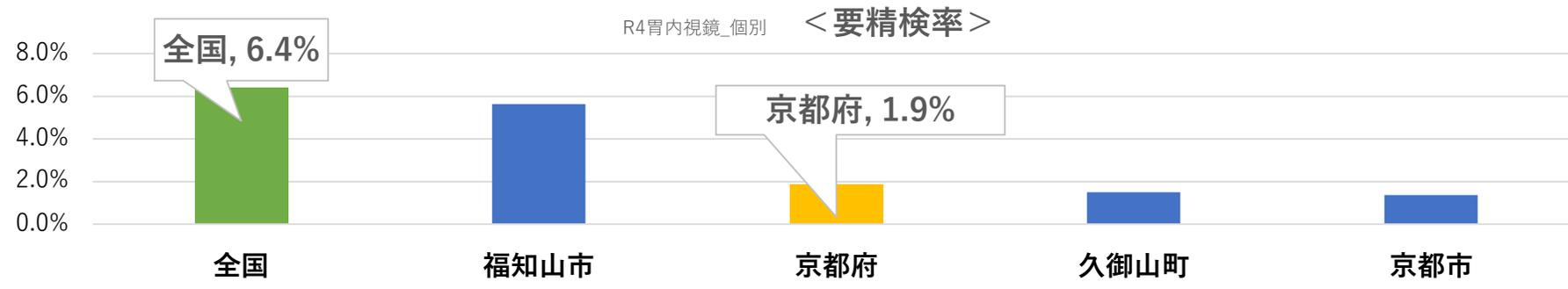


R4胃内視鏡_個別 <精検受診率> 基準値：90%以上



胃がん検診（内視鏡・個別）市町村プロセス指標②

※50～74歳
R4 受診者数 1,330人 がん発見数 4人



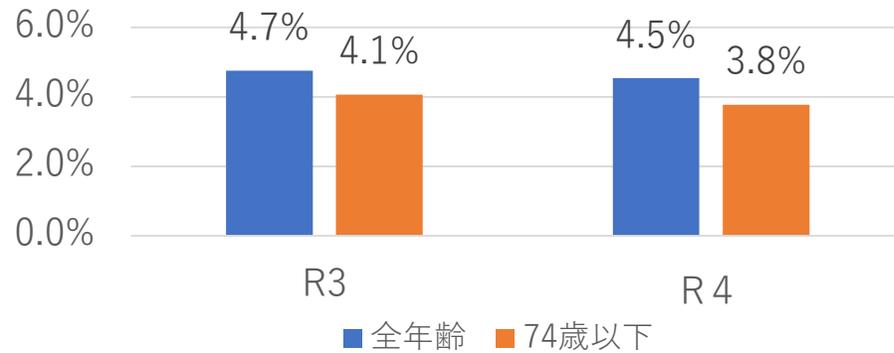
R6 検診機関チェックリスト達成率<項目別> 胃がん検診

<胃がん> ※回答検診機関：3施設（胃部X線2施設、胃内視鏡1施設）	項目数	R5年度	R6年度
Q1:受診者への説明 （検診の有効性、要精検時の受診勧奨、市町村との結果の共有等）	6	100%	100%
Q2：問診、胃部エックス線撮影の精度管理 （検査・問診内容、撮影機器の仕様、撮影方法、撮影技師の資格等）	10	100%	100%
Q3:胃部エックス線読影の精度管理 （読影医の資格、比較読影、読影画像及び結果の保存等）	5	100%	100%
Q4：胃内視鏡画像の読影の精度管理 （結果通知時期、読影委員会の設置、プロセス指標の把握、精度管理委員会の参加等）	5	100%	100%
Q5：システムとしての精度管理（6項目） （プロセス指標の把握、市町村との共有、検討会の参加等）	7	100%	100%

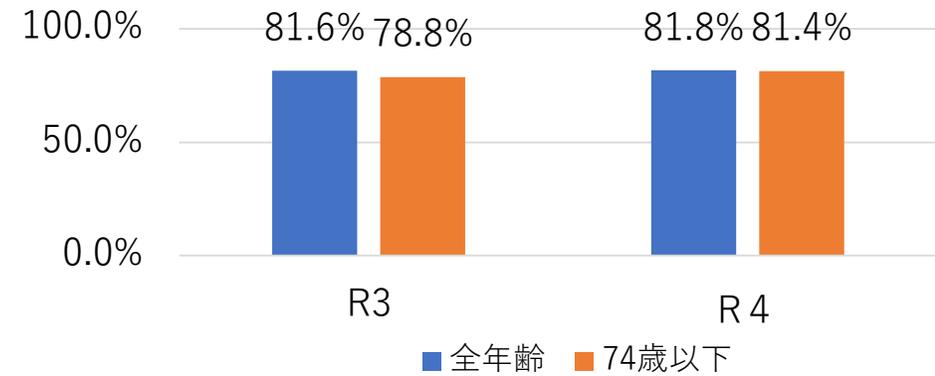
胃がん検診（X線・集団）検診機関プロセス指標（A機関）

※（ ）は、50-74歳基準値

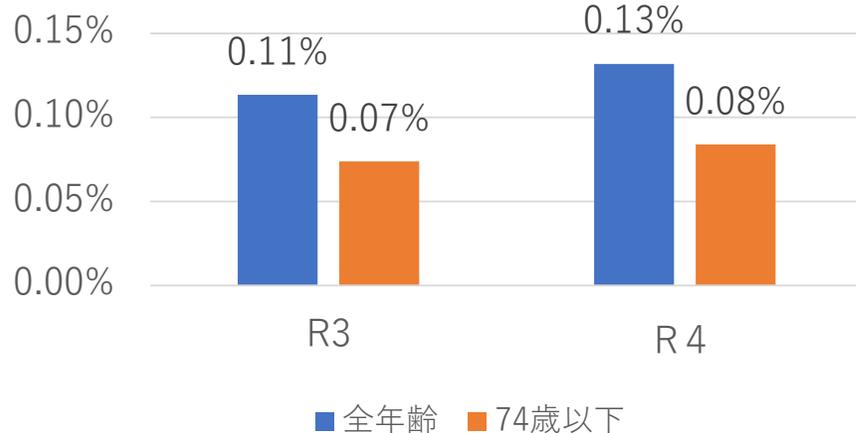
胃がんX線_要精検率（7.7%以下）



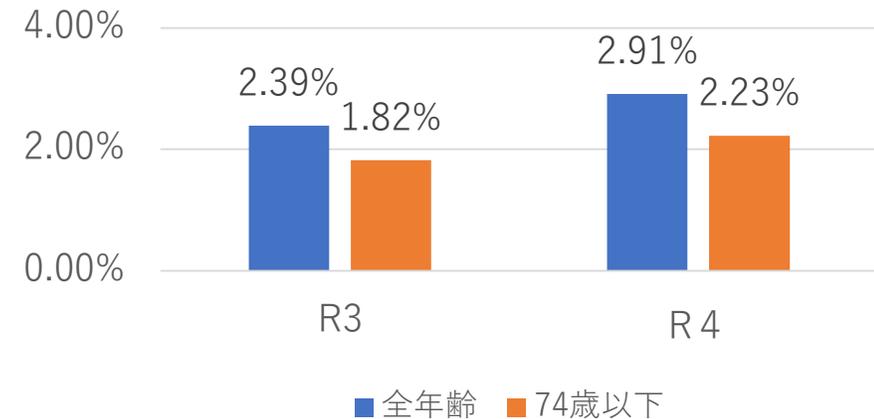
胃がんX線_精検受診率（90%以上）



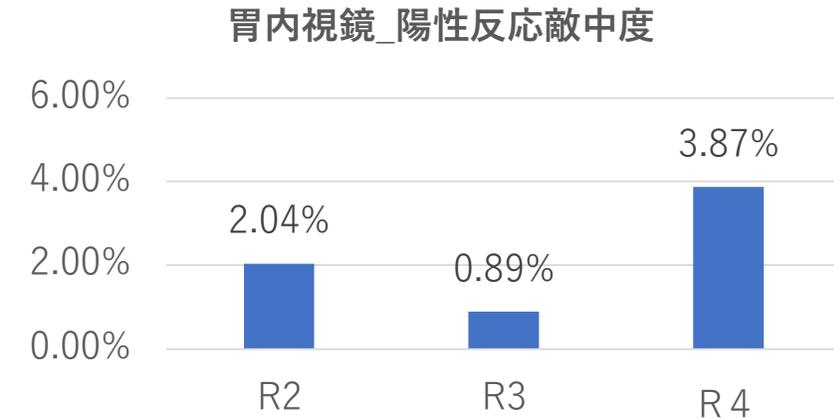
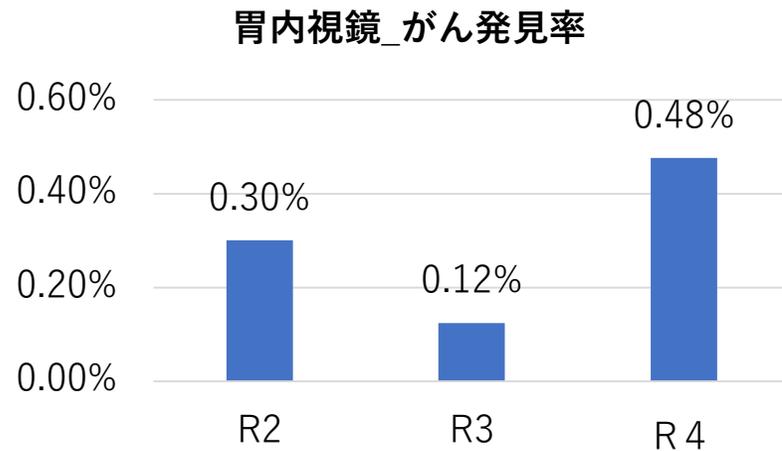
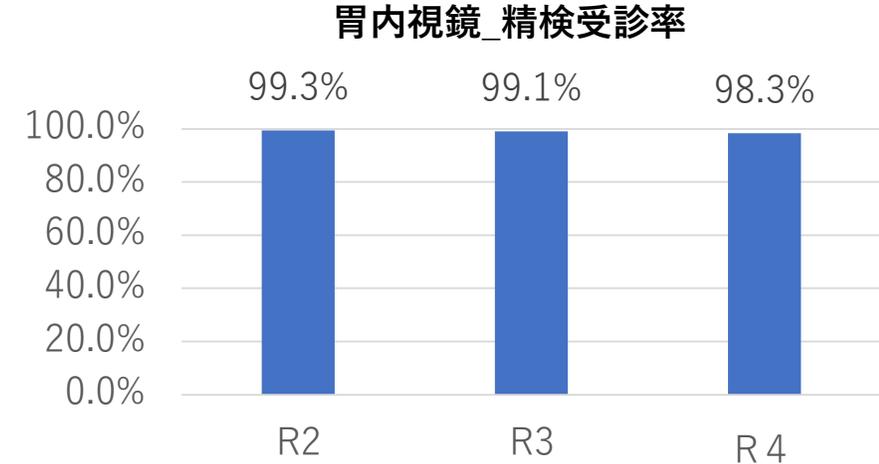
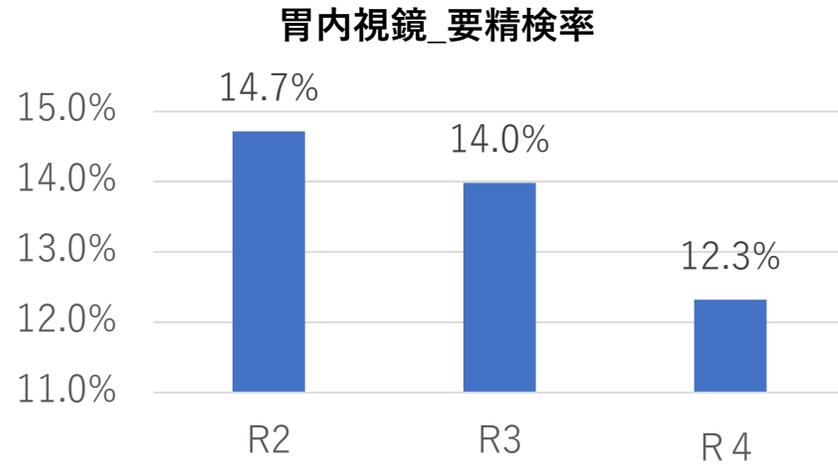
胃がんX線_がん発見率（0.19%以上）



胃がんX線_陽性反応敵中度（2.5%以上）



胃がん検診（内視鏡・個別） 検診機関プロセス指標（D機関・全年齢）

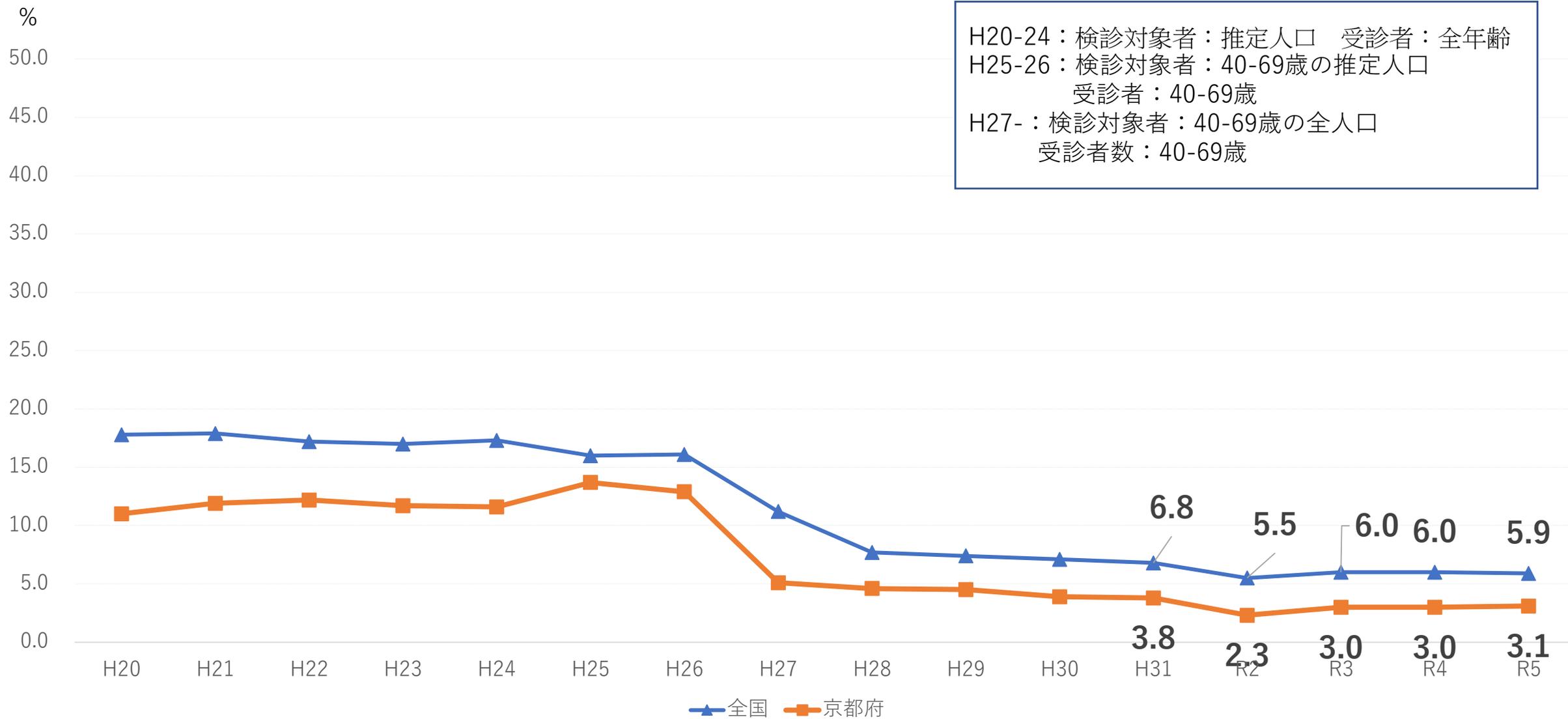




肺がん検診

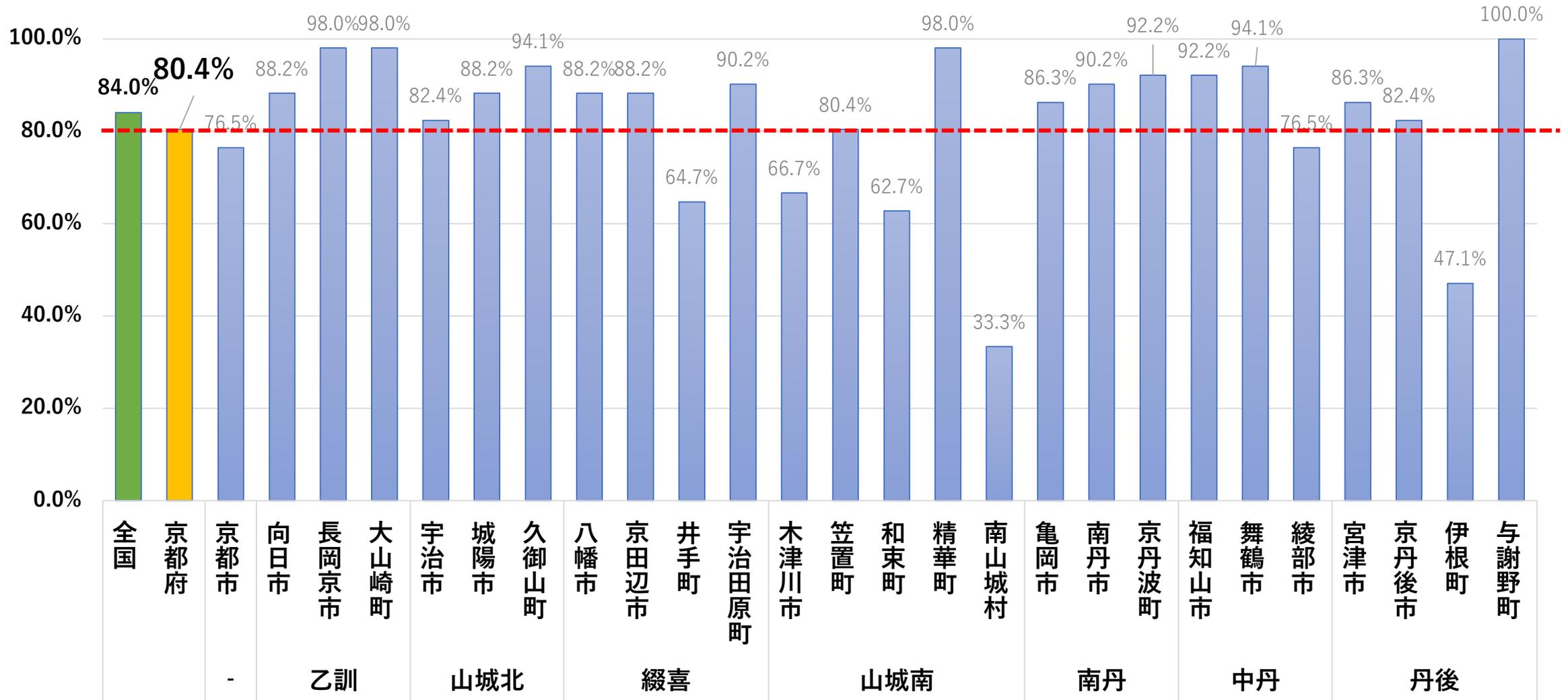
項目	内容
対象者	40歳以上
検診間隔	1年に1回
検診項目	質問（医師が自ら対面により行う場合は問診）、胸部X線検査および喀痰細胞診（ただし喀痰細胞診は、原則50歳以上で喫煙指数が600以上の人のみ。過去の喫煙者も含む）
地域保健・健康増進事業報告（受診率）	40～69歳の受診者。検診対象者は、同年代の全人口。
府内の状況（R7年度）	◆集団方式 26市町村 ◆個別方式 0
R4年度 受診者数とがん発見数（40～74歳）	集団方式（受診者数 43,575人 、がん発見数 24人 ）

肺がん検診 受診率推移



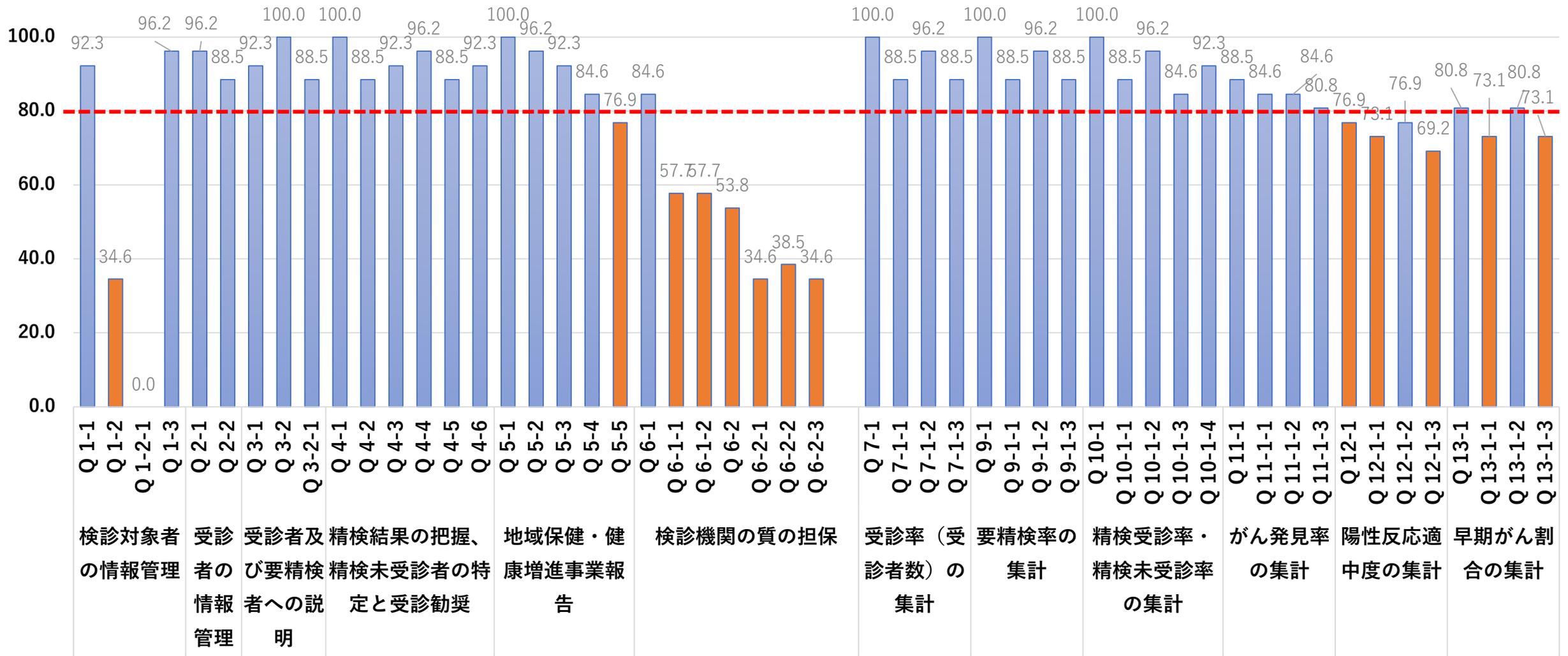
市町村チェックリスト達成率 <市町村別> 肺がん（集団）

R6肺_集団_チェックリスト実施率



市町村チェックリスト達成率 <項目別> 肺がん (集団)

肺 (集団) R6 : N=26、R4 : N=26



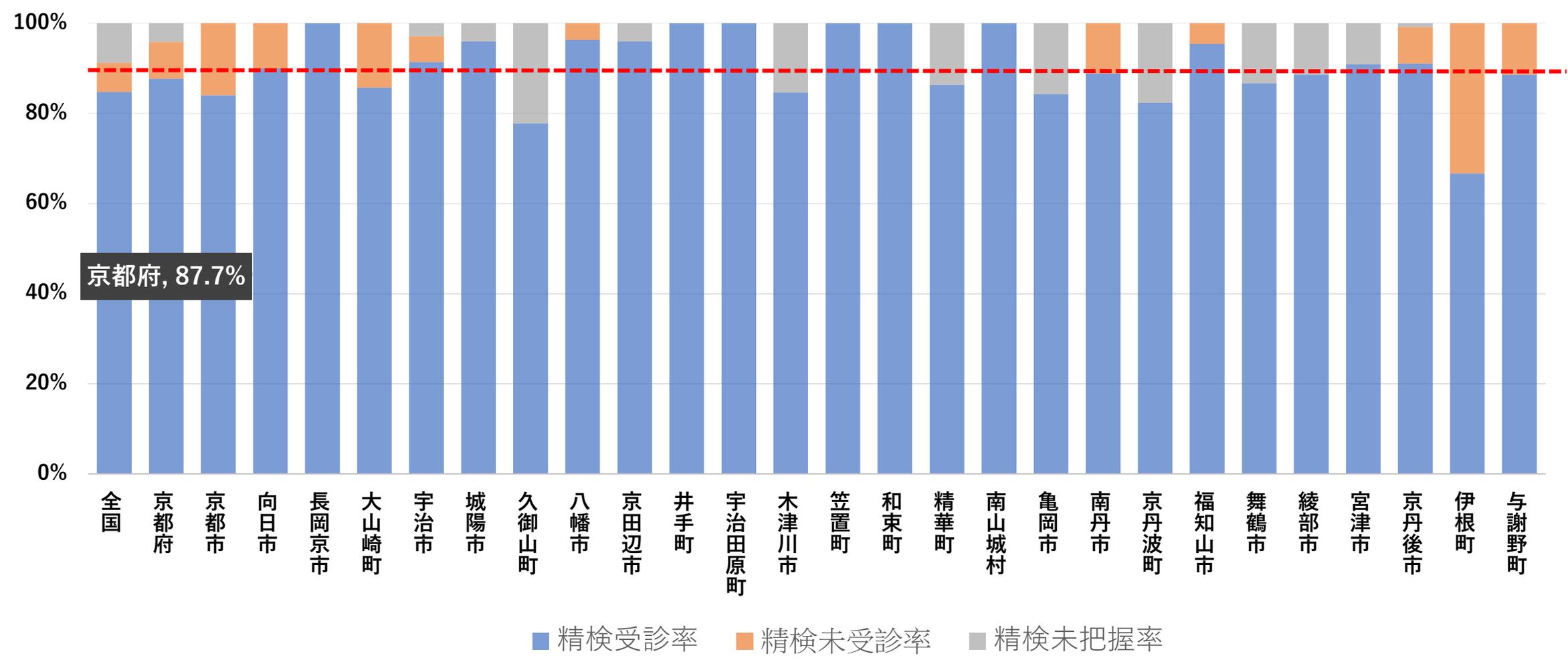
<出典> 市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査

※参考資料2 P4-5

検診機関チェックリスト達成率<項目別>肺がん検診

<肺がん検診> ※回答検診機関：3施設	項目数	R5年度	R6年度
Q1. 受診者への説明 (検診の有効性、要精検時の受診勧奨、市町村との結果の共有等)	7	100%	100%
Q2. 質問(問診)、及び撮影の精度管理 (喀痰細胞診対象者の確認、撮影機器及び撮影医師の指導、緊急体制整備、研修会の確保等)	11	100%	100%
Q3. 胸部エックス線読影の精度管理 (読影医師の担保、 <u>読影医師の要件</u> 、読影基準の確認、画像及び結果の保管等)	8	95.8%	95.8%
Q4. 喀痰細胞診の精度管理 (細胞診の検査方法、細胞診専門医等の連携、標本の保管、 <u>がん症例の過去の細胞所見の見直し</u> 等)	7	94.7%	100.0%
Q5. システムとしての精度管理 (<u>結果返却時期</u> 、プロセス指標の把握、市町村との共有、検討会の参加等)	8	91.7%	83.3%

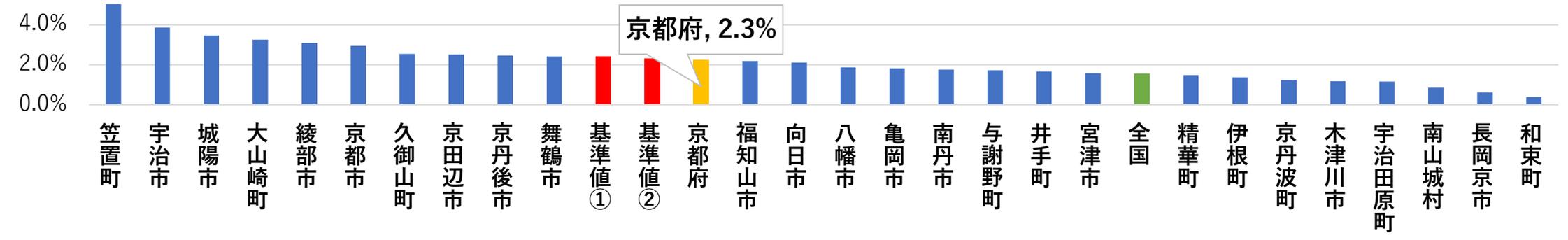
R4肺_集団 <精検受診率> 基準値：90%以上



肺がん検診（集団）市町村プロセス指標②

※40～74歳
R4 受診者数 43,575人 がん発見数 24人

R4肺_集団 <要精検率> 基準値：①2.4又は②2.3%以下



R4肺_集団 <がん発見率> 基準値：①0.10又は②0.05%以上



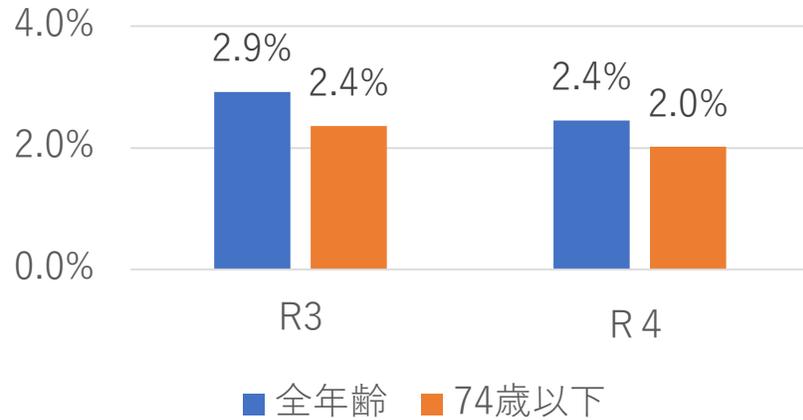
R4肺_集団 <陽性反応敵中度> 基準値：①4.1又は②2.2%以上



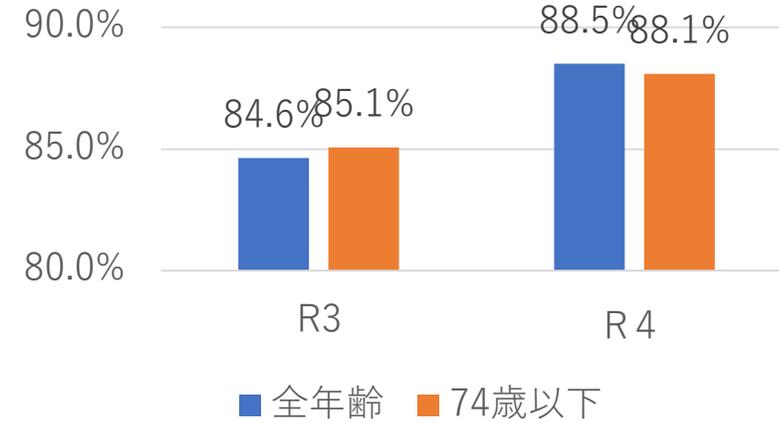
肺がん検診 検診機関プロセス指標 (A 機関)

※ () は、40-74歳基準値 (検診以外の肺に関する検査の受診なし又は検診以外の肺に関する検査の受診を考慮)

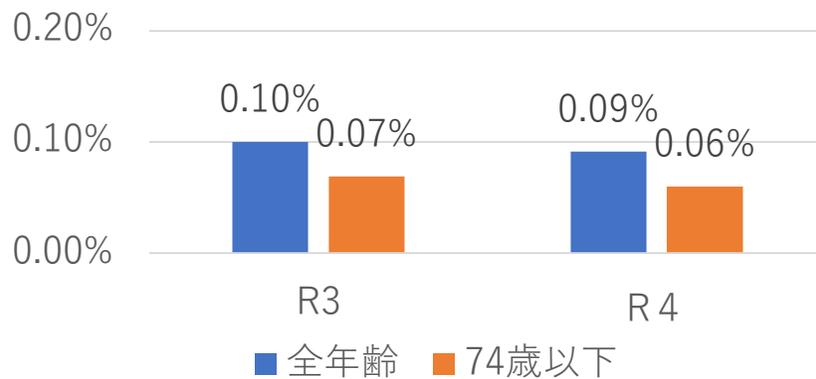
肺_要精検率(2.4%又は2.3%以下)



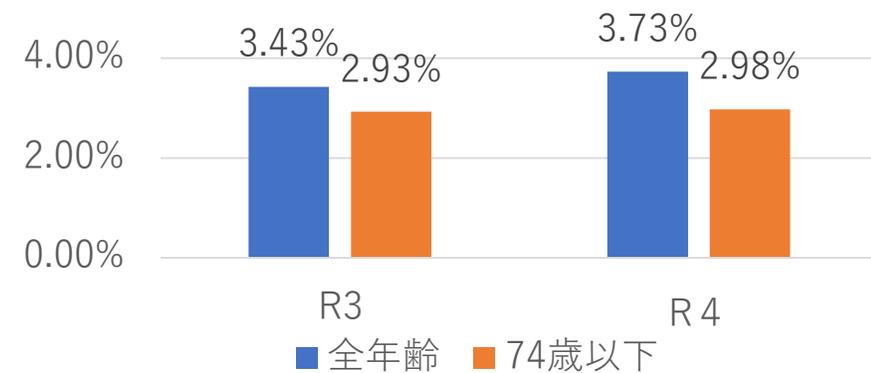
肺_精検受診率 (90%以上)



肺_がん発見率 (0.10又は0.05%以上)



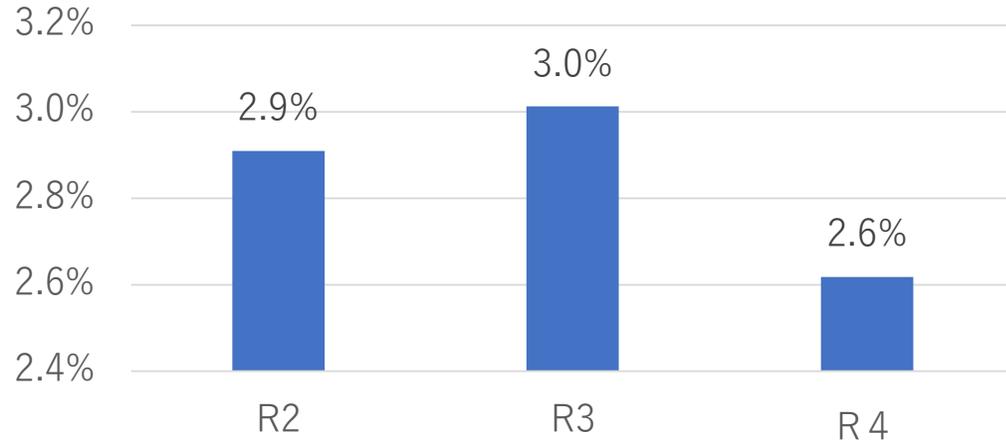
肺_陽性反応敵中度 (4.1又は2.2以上)



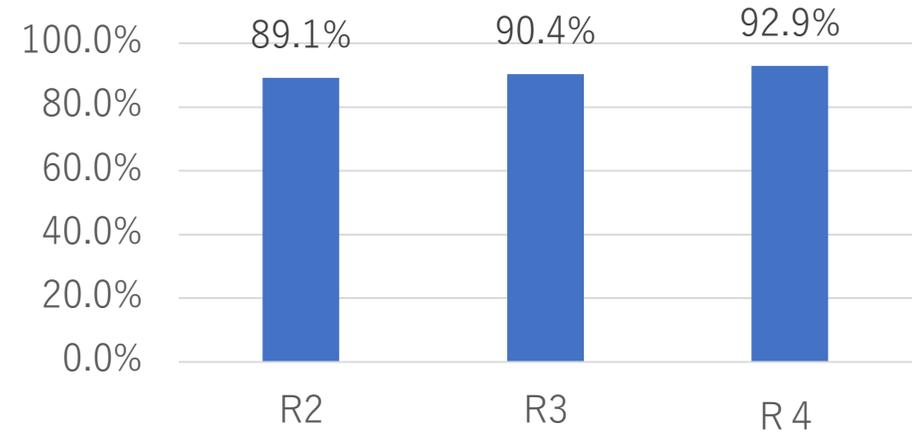
肺がん検診 検診機関プロセス指標 (D機関)

※ (参考:) は、40-74歳基準値 (検診以外の肺に関する検査の受診なし又は検診以外の肺に関する検査の受診を考慮)

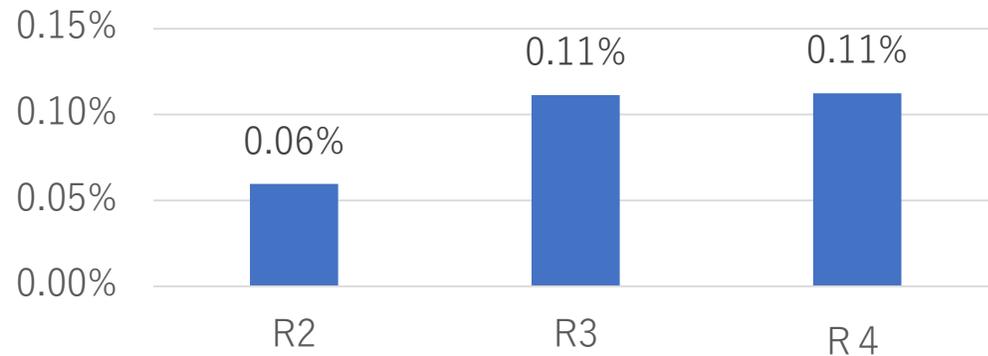
肺X線_要精検率 (参考: 2.4又は2.3%以下)



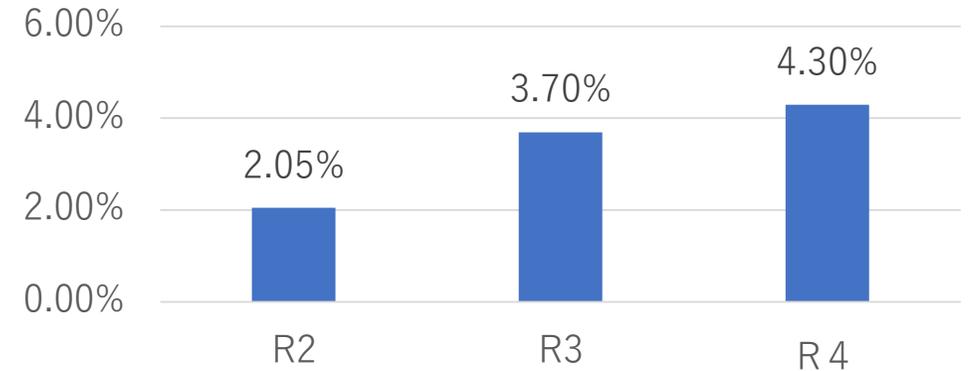
肺X線_精検受診率 (参考: 90%以上)



肺X線_がん発見率 (参考: 0.10又は0.05以上)



肺X線_陽性反応敵中度 (4.1又は2.2以上)

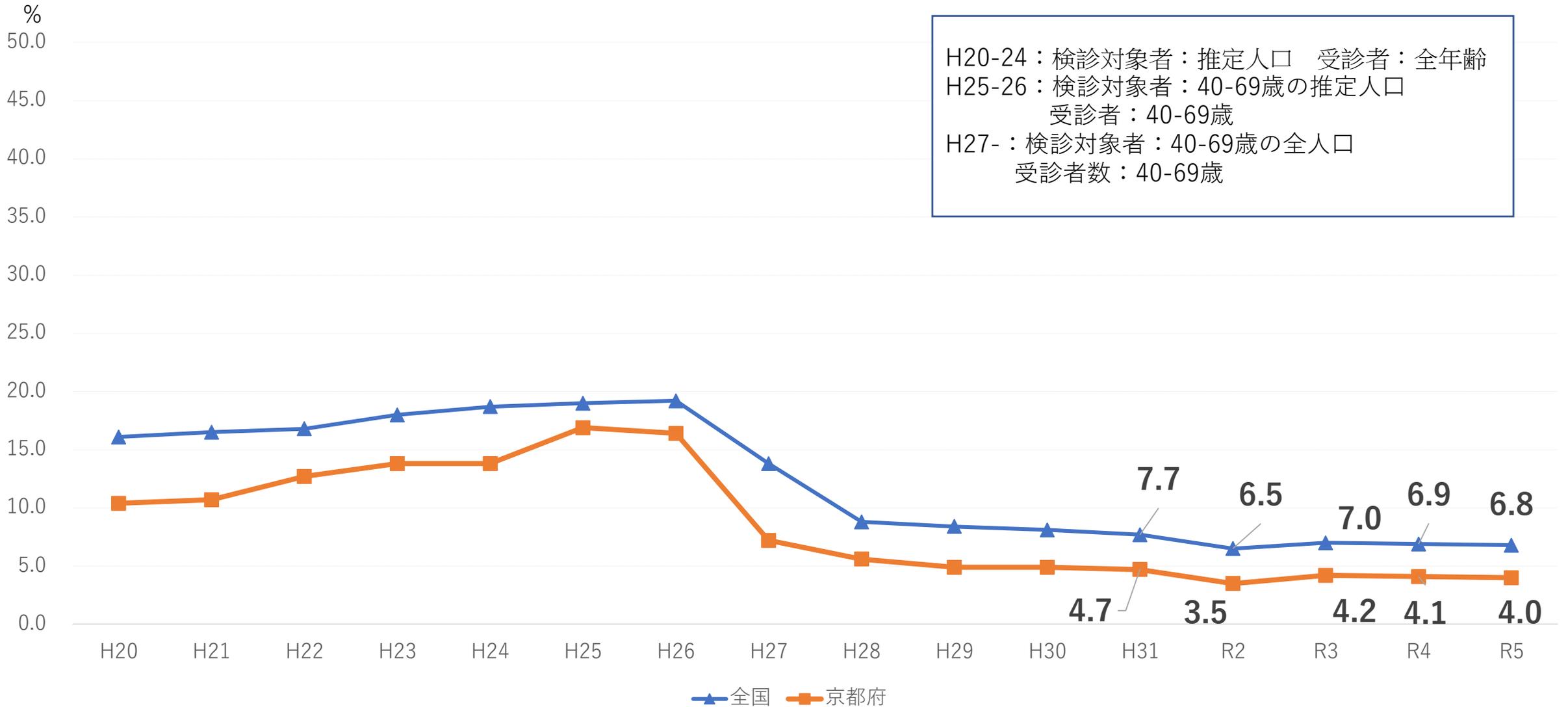




大腸がん検診

項目	内容
対象者	40歳以上
検診間隔	1年に1回
検診項目	問診及び便潜血検査（2日法）
地域保健・健康増進事業報告（受診率）	40～69歳の受診者。検診対象者は、同年代の全人口。
府内の状況 （R7年度）	◆集団方式 20市町村 ◆個別方式 16市町村
R4年度 受診者数とがん発見数 （40～74歳）	集団方式（受診者数 36,597人 、がん発見数 58人 ） 個別方式（受診者数 26,293人 、がん発見数 90人 ）

大腸がん検診 受診率推移



大腸がん検診受診率

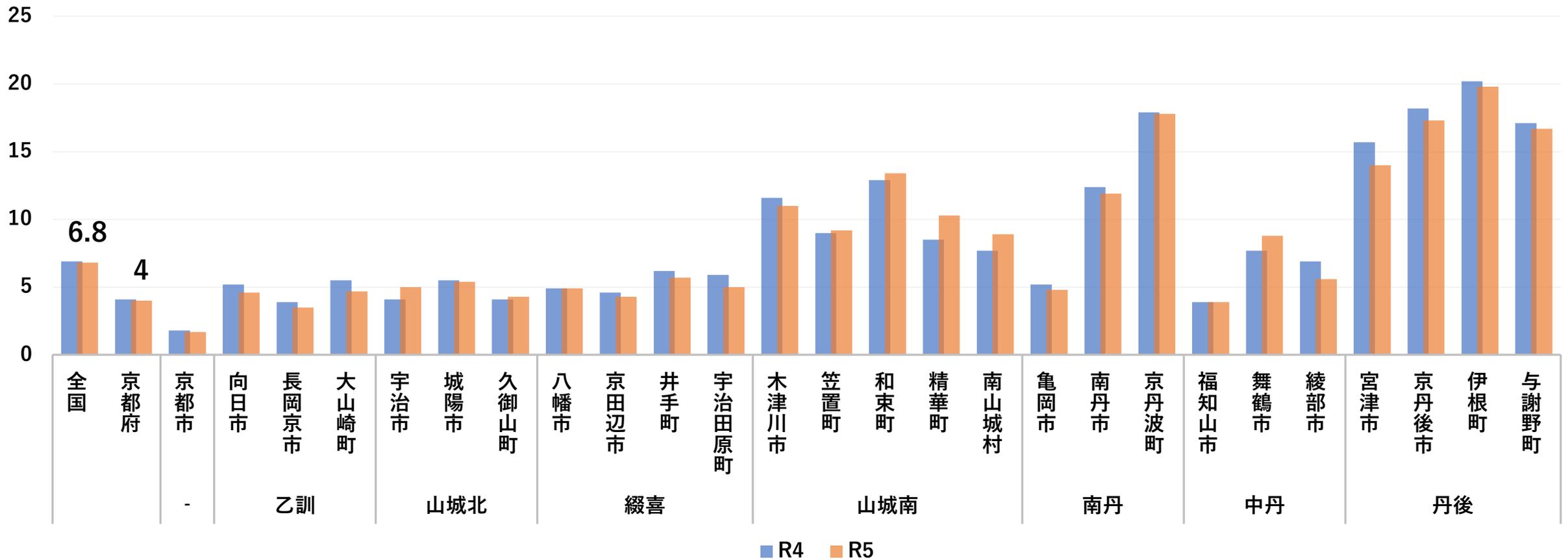
<参考>

40～69歳、1年に1回

R4 受診者数 40,069人

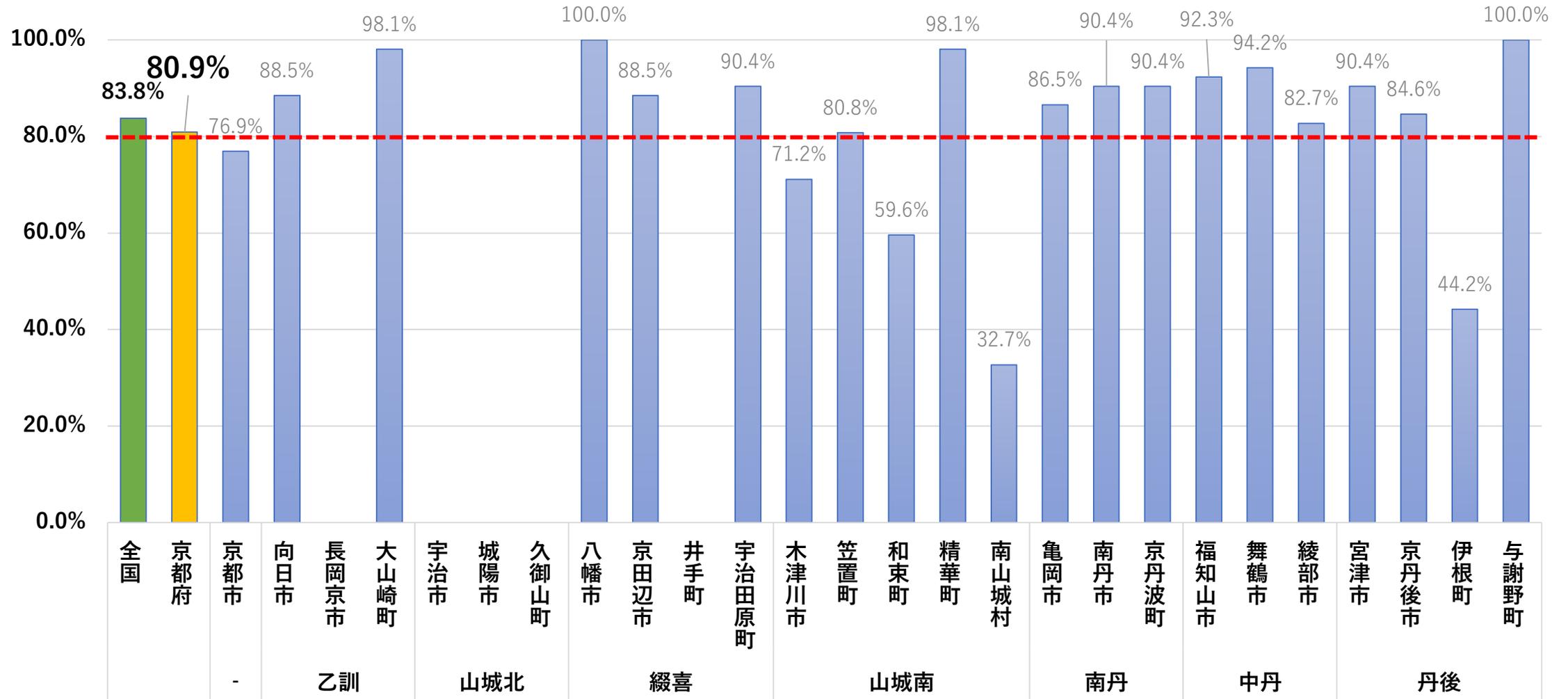
R5 受診者数 39,153人

大腸がん_受診率 (%)



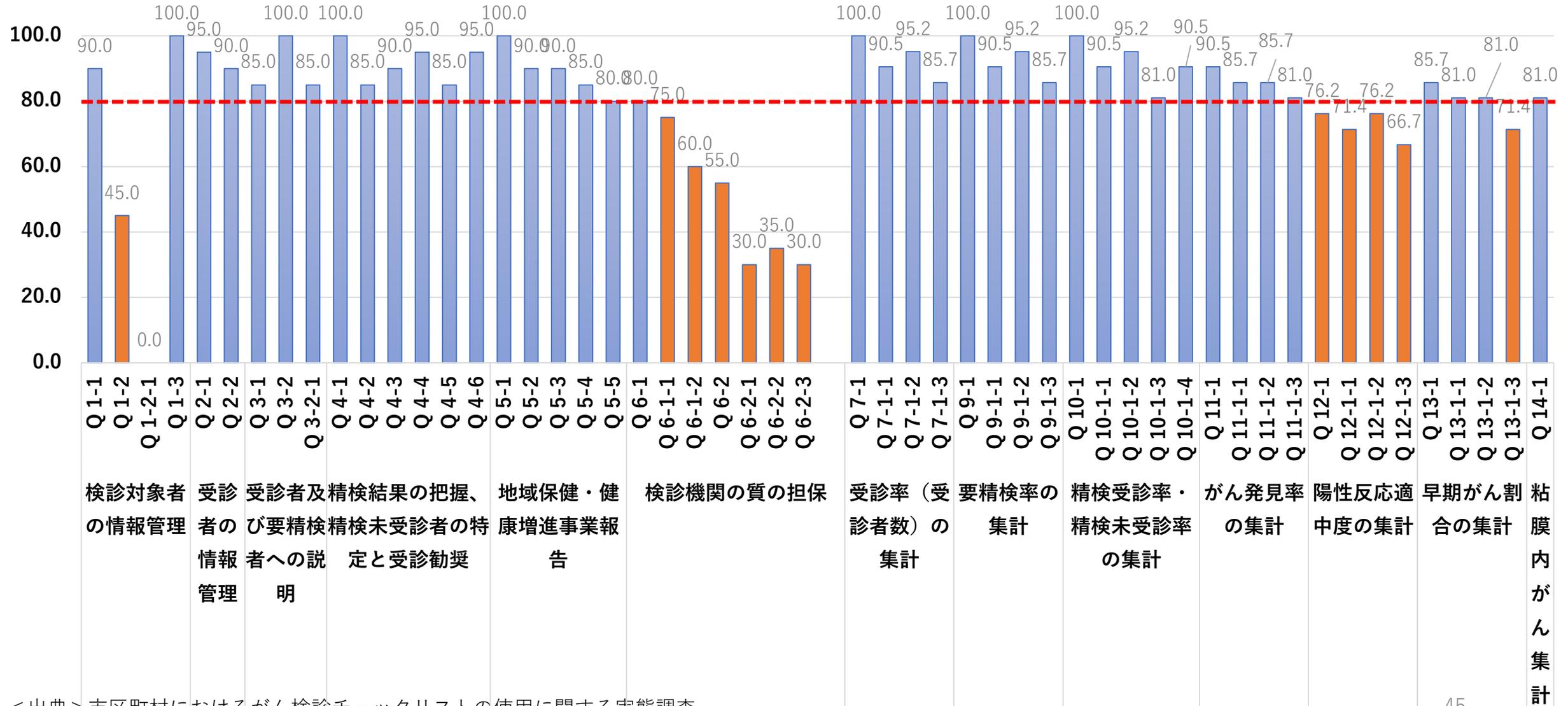
市町村チェックリスト達成率 <市町村別>大腸がん（集団）

R6大腸_集団_チェックリスト実施率



市町村チェックリスト達成率 <項目別>大腸がん（集団）

大腸（集団） R6：N=20 R4：N=21

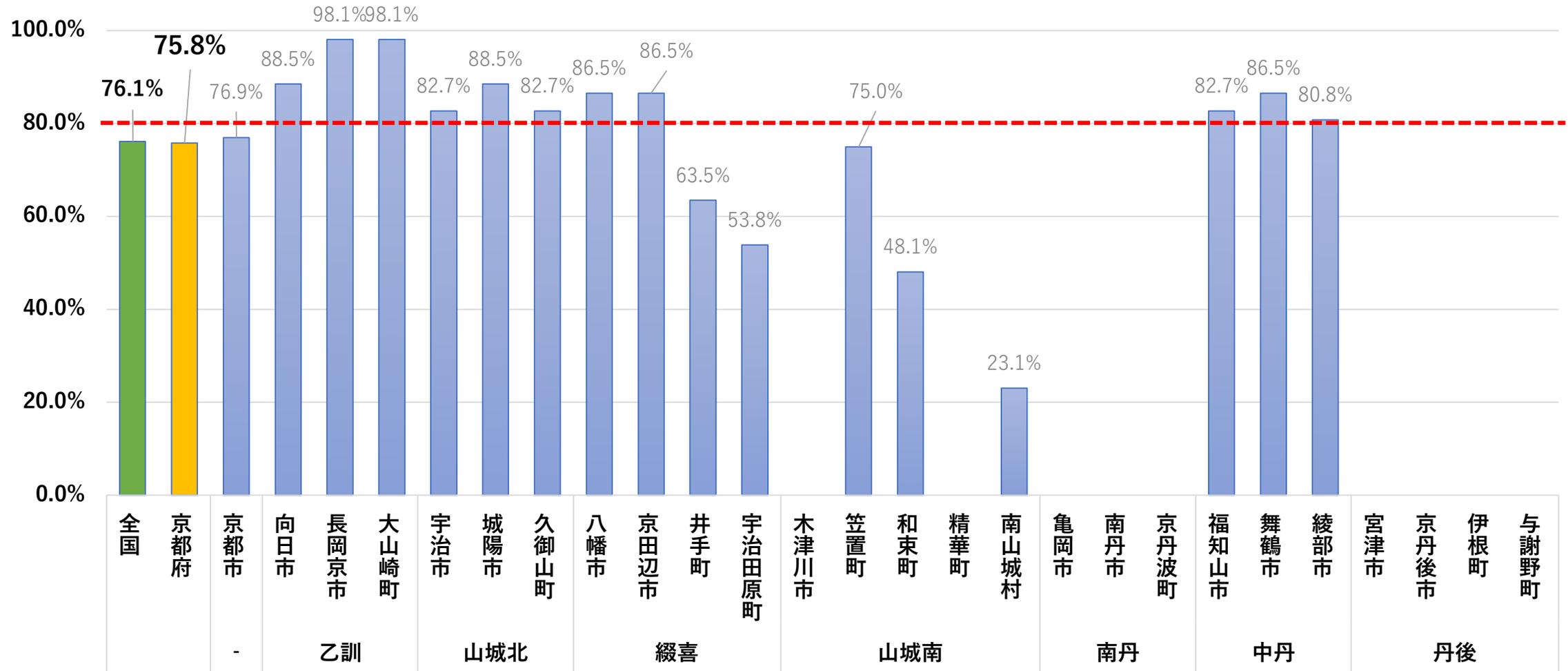


<出典>市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査

※参考資料2 P4-5

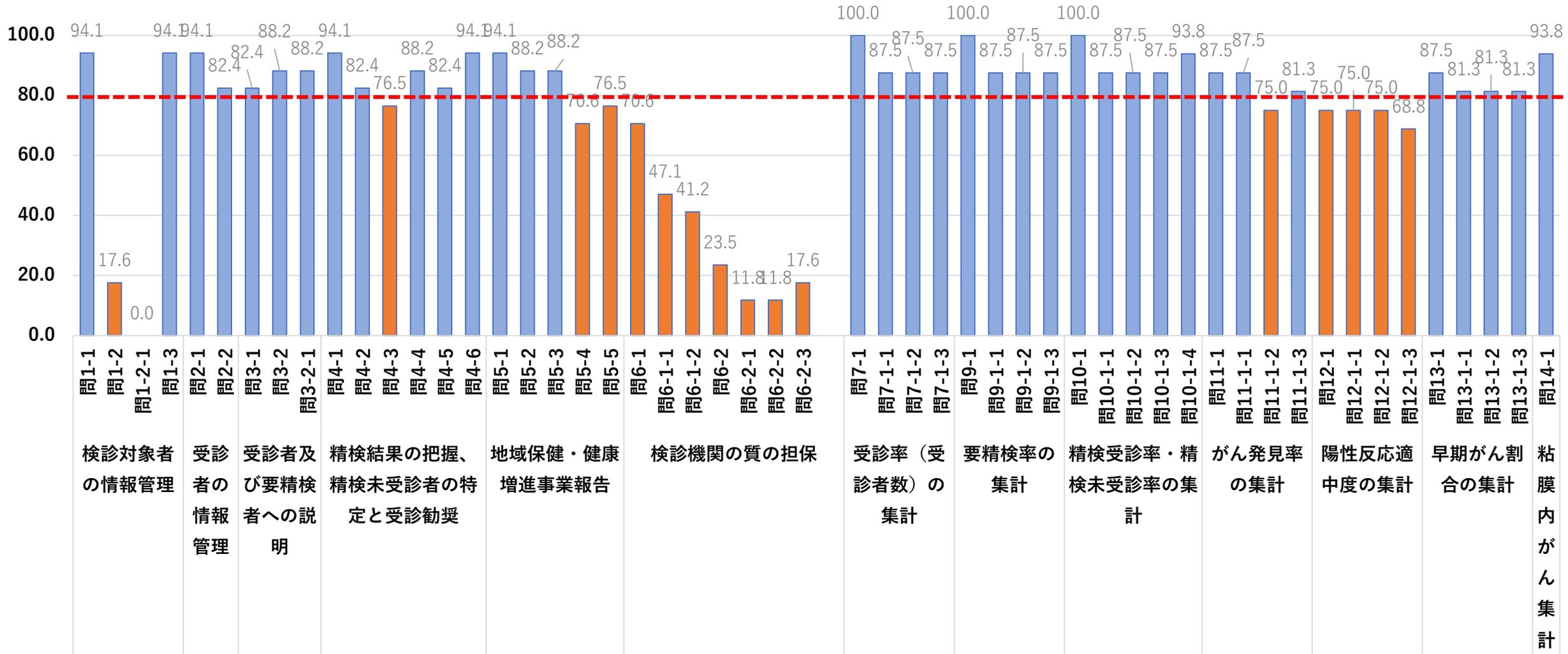
市町村チェックリスト達成率 <市町村別>大腸がん（個別）

R6大腸_個別_チェックリスト実施率



市町村チェックリスト達成率 <項目別>大腸がん（個別）

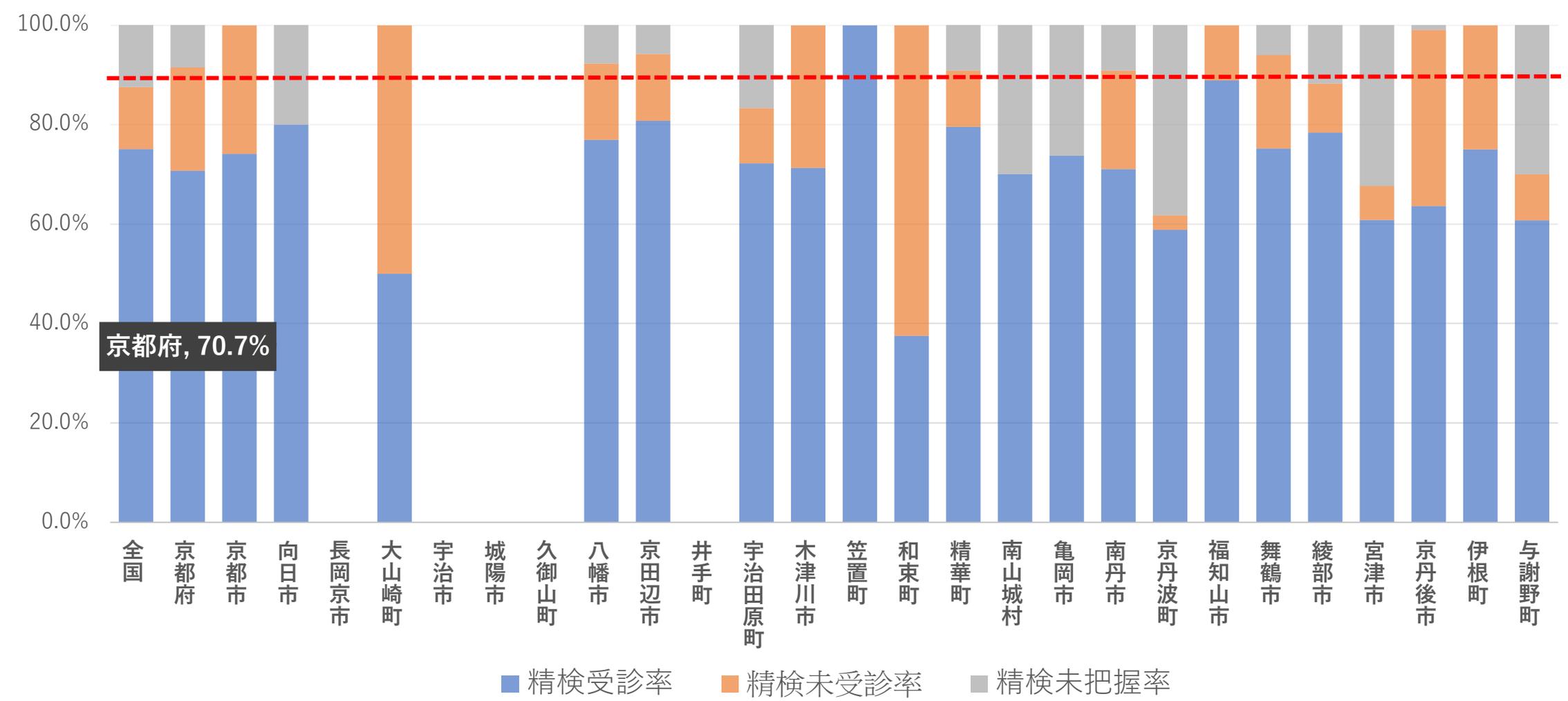
大腸（個別） R6：N=、R4：N=



<出典>市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査

※参考資料2 P6-7

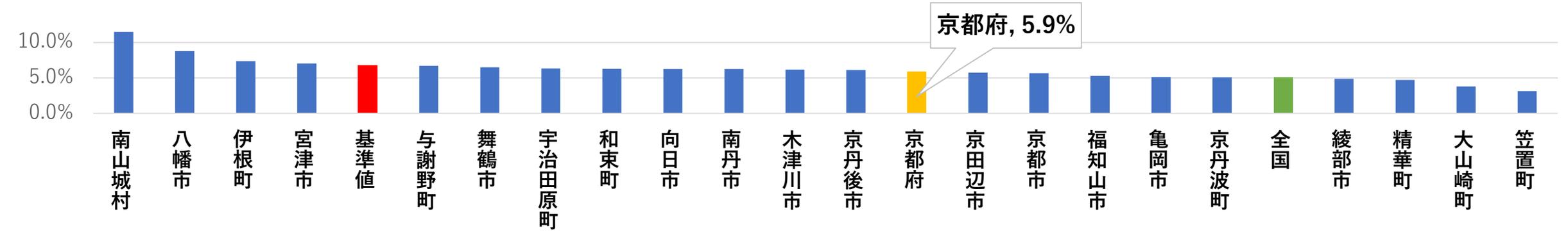
R4大腸_集団 精検受診率



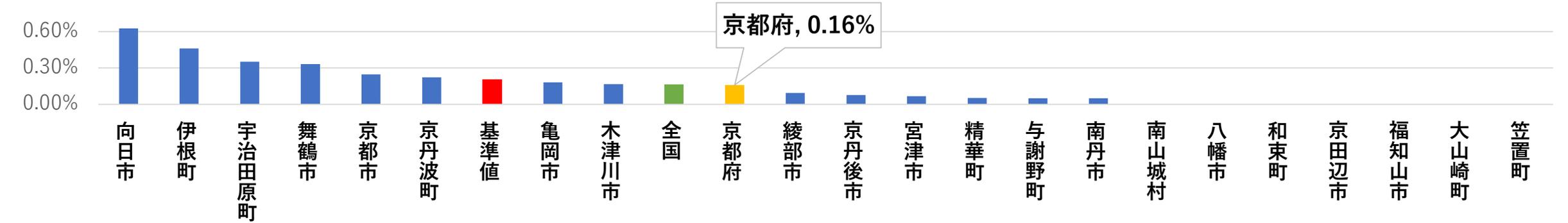
大腸がん検診（集団）市町村プロセス指標①

※40～74歳
R4 受診者数 36,597人 がん発見数 58人

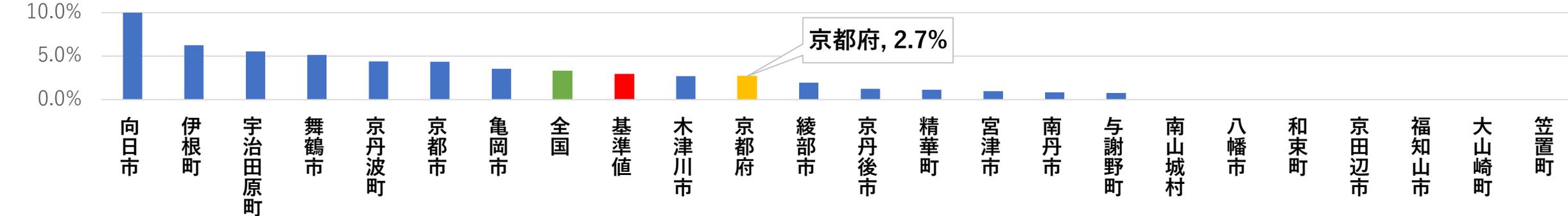
R4大腸_集団 <要精検率> 基準値：6.8%以下



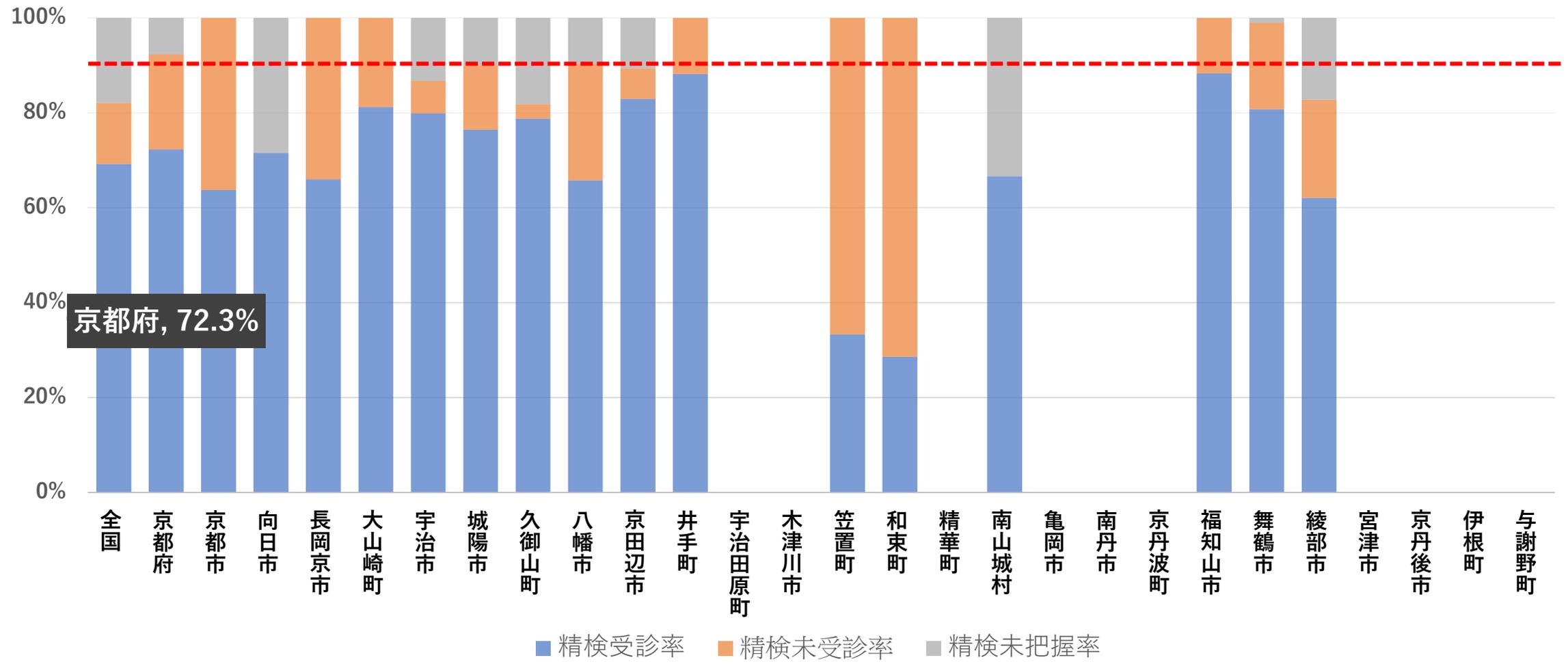
R4大腸_集団 <がん発見率> 基準値：0.21%以上



R4大腸_集団 <陽性反応敵中度> 基準値：3.0%以上

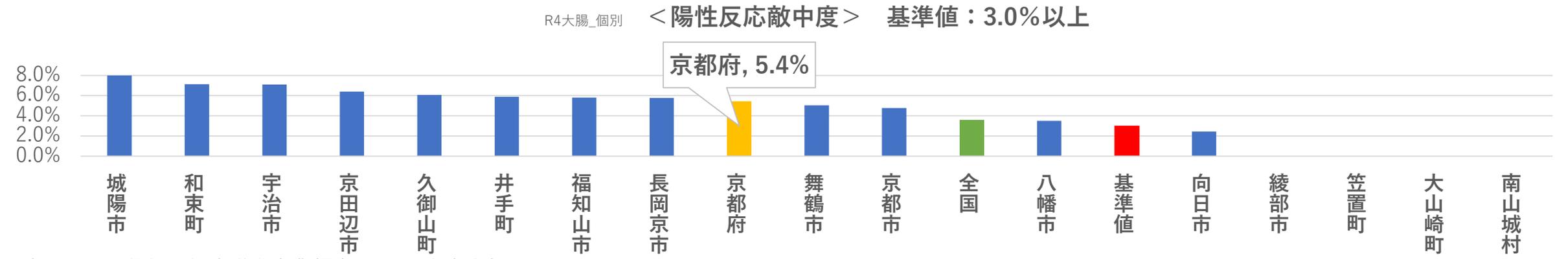
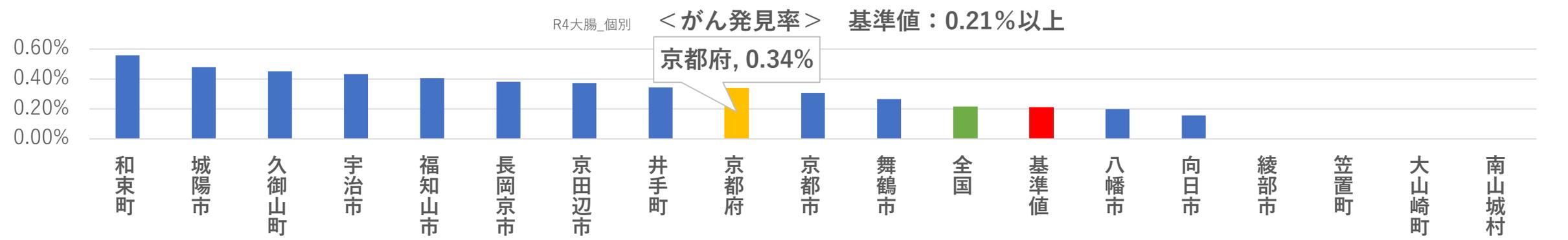
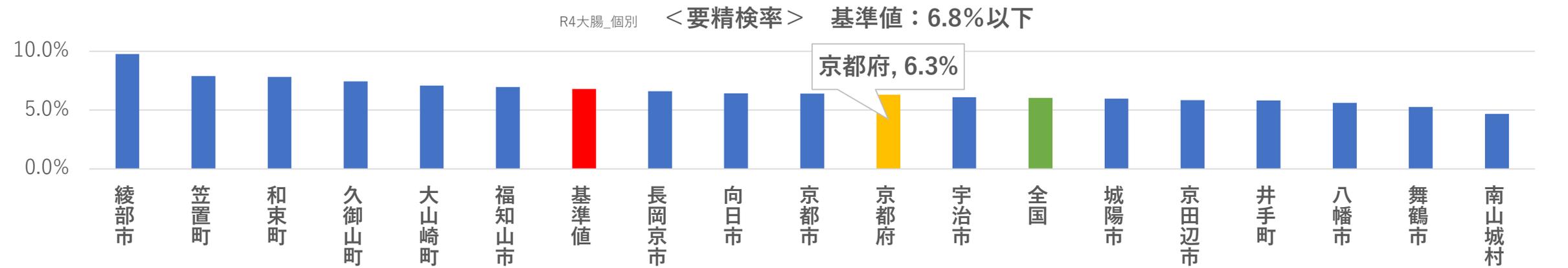


R4大腸_個別_精検受診率



大腸がん検診（個別）市町村プロセス指標②

※40～74歳
R4 受診者数 26,293人 がん発見数 90人

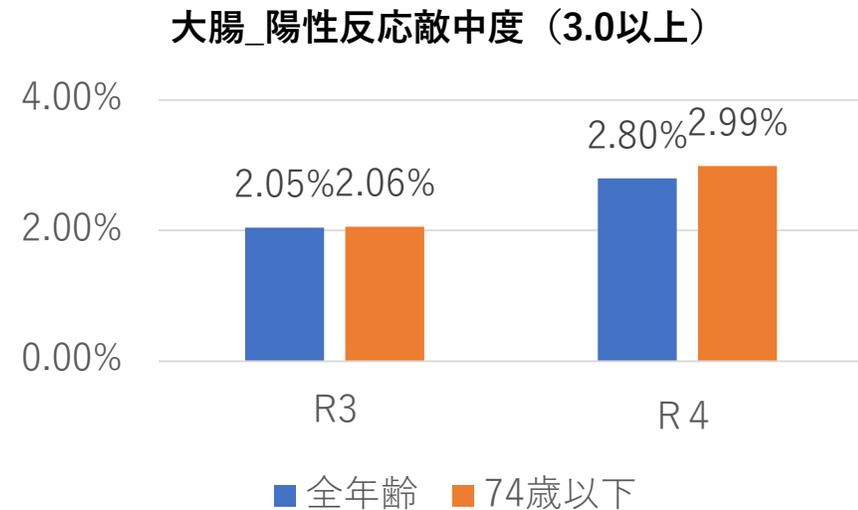
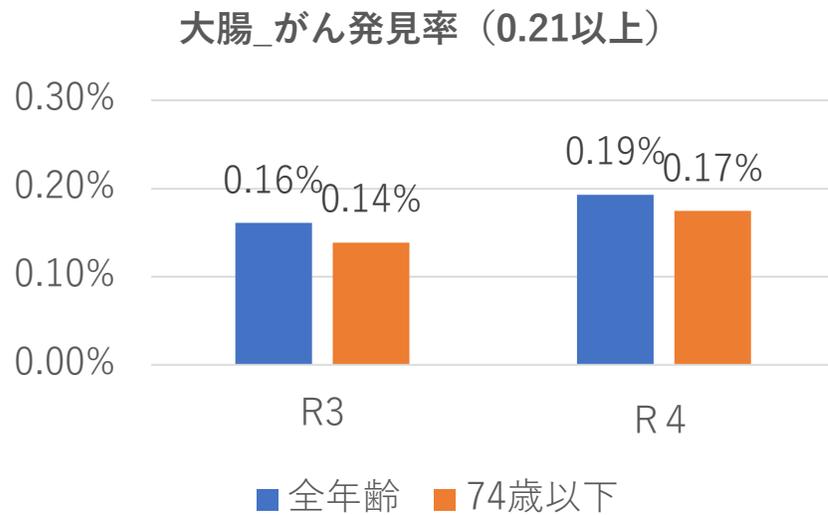
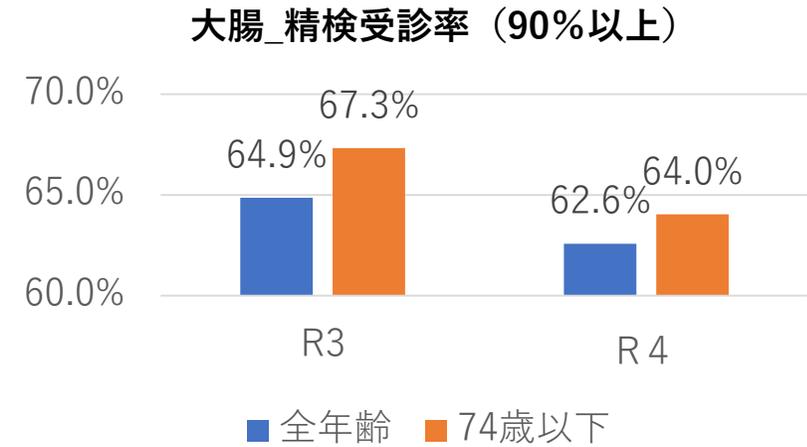
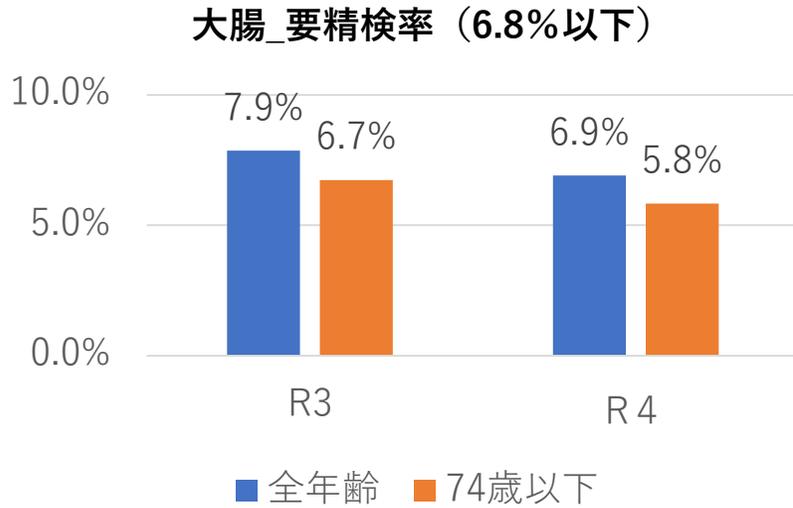


検診機関チェックリスト達成率<項目別>大腸がん検診

大腸がん ※回答検診機関：2施設	項目数	R5年度	R6年度
Q1. 受診者への説明 (検診の有効性、要精検時の受診勧奨、市町村との結果の共有等)	6	100%	100%
Q2. 検査の精度管理 (2日法の説明、カットオフ値等)	3	100%	100%
Q3. 検体の取り扱い (回収・保管方法、保管方法の指導、検診結果の保管等)	7	100%	100%
Q4. システムとしての精度管理 (結果返却時期、プロセス指標の把握、市町村との共有、検討会の参加等)	6	100%	100%

大腸がん検診 検診機関プロセス指標 (A機関)

※ () は、40-74歳基準値

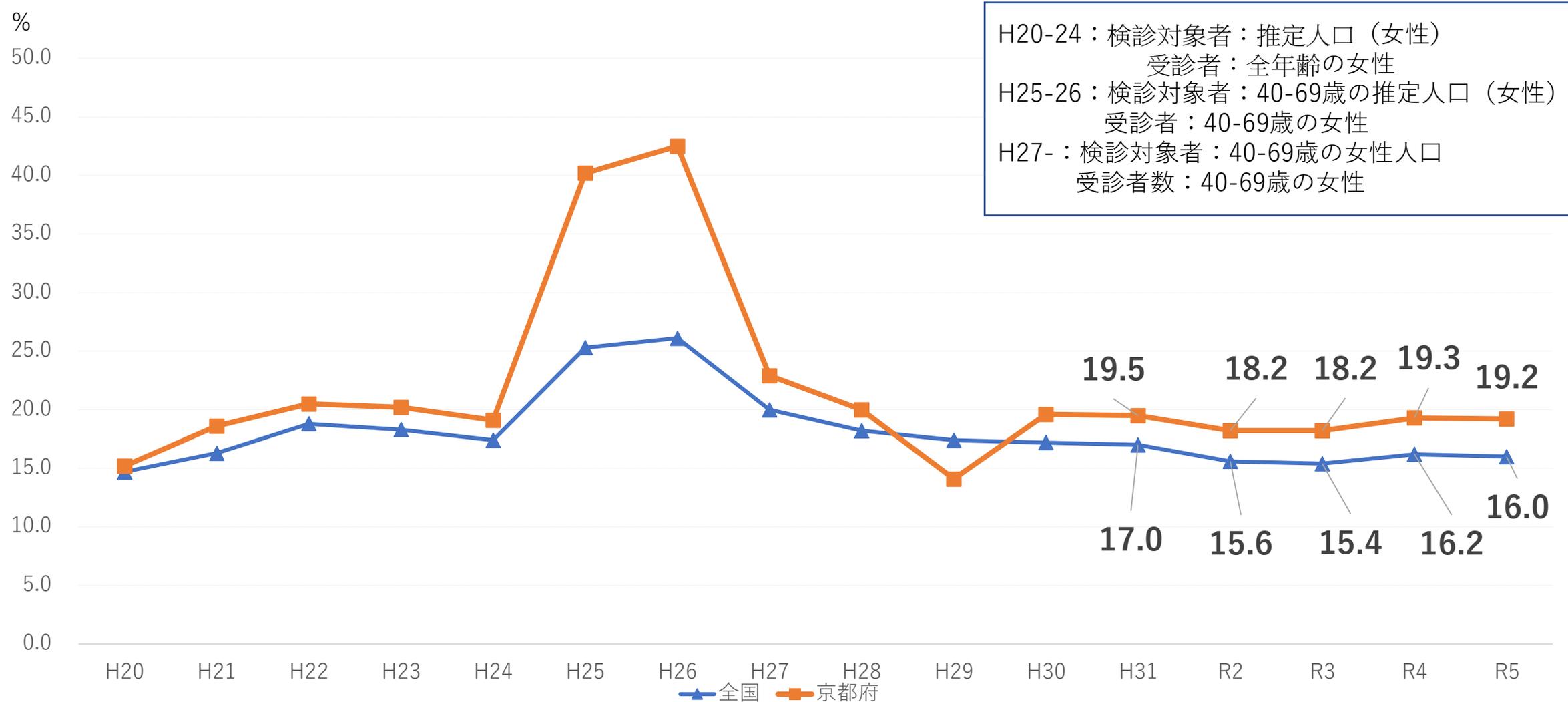




乳がん検診

項目	内容
対象者	40歳以上の女性
検診間隔	2年に1回
検診項目	質問（医師が自ら対面により行う場合は問診）および乳房X線検査（マンモグラフィ）
地域保健・健康増進事業報告（受診率）	40～69歳の女性受診者。検診対象者は、同年代の全人口。
府内の状況（R7年度）	◆集団方式 16市町村 ◆個別方式 23市町村
R4年度 受診者数とがん発見数（40～74歳）	集団方式（受診者数 13,461 人、がん発見数 40 人） 個別方式（受診者数 22,709 人、がん発見数 74 人）

乳がん検診 受診率推移



乳がん検診受診率

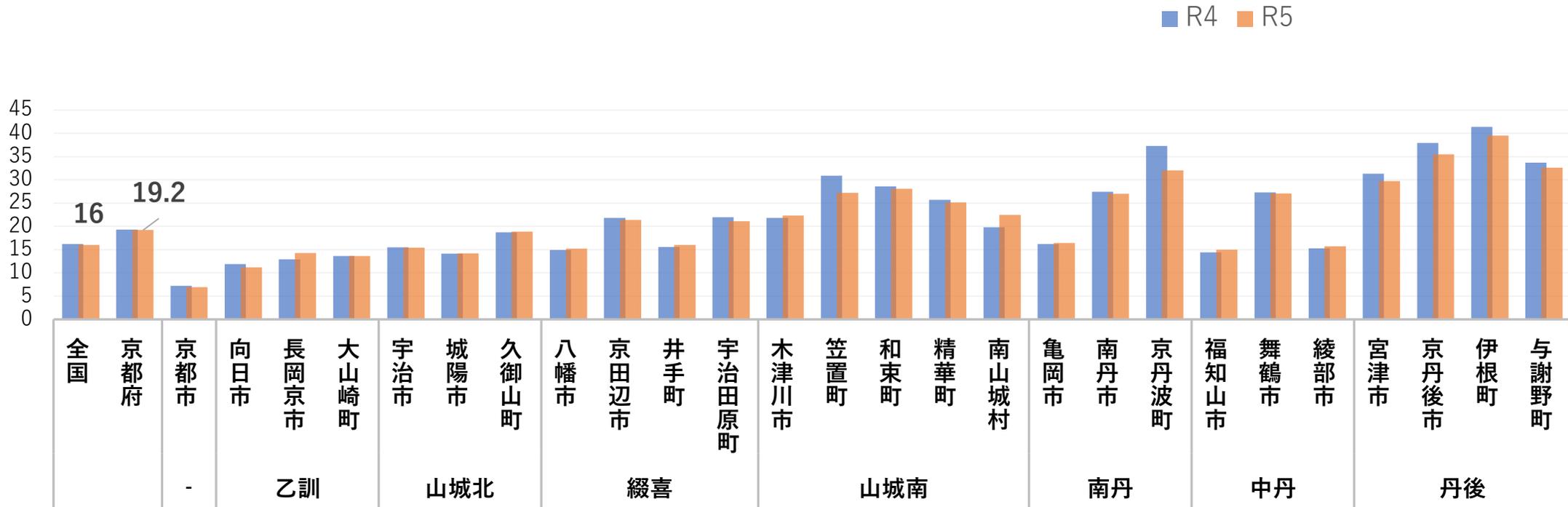
< 参考 >

R4 受診者数 30,873人

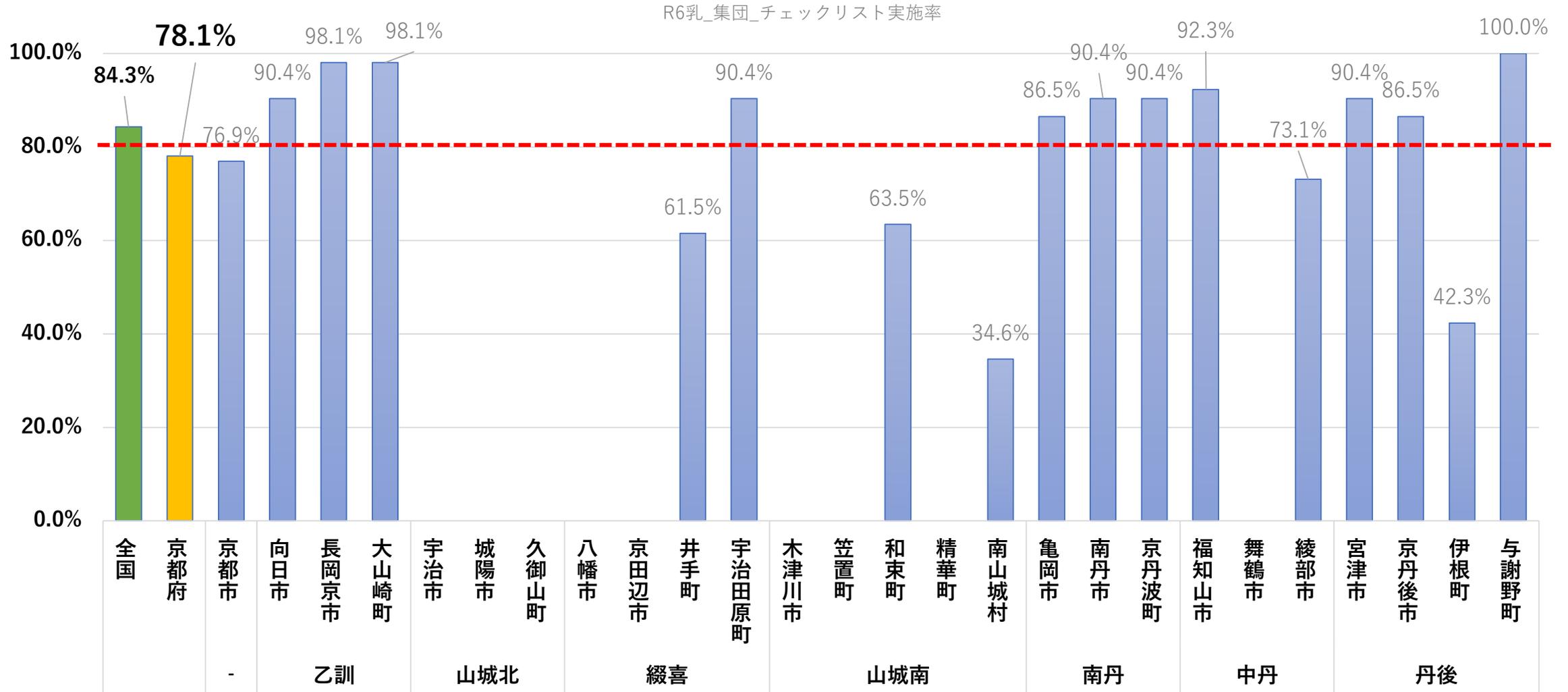
R5 受診者数 31,175人

(受診率は、R4、R5 受診者合計から二年連続受診者を差し引いて算出)

乳がん_受診率 (%)

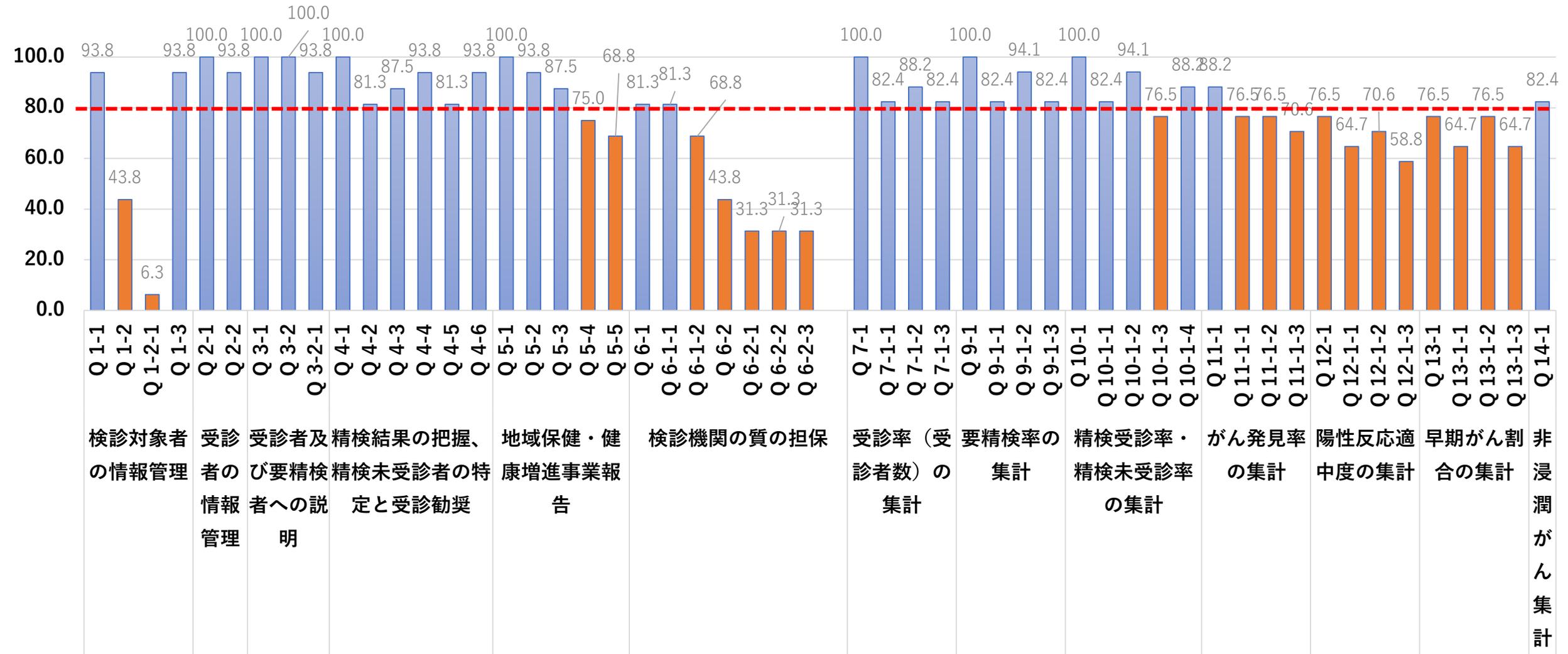


市町村チェックリスト達成率 <市町村別>乳がん（集団）



市町村チェックリスト達成率 <項目別>乳がん (集団)

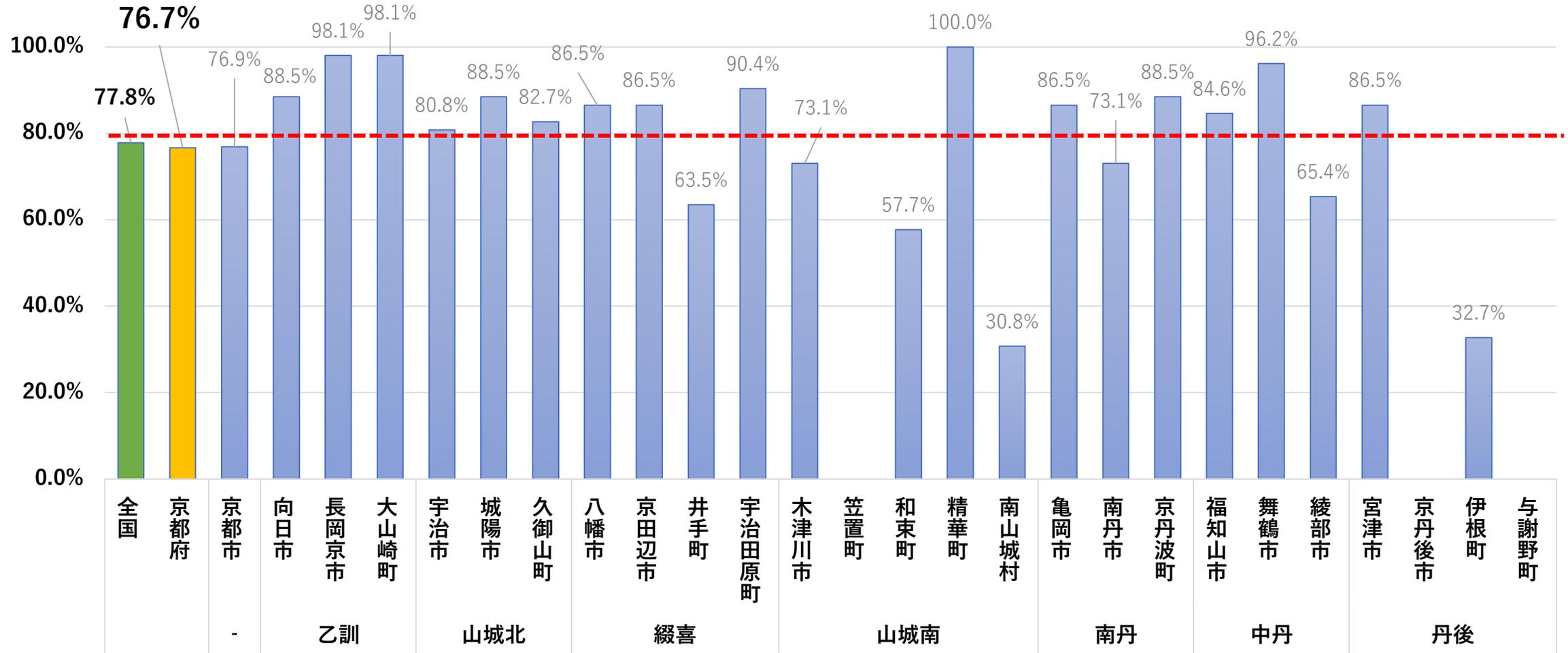
乳がん (集団) R6 : N = 16、R4 N = 17



<出典>市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査

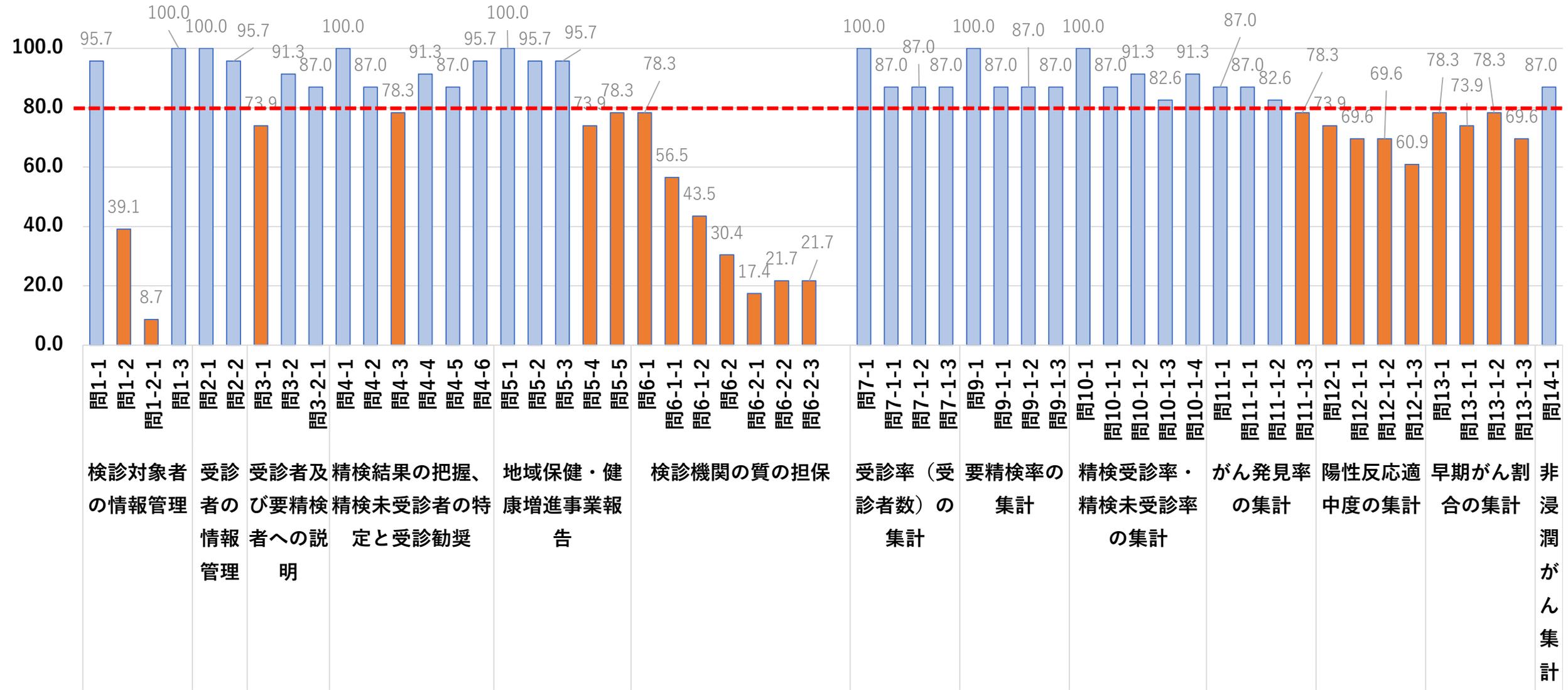
市町村チェックリスト達成率 <市町村別>乳がん（個別）

R6乳_個別_チェックリスト実施率



市町村チェックリスト達成率 <項目別>乳がん（個別）

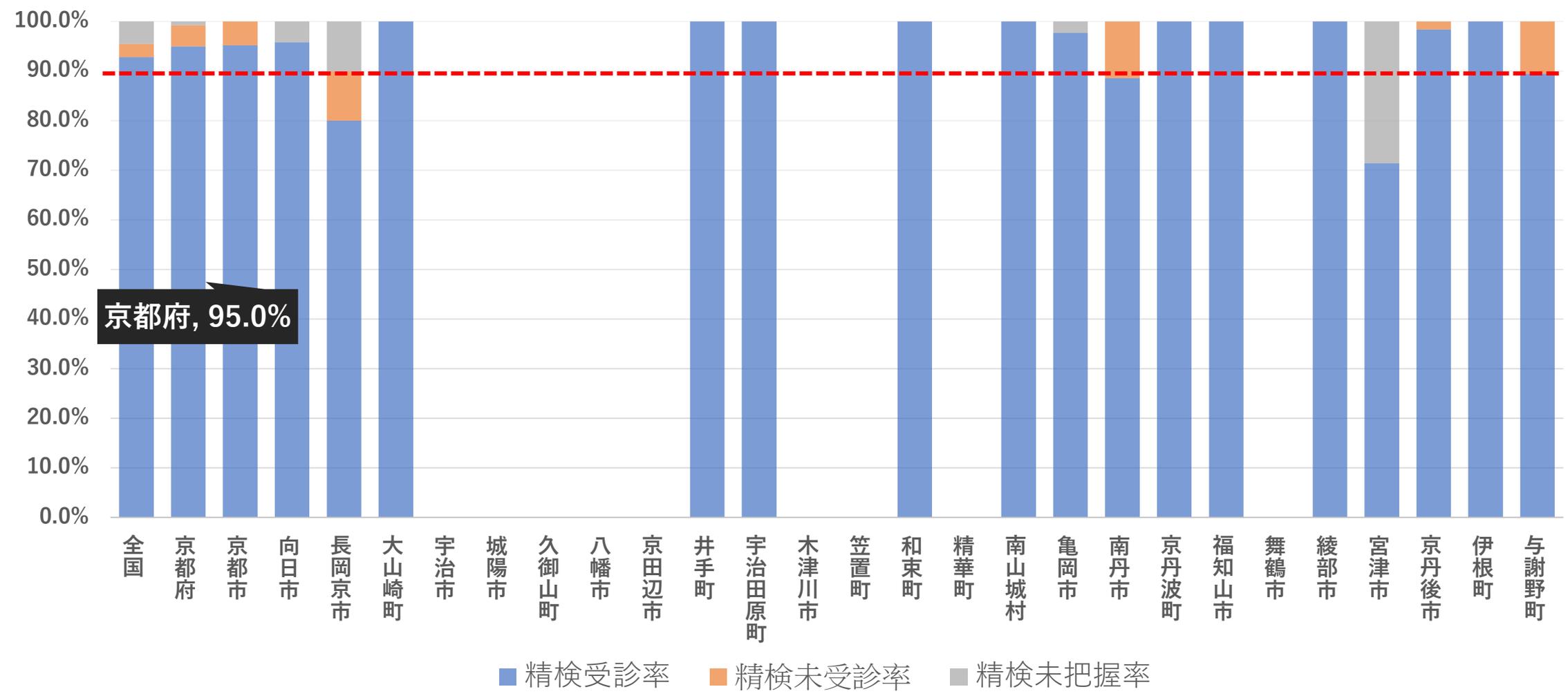
乳（個別） R6：N=23、R4：N=23



<出典>市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査

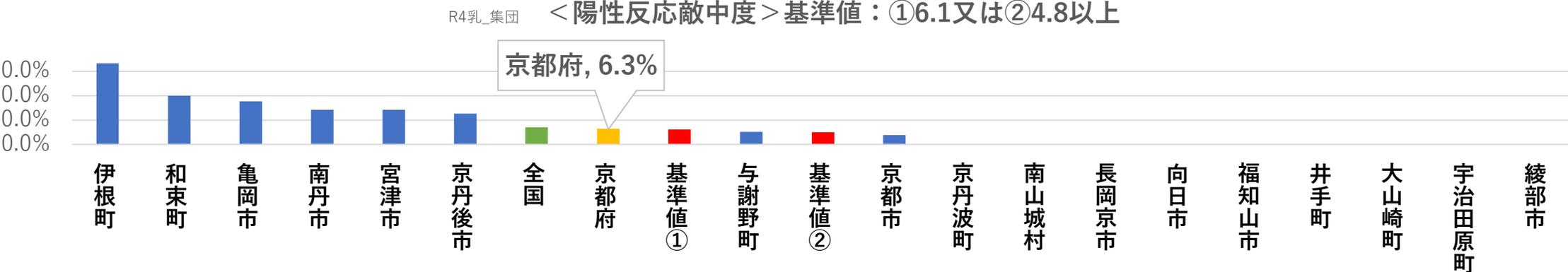
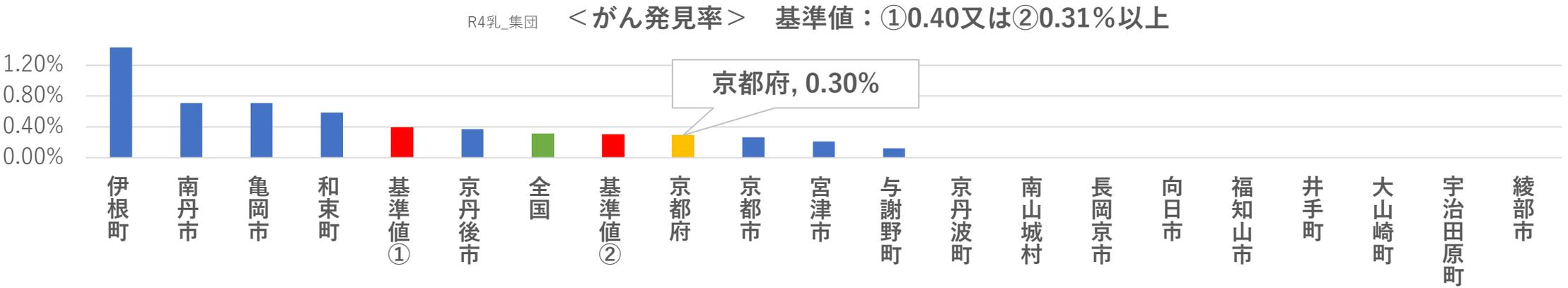
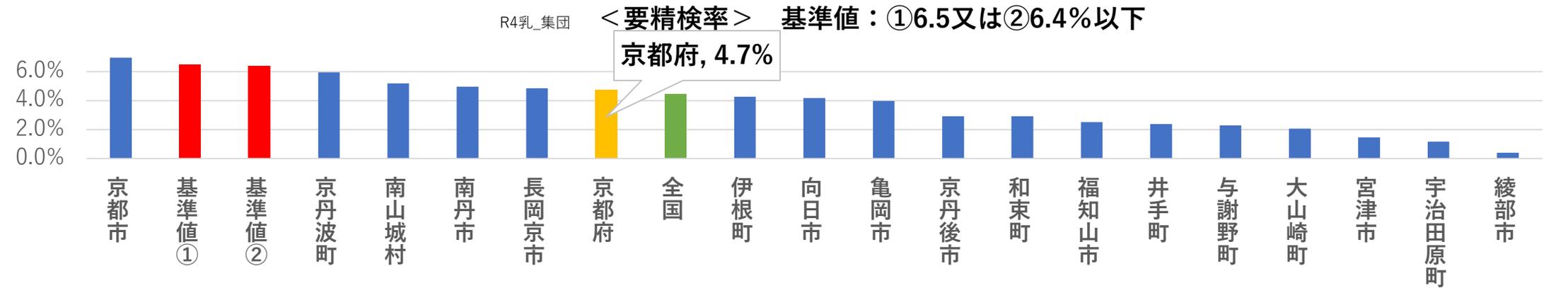
※参考資料2 P6-7

R4乳がん_集団_精検受診率（90%以上）

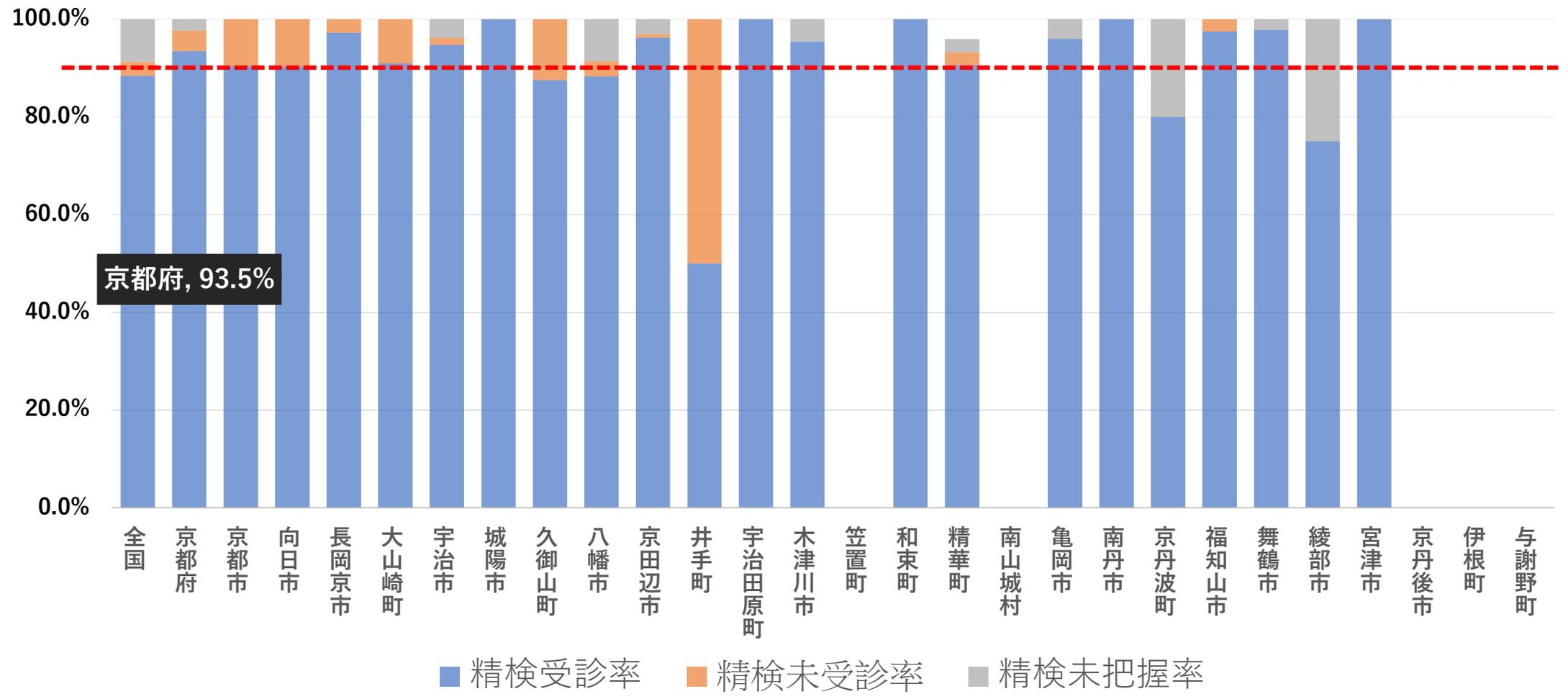


乳がん検診（集団）市町村プロセス指標①

※40～74歳
R4 受診者数 13,461人 がん発見数 40人

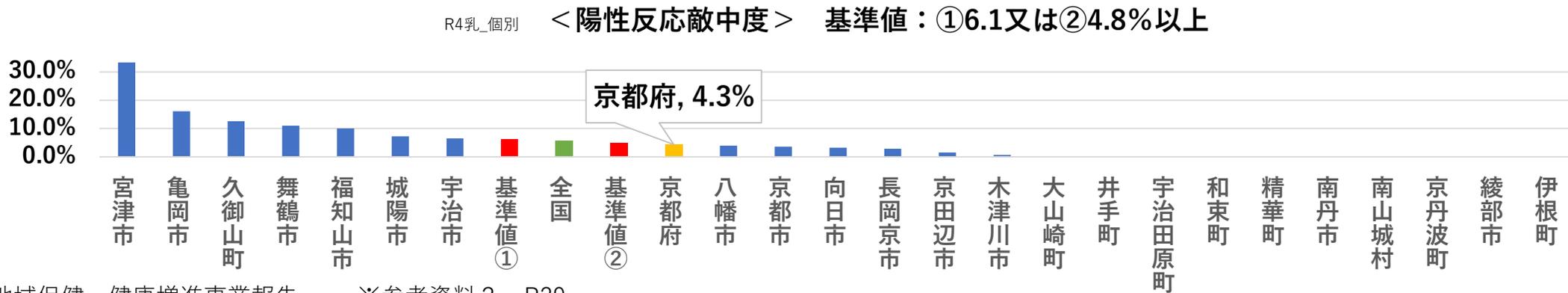
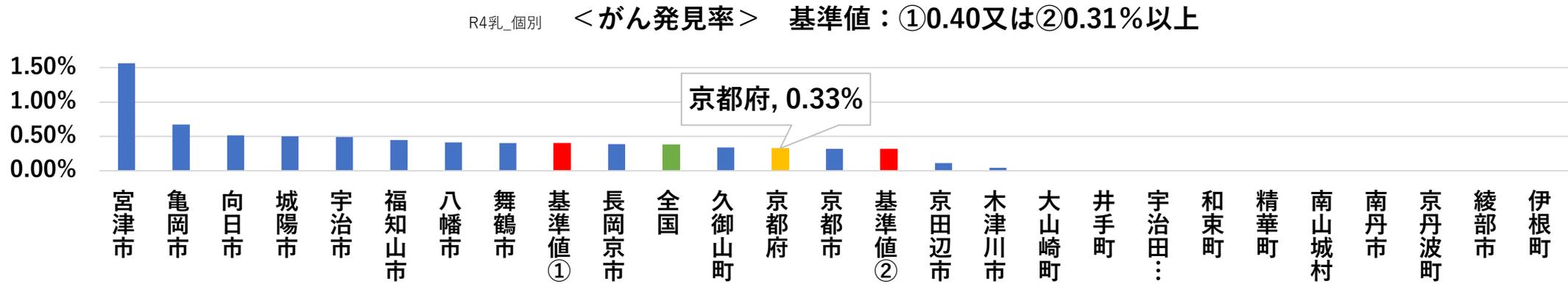
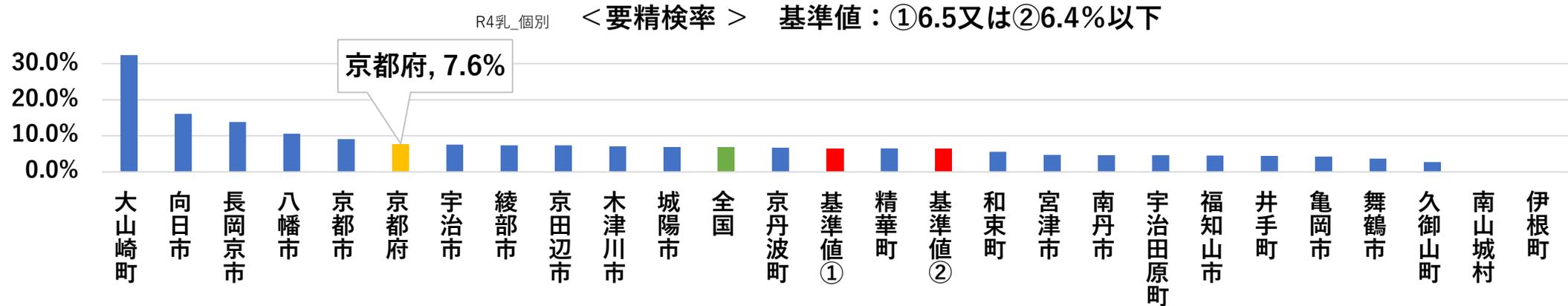


R4乳がん_個別_精検受診率 基準値：90%以上



乳がん検診（個別）市町村プロセス指標②

※40～74歳
R4 受診者数 22,709人 がん発見数 74人

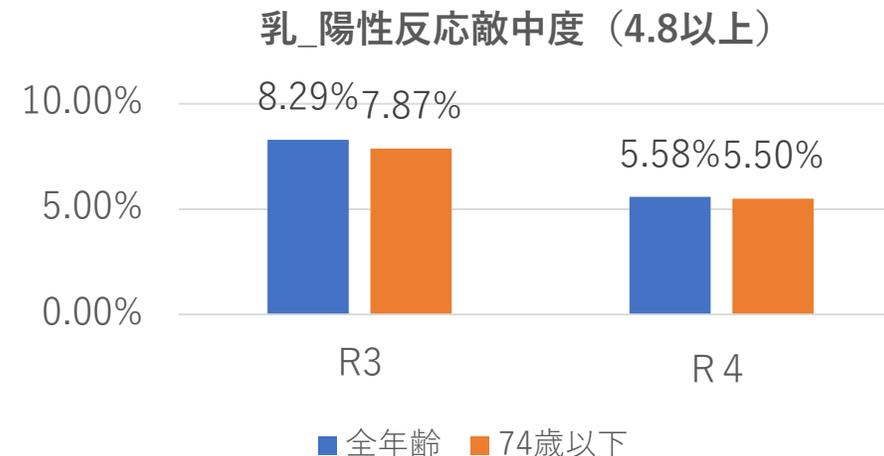
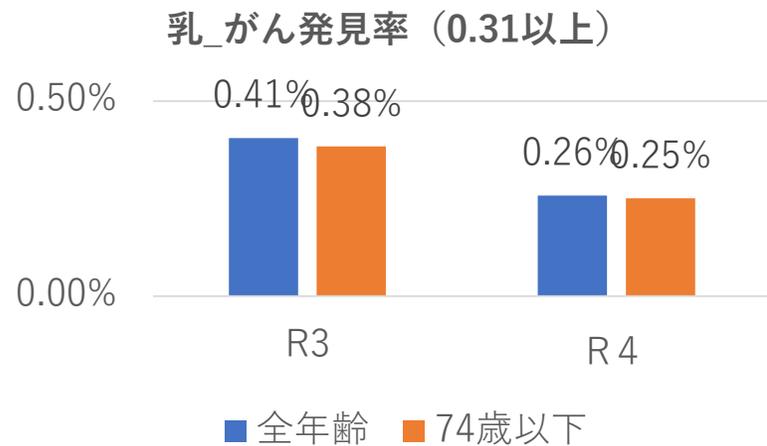
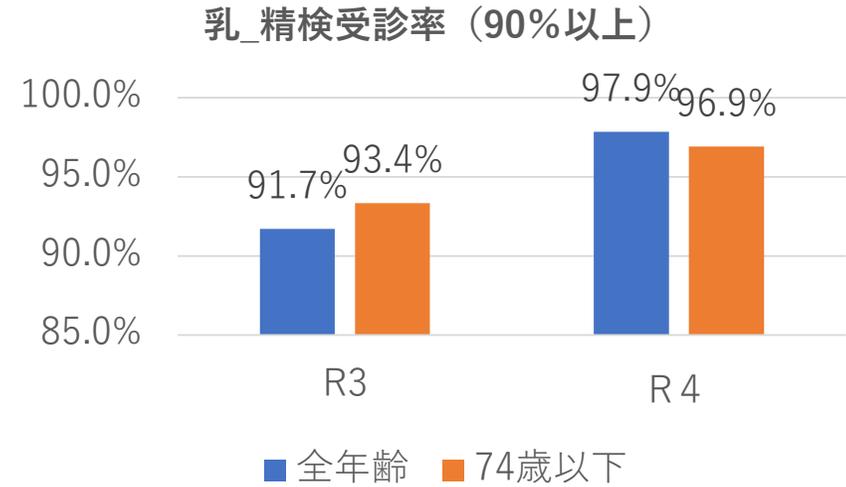
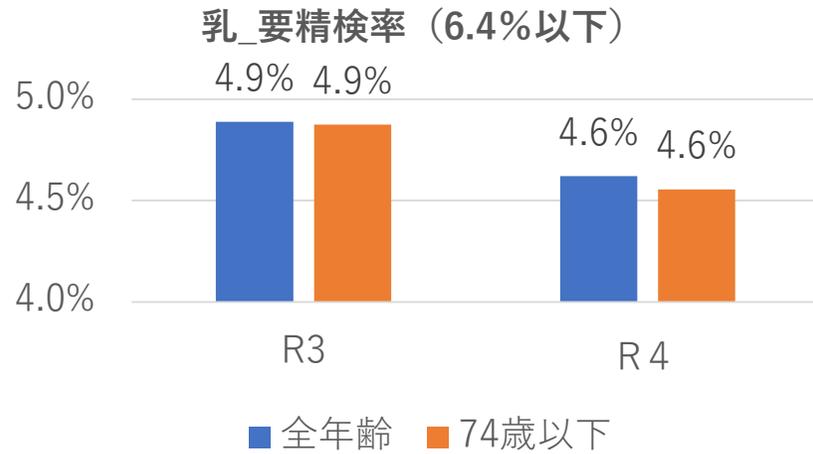


R4 検診機関チェックリスト達成率<項目別>乳がん検診

<乳がん検診> ※回答検診機関：2施設	項目数	R5年度	R6年度
Q1:受診者への説明 (検診の有効性、要精検時の受診勧奨、市町村との結果の共有等)	6	100%	100%
Q2：問診及び撮影の精度管理 (問診内容、撮影機器、撮影医師の資格、画像評価、 <u>診療放射線技師への研修</u>)	12	95.8%	95.8%
Q3：乳房エックス線読影の精度管理 (読影医師の担保、 <u>比較読影</u> 、画像の保管等)	4	87.5%	87.5%
Q4：システムとしての精度管理 (結果返却時期、プロセス指標の把握、市町村との共有、検討会の参加等)	7	100%	100%

乳がん検診 検診機関プロセス指標（A機関）

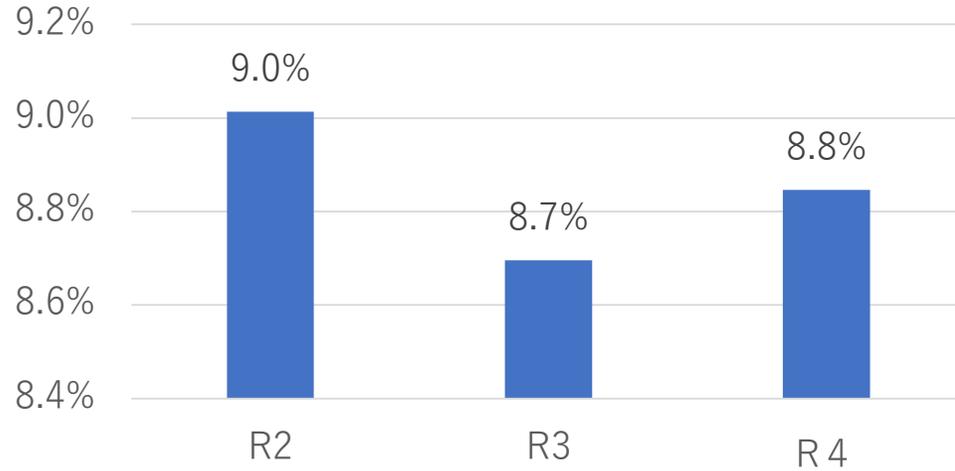
※（ ）は、40-74歳基準値（連続受診者がいることを考慮）



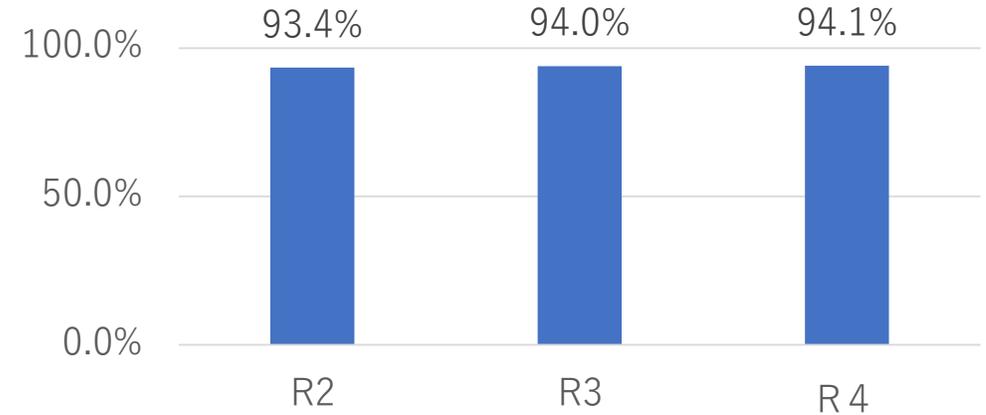
乳がん検診 検診機関プロセス指標（D機関、全年齢）

※（参考： ）は、40-74歳基準値（連続受診者がいることを考慮）

乳がん_要精検率（参考：6.4以下）



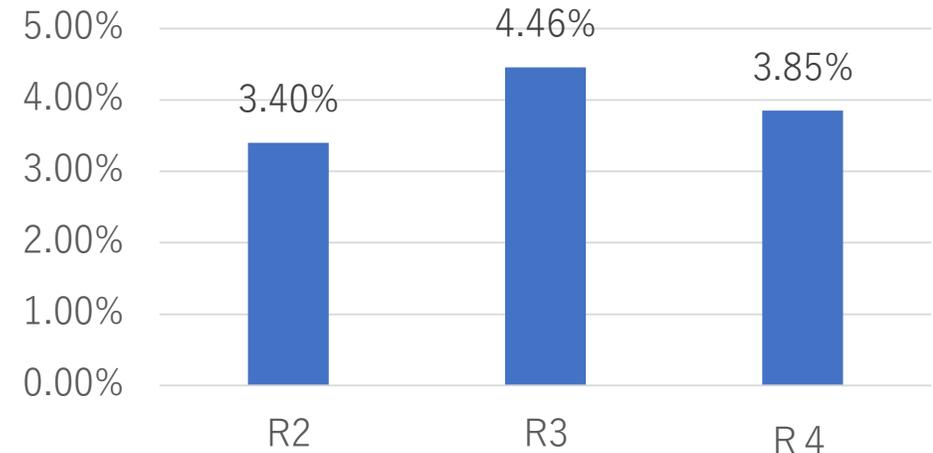
乳がん_精検受診率（参考：90%以上）



乳がん_がん発見率（参考：0.31以上）



乳がん_陽性反応敵中度（参考：4.8以上）

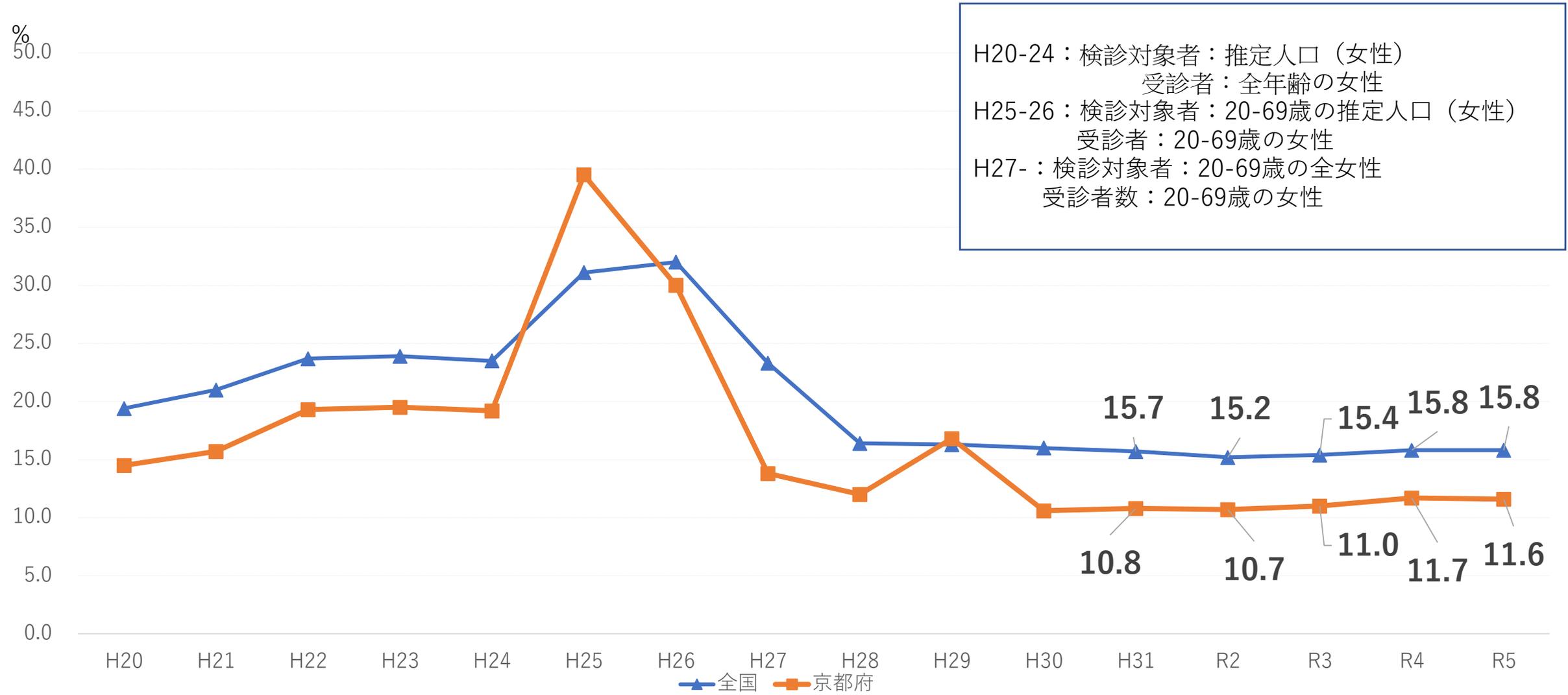




子宮頸がん検診

項目	内容
対象者	20歳以上
検診間隔	2年に1回
検診項目	問診、視診、子宮頸部の細胞診および内診
地域保健・健康増進事業報告（受診率）	20～69歳の女性受診者。検診対象者は、同年代の全人口。
府内の状況 （R7年度）	◆集団方式 13市町村 ◆個別方式 25市町村
R4年度 受診者数とがん発見数（20～74歳）	集団方式（受診者数: 10,657人 、がん: 1人 、AIS: 0人 、CNI3: 13人) 個別方式（受診者数: 58,409人 、がん: 5人 、AIS: 3人 、CNI3: 56人)

子宮頸がん検診 受診率推移



子宮頸がん検診受診率

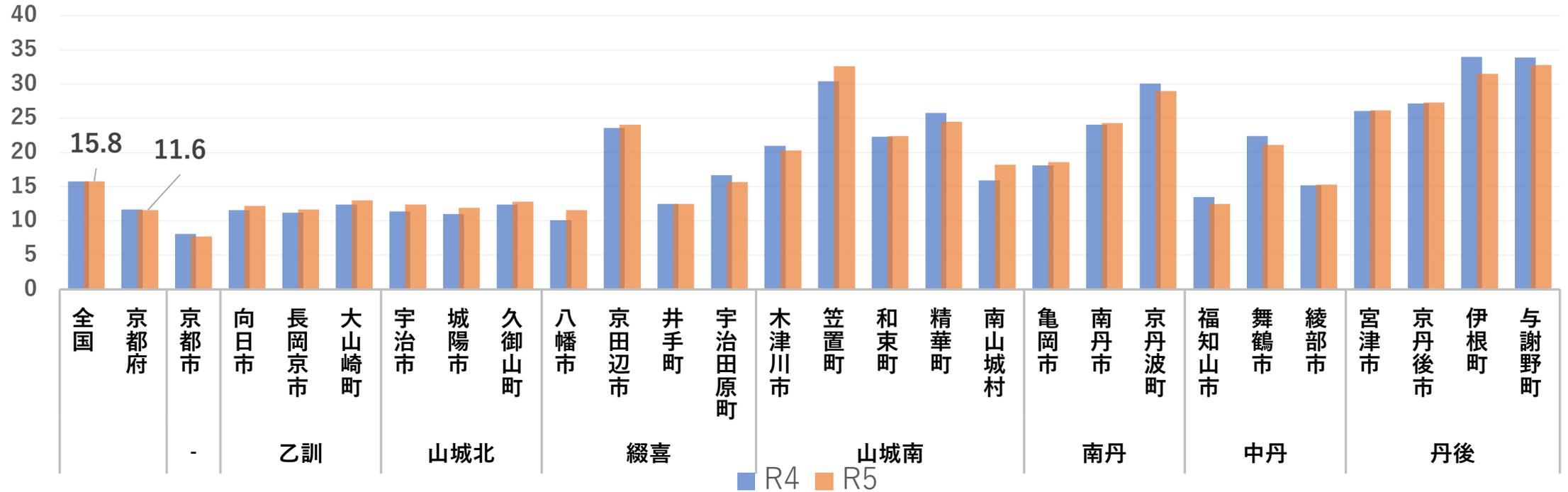
<参考>

R4 受診者数 46,055人

R5 受診者数 47,310人

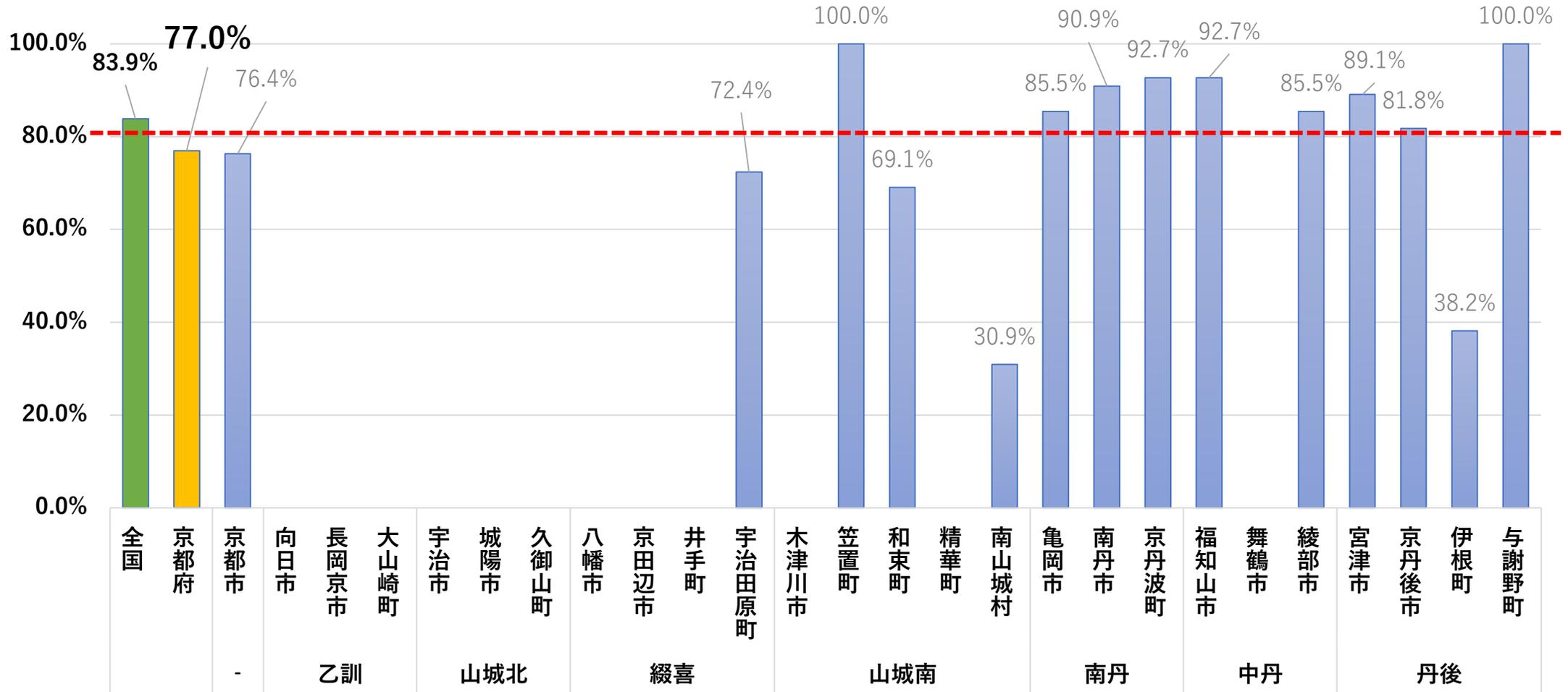
(受診率は、R4、R5 受診者合計から二年連続受診者を差し引いて算出)

子宮頸がん_受診率 (%)



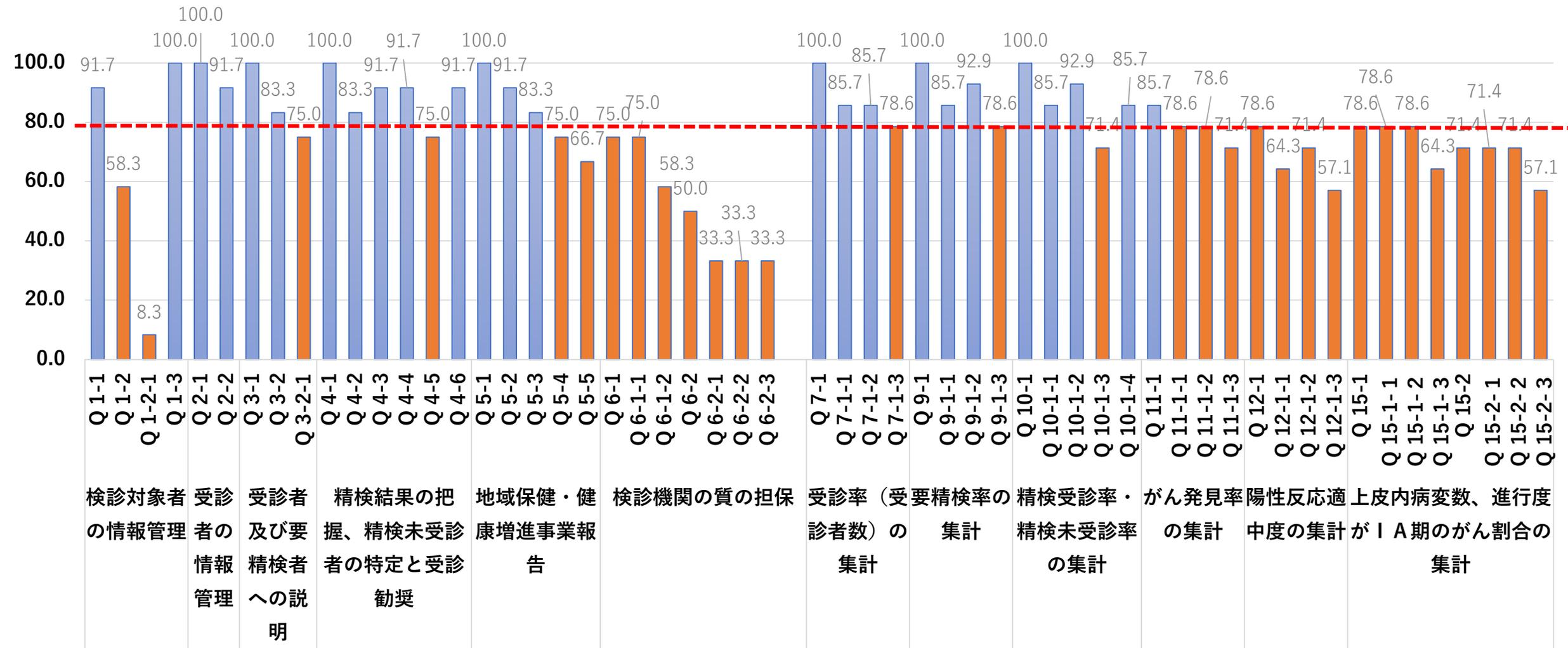
市町村チェックリスト達成率 <市町村別>子宮頸がん（集団）

R6子宮_集団_チェックリスト実施率



市町村チェックリスト達成率 <項目別>子宮頸がん（集団）

子宮（集団） R6：N=12、R4：N=14

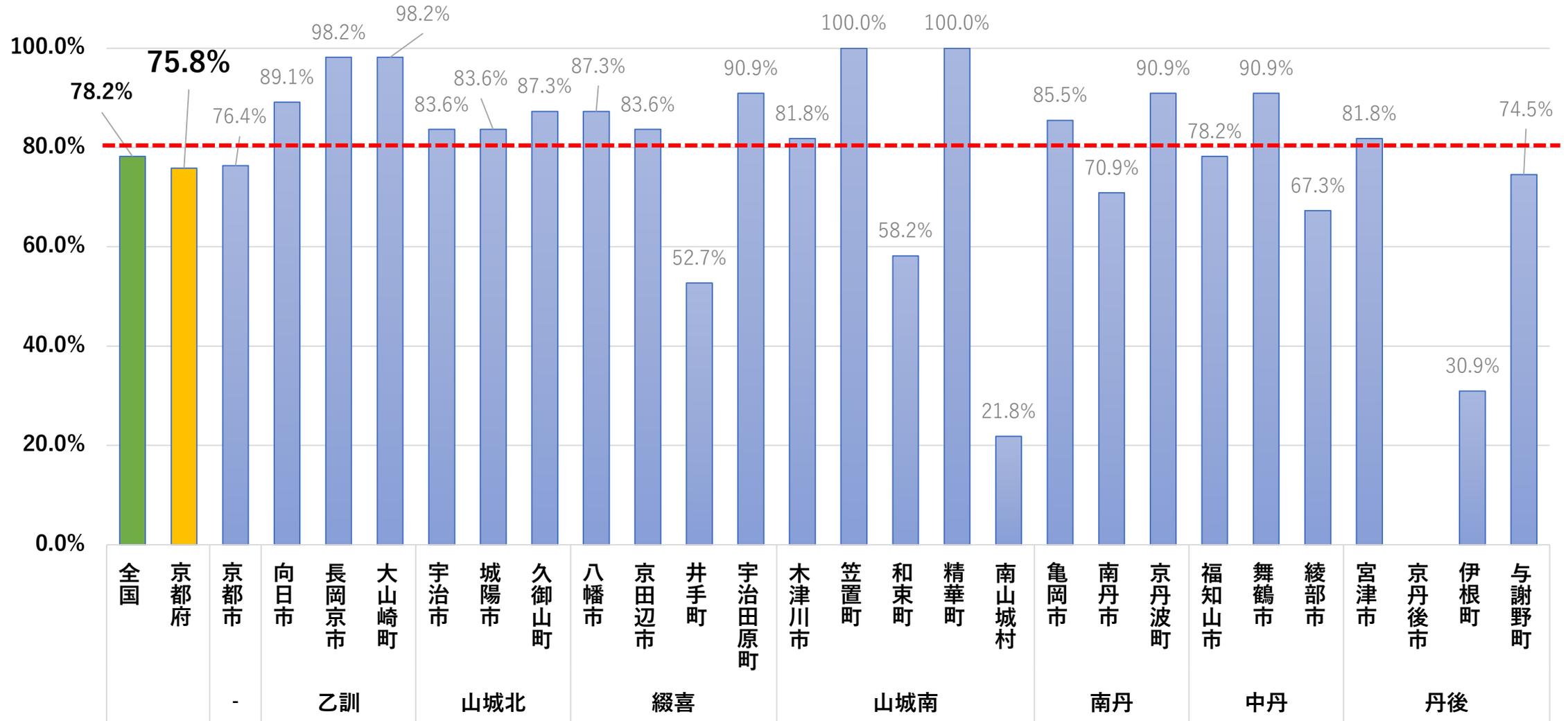


<出典>市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査

※参考資料2 P4-5

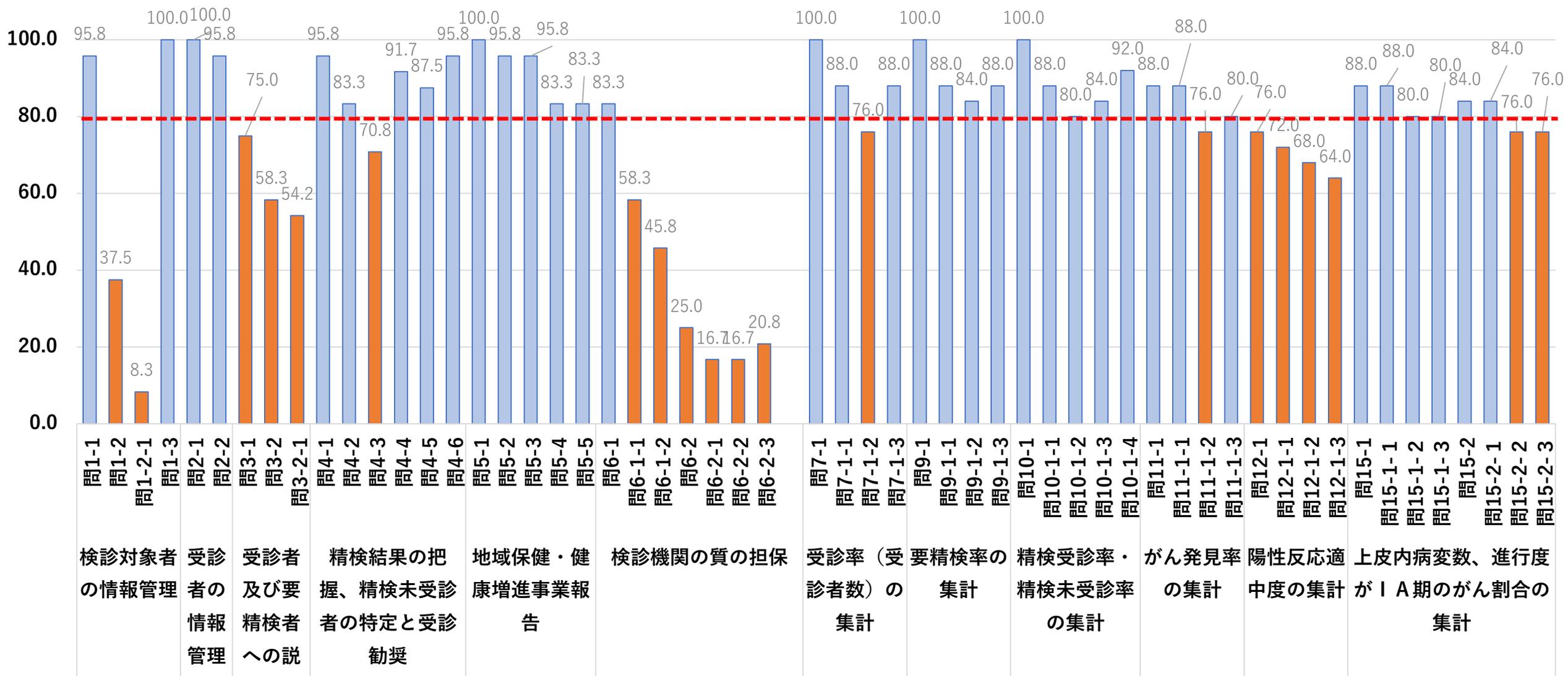
市町村チェックリスト達成率 <市町村別>子宮頸がん（個別）

R6子宮_個別_チェックリスト実施率



市町村チェックリスト達成率 <項目別>子宮頸がん（個別）

子宮（個別） R6：N=24、R4：N=25

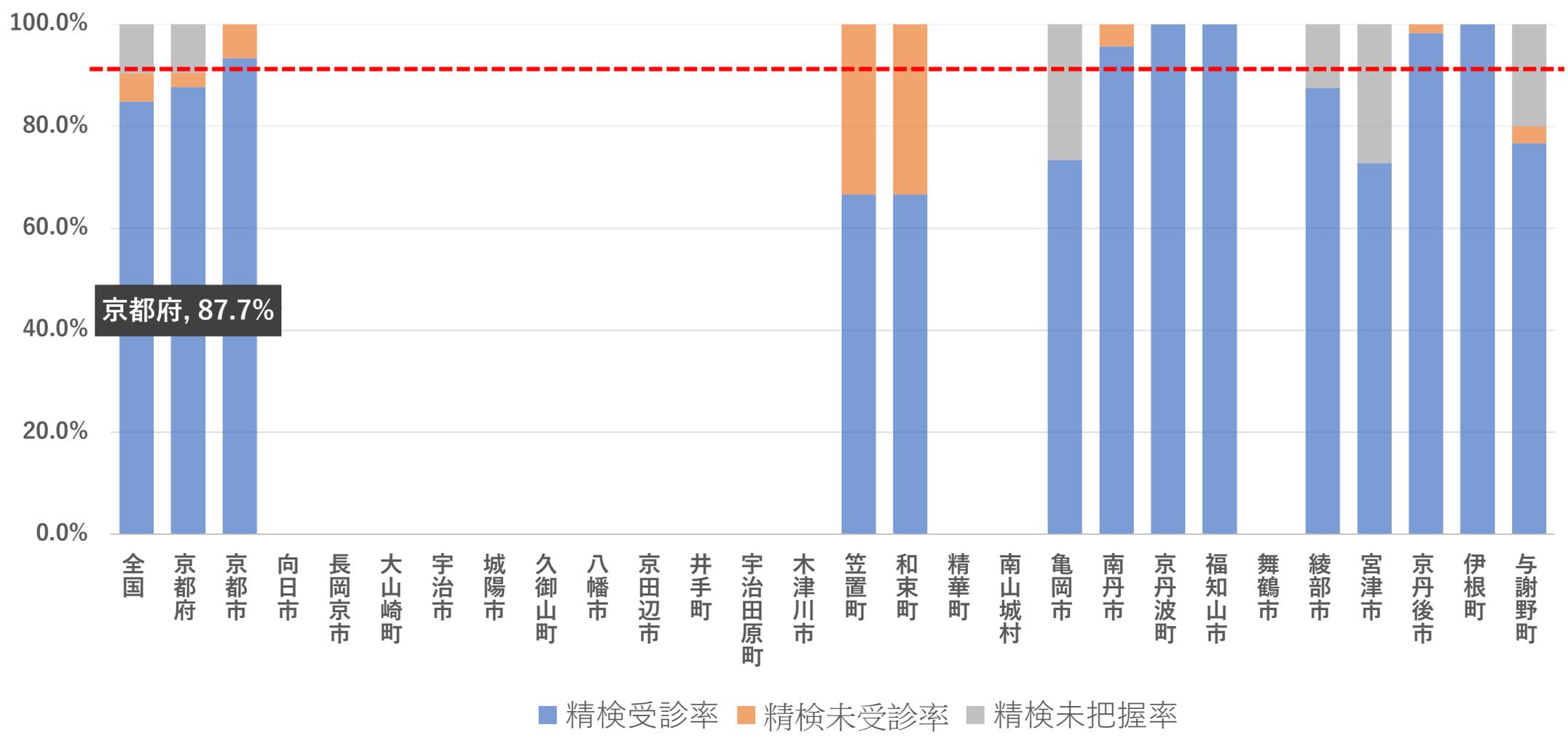


<出典>市区町村におけるがん検診チェックリストの使用に関する実態調査

※参考資料2 P6-7

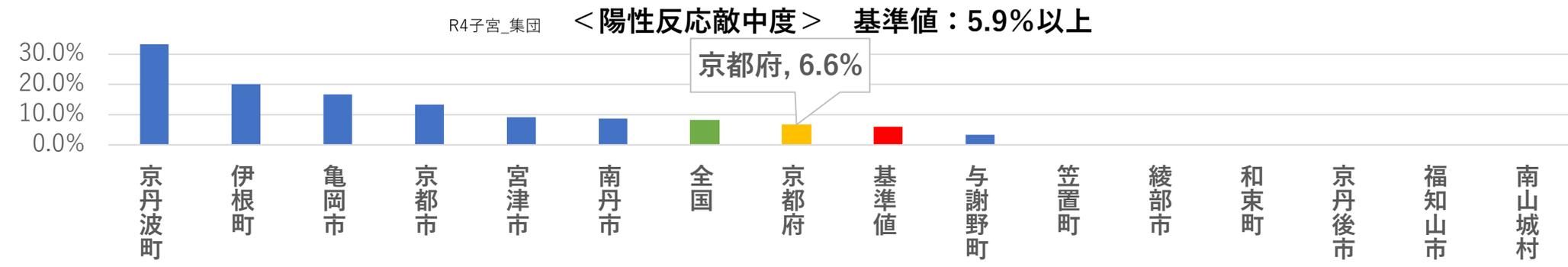
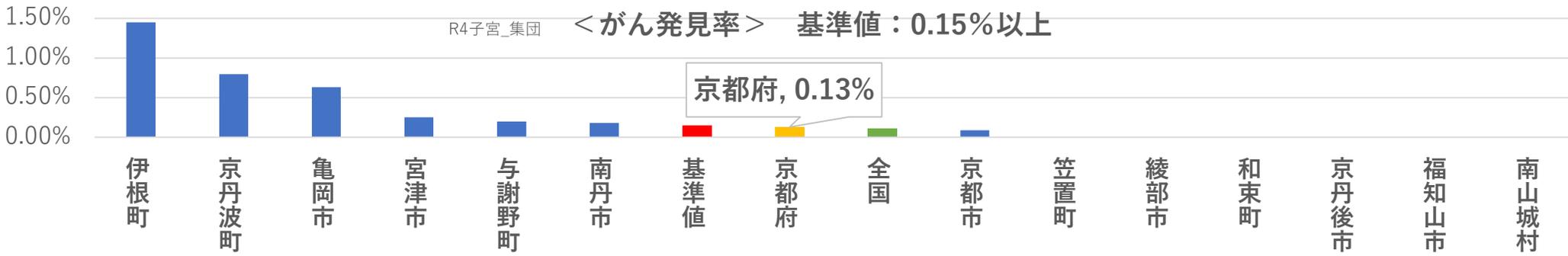
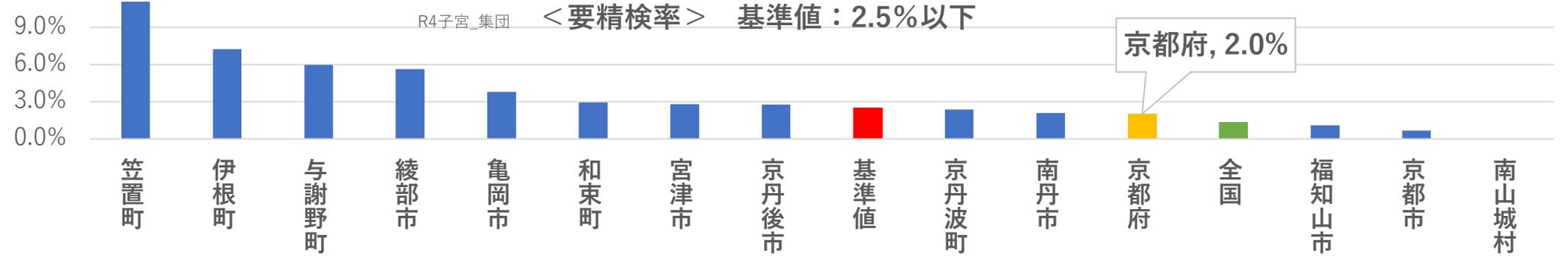
※20～74歳
 R4 受診者数 10,657人
がん: 1人 AIS: 0人 CIN3: 13人

R4子宮_集団_精検受診率（基準値：90%以上）



子宮頸がん検診（集団）市町村プロセス指標②

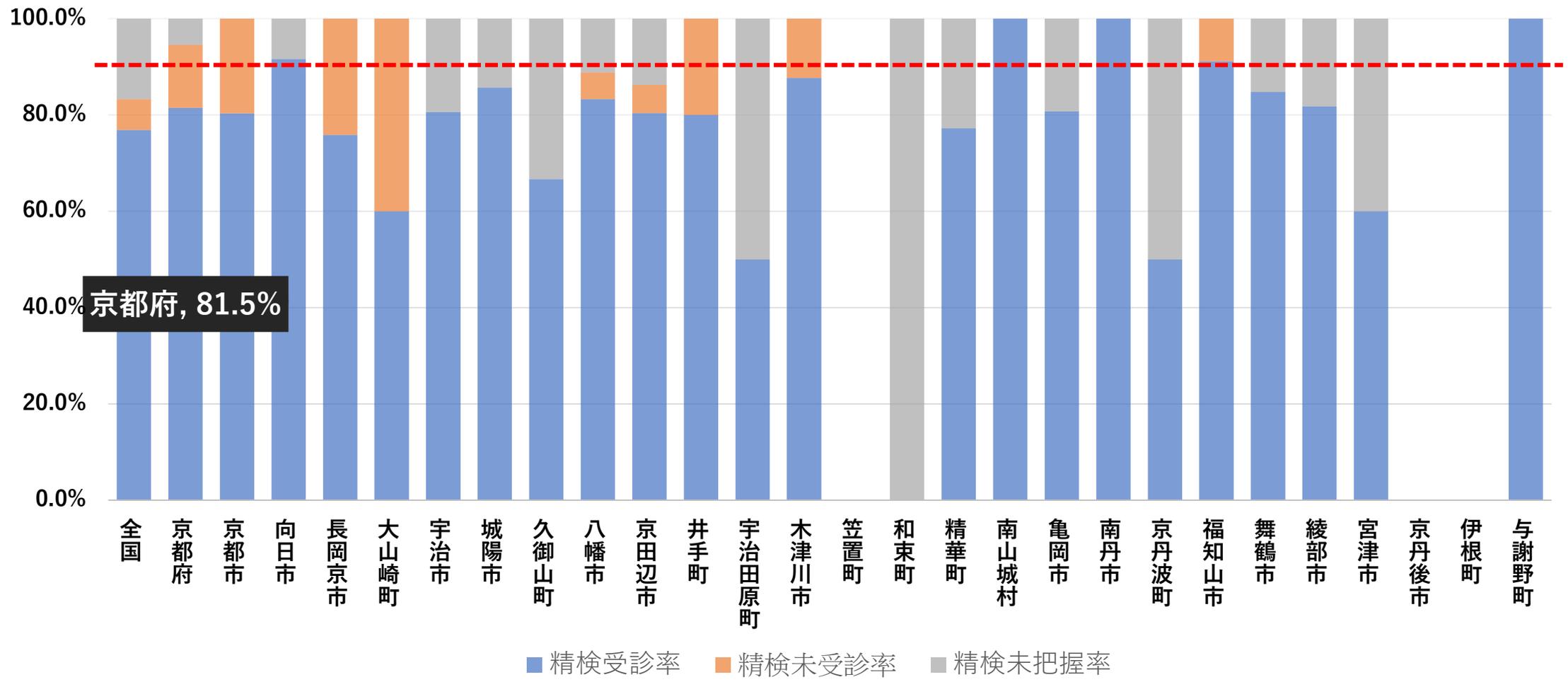
※20～74歳
 R4 受診者数 10,657人
がん: 1人 AIS: 0人 CIN3: 13人



子宮頸がん検診（個別）市町村プロセス指標①

※20～74歳
 R4 受診者数 58,409人
がん: 5人 AIS: 3人 CIN3: 56人

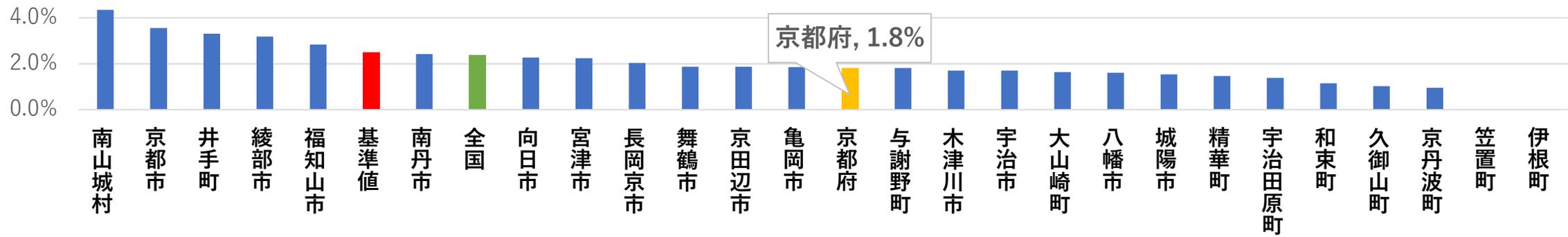
R4子宮_個別_要精受診率（基準値：90%以上）



子宮頸がん検診（個別）市町村プロセス指標②

※20～74歳
 R4 受診者数 58,409人
がん: 5人 AIS: 3人 CIN3: 56人

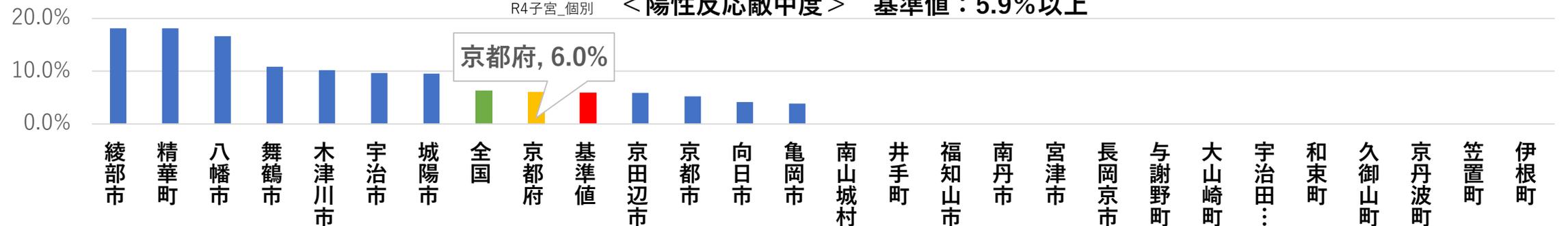
R4子宮_個別 <要精検率> 基準値：2.5%以下



R4子宮_個別 <がん発見率> 基準値：0.15%以上



R4子宮_個別 <陽性反応敵中度> 基準値：5.9%以上



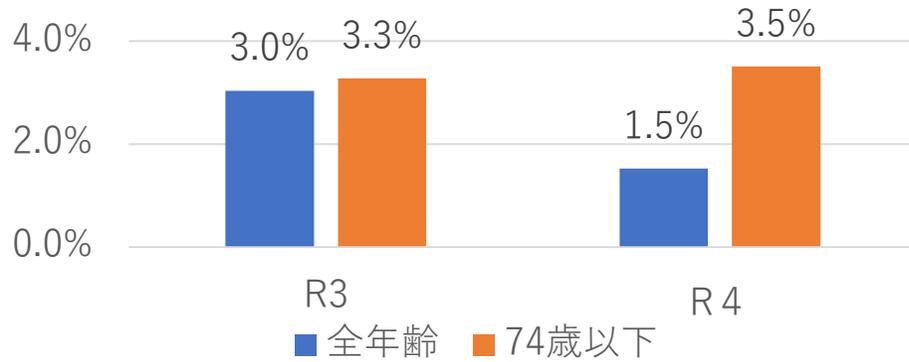
検診機関チェックリスト達成率<項目別>子宮頸がん検診

<子宮頸がん（細胞診）> ※回答検診機関：2施設	項目数	R5年度	R6年度
Q1:受診者への説明 （検診の有効性、要精検時の受診勧奨、市町村との結果の共有等）	7	100%	100%
Q2：検診機関の精度管理 （問診内容、細胞診の方法、委託先機関名の掲載、 <u>検体不適正への対応</u> 、記録の保管、視診に関する項目等）	11	86.4%	86.4%
Q3:細胞診判定施設での精度管理 （施設認定の有無、判定結果、 <u>標本の保管</u> 、がん発見例の過去の細胞診所見の見直し、等）	5	90.0%	90.0%
Q4：システムとしての精度管理（6項目） （結果返却時期、 <u>プロセス指標の把握</u> 、市町村との共有、検討会の参加 等）	7	78.6%	85.7%

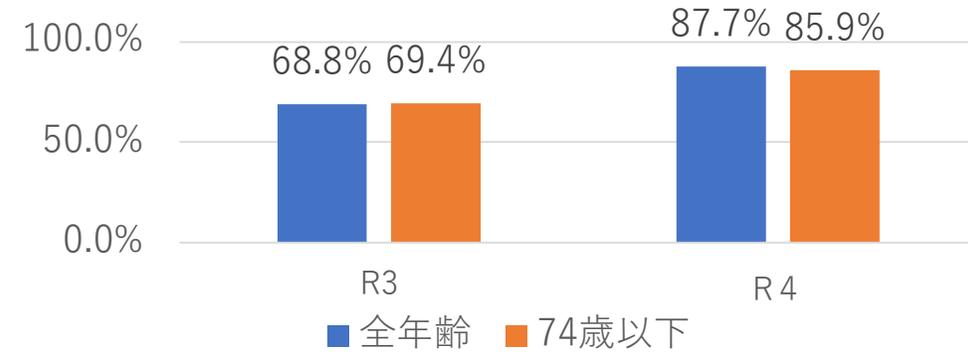
子宮頸がん検診 検診機関プロセス指標（A機関） ※CNI 3以上

※（ ）は、20-74歳基準値

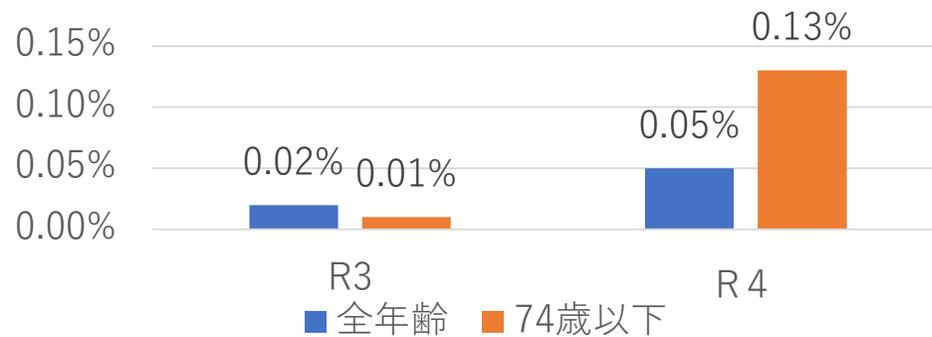
子宮_要精検率（2.5以下）



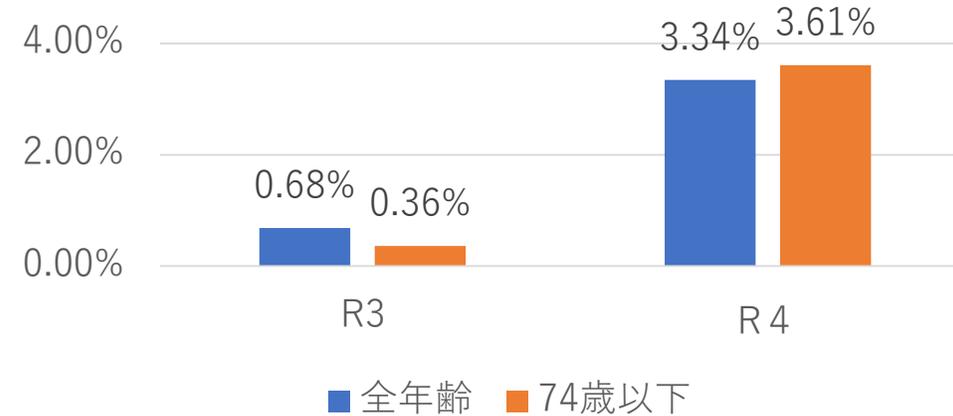
子宮_要精検受診率（90%以上）



子宮_がん発見率（0.15以上）

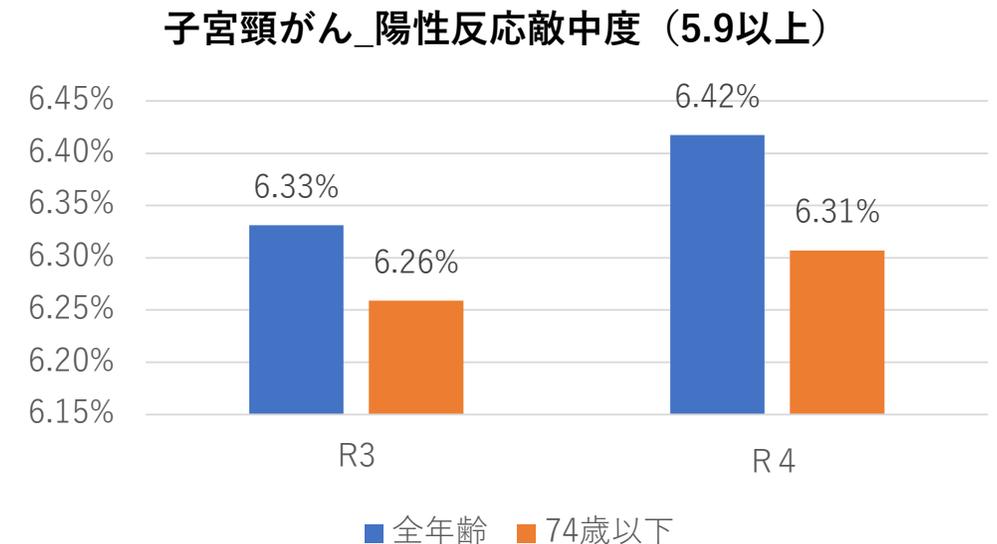
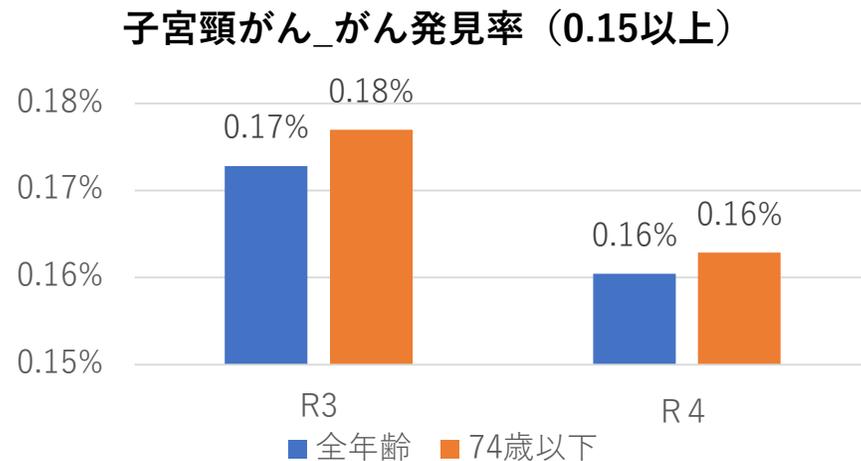
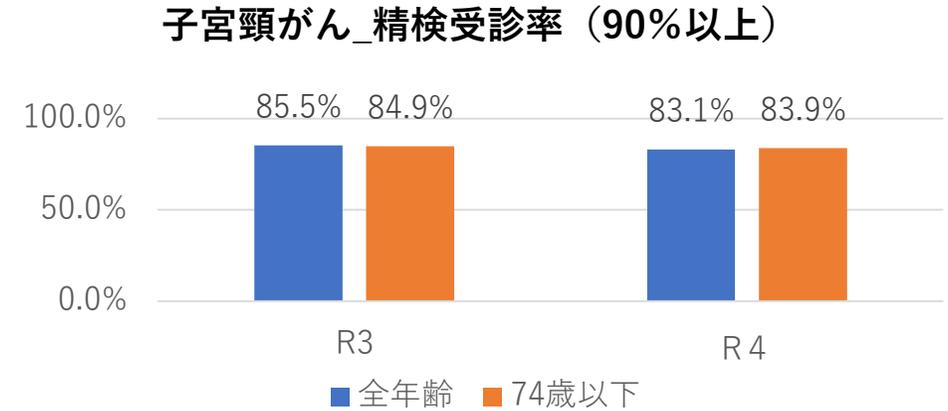
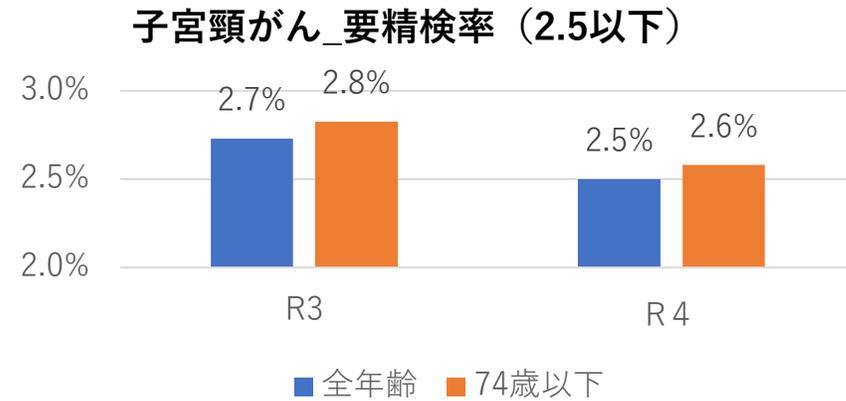


子宮_陽性反応敵中度（5.9以上）



子宮頸がん検診 検診機関プロセス指標 (D機関) ※CIN 3 以上

※ () は、20-74歳基準値



R5 都道府県チェックリストについて

R5	胃 (X線)		胃 (内視鏡)		大腸		肺		乳		子宮	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
全国	65.5	62.9	67.1	61.9	67.7	61.7	66.1	61.4	67.8	62.2	67.0	61.5
京都府	39.4%	31.0%	-	32.4%	37.7%	29.0%	38.6%	-	39.4%	31.0%	40.0%	30.7%

<未達成項目>

「7. 追跡調査」

(発見がんの病期、進行度・組織型、治療法の把握、がん登録を活用した、感度・特異度の算出等)

「9. 評価の改善策とフィードバック」

(全市町村、検診機関への評価や改善策の個別フィードバック、改善策の実施状況の把握等)

No.	評価と改善策のフィードバック (指摘・助言)	肺がん (CT検査)		胃がん (内視鏡)		大腸がん		乳がん		子宮がん	
		集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
(1)	本市町村に検診実施状況を個別にフィードバックしましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-1)	市区町村別チェックリスト (令和5年度検診計画) の評価を個別にフィードバックしましたが、必ずすべての市区町村が対象	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-2)	市区町村別のプロセス改善 (令和5年度検診計画) の評価を個別にフィードバックしましたが、必ずすべての市区町村が対象	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(1-3)	検診実施に課題のある市区町村に改善策をフィードバックしましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2)	本市町村に検診実施状況を個別にフィードバックしましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2-1)	検診実施率チェックリスト (令和5年度検診計画) の評価を個別にフィードバックしましたが、必ずすべての検診機関・医療機関 (診療科やクリニック等も含む) が対象	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2-2)	検診実施率の把握状況 (令和5年度検診計画) の評価を個別にフィードバックしましたが、必ずすべての検診機関・医療機関 (診療科やクリニック等も含む) が対象	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(2-3)	検診実施に課題のある検診機関に改善策をフィードバックしましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
等 (1) 対応	フィードバックの手法や内容についてがん検査に限り、具体的な助言を行いましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
(4)	改善策までフィードバックした改善策の実行状況について、市区町村・検診機関への聞き取り調査により確認しましたか	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

都道府県チェックリスト<評価と改善策のフィードバック>

「9. 評価の改善策とフィードバック」の遵守率改善に向け、市町村精度管理評価のフィードバックについて、以下の取組を検討する。

<評価指標> 【第3期京都府がん対策推進計画（R6～R11）】

「がん検診事業評価のためのチェックリスト80%以上遵守している市町村数」

目標値：令和11（2029）年度 26市町村

現状値（計画策定時）：令和3（2021）年度 12市町村

<市町村チェックリスト遵守状況及びプロセス指標値のフィードバック>

- ・チェックリスト遵守率：80%以上を「目標レベル達成」とし、各市町村へのフィードバックを実施
- ・フィードバック項目：チェックリスト遵守率、受診率、要精検率、精検受診率、精検未受診率、精検未把握率、がん発見率、陽性反応敵中度
- ・目標レベル未達成の市町村は、未達成項目の見直し、改善に向けた検討を行う。
- ・必要に応じて、追跡調査を実施し、市町村、医師会、検診機関、精検医療機関と連携して改善に取り組む。

市町村チェックリスト<全体の傾向>

○集団検診 がん検診別チェックリスト達成率（遵守率） ※○のみ（△は除く）

		胃（X線）		大腸		肺		乳		子宮	
全国	R6	84.3%	-	83.8%	-	84.0%	-	84.3%	-	83.9%	
京都府	R6	80.9%	36位	80.9%	35位	80.4%	37位	78.1%	39位	77.0%	40位
	R5	82.7%	29位	81.9%	28位	82.4%	28位	81.0%	33位	77.9%	37位
	R4	74.2%	40位	71.1%	40位	75.8%	38位	68.4%	44位	62.9%	47位

○個別検診 がん検診別チェックリスト達成率（遵守率） ※○のみ（△は除く）

		胃（X線）		胃（内視鏡）		大腸		乳		子宮	
全国	R6	75.1%	-	78.8%	-	76.1%	-	77.8%	-	78.2%	-
京都府	R6	-	-	81.4%	26位	75.8%	32位	76.7%	31位	75.8%	33位
	R5	15.4%	47位	79.5%	25位	76.3%	31位	81.1%	26位	76.7%	30位
	R4	15.4%	47位	59.6%	43位	68.1%	35位	73.4%	32位	67.8%	37位